

小田原市子ども・子育て支援事業計画
策定のためのニーズ調査
調査結果報告書
(未就学児調査及び小学生調査)

平成 31 年 3 月

小田原市

目 次

【未就学児調査】	1
I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 調査結果の表示方法	2
II 調査結果	3
1 お住まいの地域について	3
2 お子さんご家族の状況について	3
3 子どもの育ちをめぐる環境について	5
4 お子さんの保護者の就労状況について	7
5 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	15
6 お子さんの地域の子育て支援の利用状況について	30
7 お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	35
8 お子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用しているかたのみ）	38
9 お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	44
10 お子さんが5歳以上であるかたの、小学校就学後の放課後の過ごし方について	50
11 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	58
12 子育て全般について	68
III 調査結果のまとめ	74
1 子どもの育ちをめぐる環境について	74
2 お子さんの保護者の就労状況について	74
3 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	74
4 子どもの地域の子育て支援事業の利用状況について	75
5 子どもの病気の際の対応について	76
6 子どもの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	76
7 放課後の過ごし方について	76
8 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	77
9 子育て全般について	77
IV 自由意見のまとめ（1651件）	78
1 子育て支援施設・子育て支援サービスについて（806件）	78
2 子育て環境（474件）	79

3	子育てに関する親の状況(4件)	80
4	行政について(337件)	81
5	その他(30件)	82
V	資料	83
	【アンケート依頼】	83
	【調査票】	87
	【小学生調査】	107
VI	調査の概要	107
1	調査の目的	107
2	調査対象	107
3	調査期間	107
4	調査方法	107
5	回収状況	107
6	調査結果の表示方法	108
VII	調査結果	109
1	お住まいの地域について	109
2	お子さんとご家族の状況について	111
3	お子さんの保護者の就労状況について	112
4	お子さんの地域の子育て支援の利用状況について	118
5	子育て全般について	134
VIII	調査結果のまとめ	137
1	お子さんの保護者の就労状況について	137
2	地域の子育て支援の利用状況について	137
3	子育て全般について	137
IX	自由意見のまとめ(681件)	138
1	子育て支援施設・子育て支援サービスについて(254件)	138
2	子育て環境(280件)	140
3	子育てに関する親の状況(3件)	141
4	行政について(126件)	141
5	その他(18件)	142
X	資料	143
	【アンケート依頼】	143
	【調査票】	145

未就学児調査

【未就学児調査】

I 調査の概要

1 調査の目的

現在の我が国における急速な少子化の進行、家庭及び地域を取り巻く環境の変化を踏まえ、全ての子どもが健やかに成長できる社会を実現していくため、子ども・子育て支援新制度が平成 27 年 4 月に施行されました。市町村は地域の子育て家庭の状況や、子育て支援へのニーズを把握し、5 年間を計画期間とする「市町村子ども・子育て支援事業計画」を定めるものとされています。小田原市においても、平成 27 年度を始期とする子ども・子育て支援事業計画を策定し、計画に基づいた対策を実施してきましたが、計画期間の終期が平成 31 年度(2019 年度)であることから、平成 32 年度(2020 年度)を始期とする第二期子ども・子育て支援事業計画の策定をおこないます。この調査は、第二期子ども・子育て支援事業計画を策定するうえで必要となる事業及びその規模の確定のため、子育て中の家庭の基礎データの把握、および住民の教育・保育等に関する利用意向等のニーズの状況を把握することを目的に実施するものです。

2 調査対象

平成 30 年 11 月 1 日現在で、小田原市在住の未就学児及び小学生の保護者

3 調査期間

平成 30 年 12 月 8 日から平成 30 年 12 月 27 日

4 調査方法

郵送による配布及び回収

5 回収状況

区分	配布数	有効回収数	有効回収率
0 歳児	715 通	345 通	48.3%
1 歳児	620 通	319 通	51.5%
2 歳児	636 通	302 通	47.5%
3 歳児	656 通	322 通	49.1%
4 歳児	652 通	307 通	47.1%
5 歳児	721 通	323 通	44.8%
合計	4,000 通	1,918 通	48.0%

※年齢区分は学年で区切っています。12 月の発送のため、0 歳児は 1 年 8 ヶ月分の児童が対象となっており、配布数が多くなっています。

「年齢回答なし・誤記入」が 14 通ありましたが、上記有効回収数には含めず、調査結果でも集計対象外としています。「年齢回答なし・誤記入」の 14 通を含めた総回収数は 1932 通で、総回収率は 48.3%です。

6 調査結果の表示方法

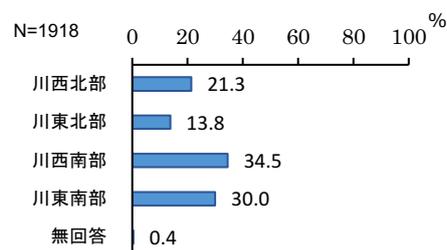
- 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- 「無回答」については、単純集計のグラフには割合を表示していますが、「無回答」の割合については、コメントの対象外とします。
- 回答者数が少ない設問については、図表と回答比率の表示はせず、回答件数を表示しています。

II 調査結果

1 お住まいの地域について

問1 お住まいの地区の郵便番号を記入してください。

「川西南部」の割合が34.5%と最も高く、次いで「川東南部」の割合が30.0%、「川西北部」の割合が21.3%となっています。



区域わけ	地区
川西北部	蓮正寺、中曽根、飯田岡、堀之内、柳新田、小台、新屋、府川、北ノ窪、清水新田、穴部、穴部新田、曾比、栢山
川東北部	飯泉、成田、桑原、別堀、高田、千代、永塚、東大友、西大友、延清、曾我原、曾我谷津、曾我別所、曾我岸、上曾我、下大井、鬼柳、曾我大沢、曾我光海
川西南部	緑、城山、扇町、十字、荻窪、谷津、池上、井細田、多古、久野、板橋、南板橋、風祭、入生田、水之尾、早川、石橋、米神、根府川、江之浦、栄町、中町、浜町、本町、城内、南町、寿町、東町
川東南部	下堀、中里、矢作、鴨宮、上新田、中新田、下新田、国府津、田島、酒匂、小八幡、南鴨宮、西酒匂、東ヶ丘、前川、羽根尾、中村原、上町、小船、山西、沼代、小竹、川匂

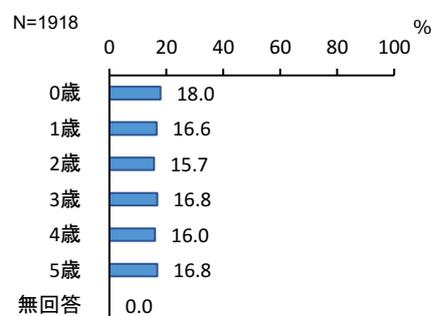
2 お子さんご家族の状況について

問2 あて名のお子さんの生年月を記入してください。

お子さんの年齢

「0歳」の割合が18.0%と最も高く、次いで「3歳」と「5歳」の割合が16.8%となっています。

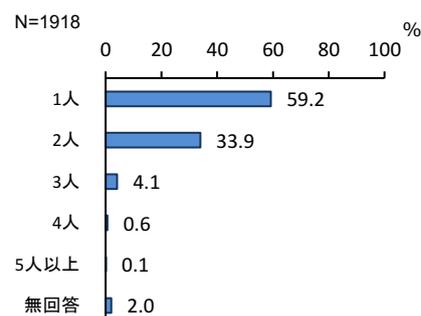
「0歳」の割合が高いのは、年齢別の配布数の違いによるものと考えられます。



問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を記入してください。また、お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子のかたの生年月を記入してください。

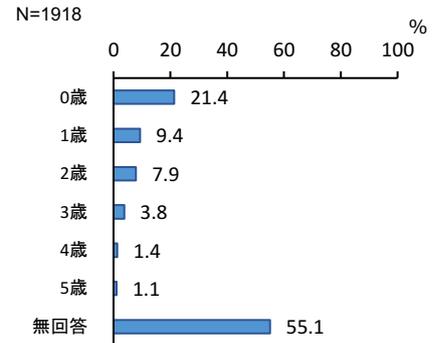
(1) きょうだい数

「1人」の割合が59.2%と最も高く、次いで「2人」の割合が33.9%、「3人」の割合が4.1%となっています。



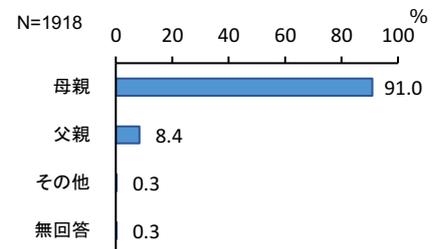
(2) 末子の年齢

「0歳」の割合が21.4%と最も高く、次いで「1歳」の割合が9.4%、「2歳」の割合が7.9%となっています。



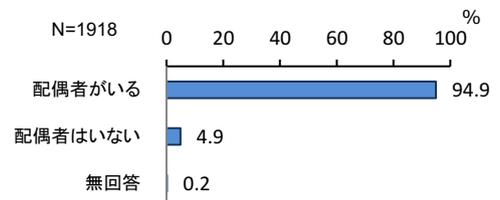
問4 この調査票に回答いただくかたはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が91.0%、「父親」の割合が8.4%となっています。



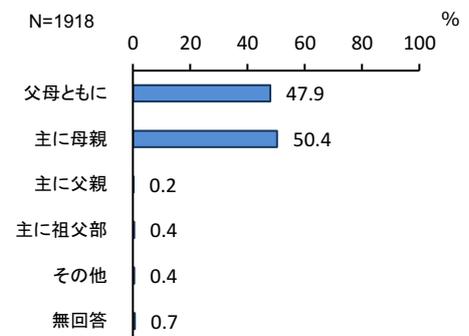
問5 この調査票に回答いただいているかたの配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が94.9%、「配偶者はいない」の割合が4.9%となっています。



問6 あて名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

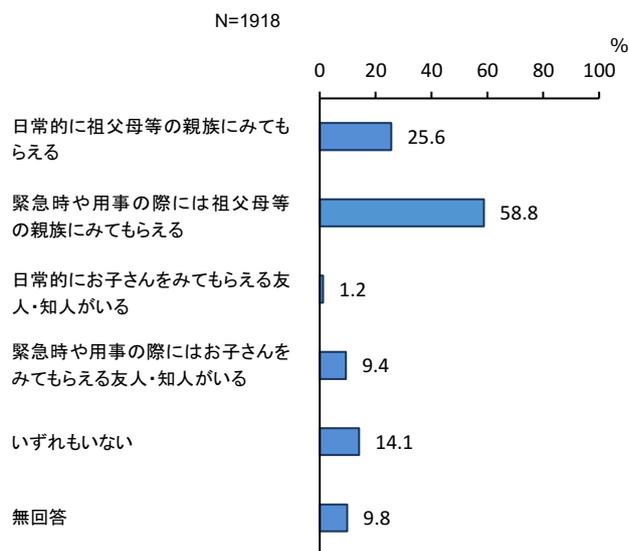
「主に母親」の割合が50.4%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が47.9%となっています。



3 子どもの育ちをめぐる環境について

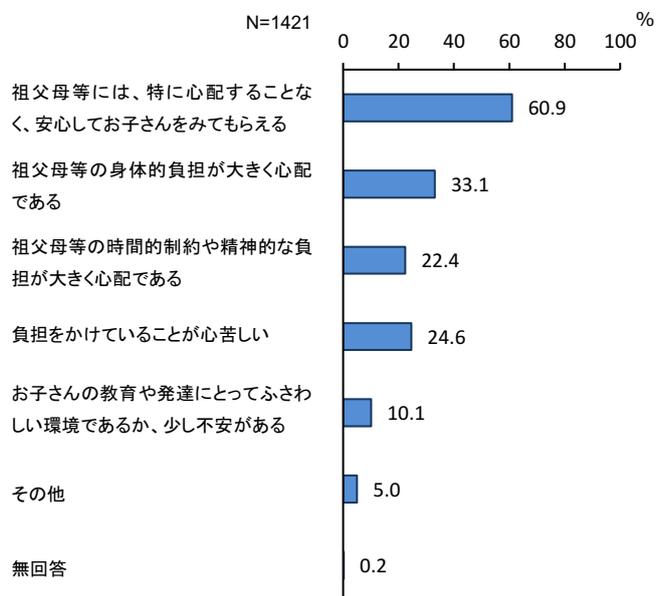
問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が58.8%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が25.6%、「緊急時や用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が9.4%となっていますが、「いずれもない」が14.1%です。



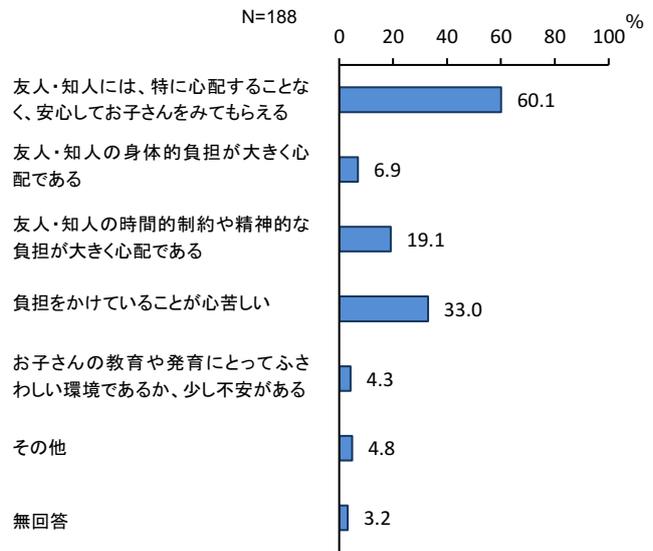
問7-1 問7で〔1.〕または〔2.〕に○をつけたかたにうかがいます。祖父母等にお子さんをみてもらうことについて、どのように感じていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等には、特に心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が60.9%と最も高く、次いで「祖父母等の身体的負担が大きく心配である」の割合が33.1%、「負担をかけていることが心苦しい」の割合が24.6%となっています。



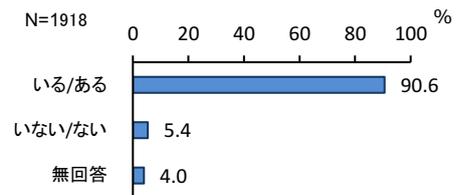
問7-2 問7で〔3.〕または〔4.〕に○をつけたかたにうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらうことについて、どのように感じていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人には、特に心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が60.1%と最も高く、次いで「負担をかけていることが心苦しい」の割合が33.0%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が19.1%となっています。



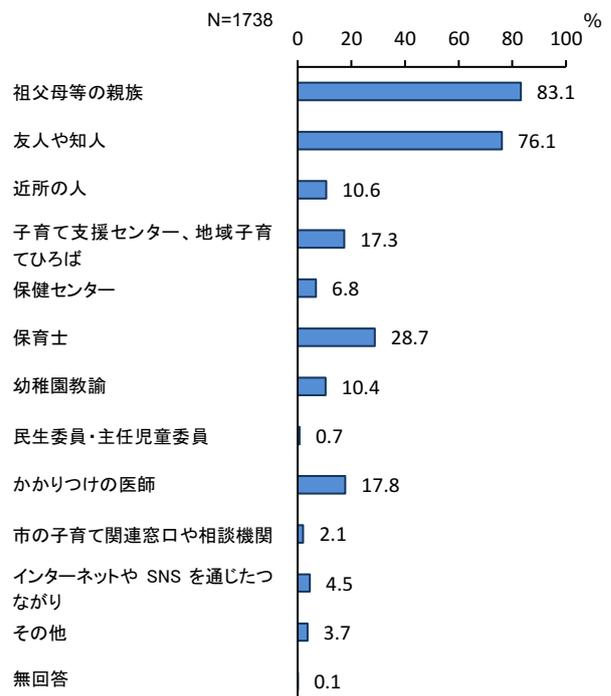
問8 あて名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が90.6%、「いない／ない」の割合が5.4%となっています。



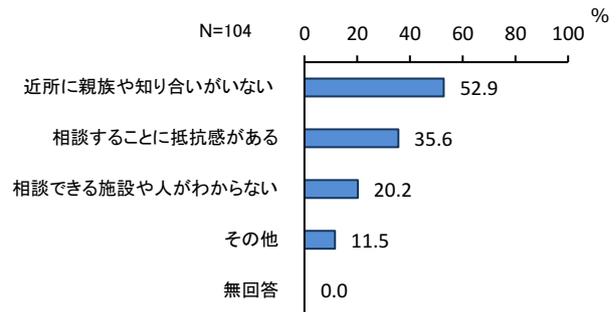
問8-1 問8で〔1. いる／ある〕に○をつけたかたにうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族」の割合が83.1%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が76.1%、「保育士」の割合が28.7%となっています。



問8-2 問8で「2. いない／ない」に○をつけたかたにうかがいます。気軽に相談できる人がいない（場所がない）のはどうしてですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「近所に親族や知り合いがいない」の割合が52.9%と最も高く、次いで「相談することに抵抗感がある」の割合が35.6%、「相談できる施設や人がわからない」の割合が20.2%となっています。

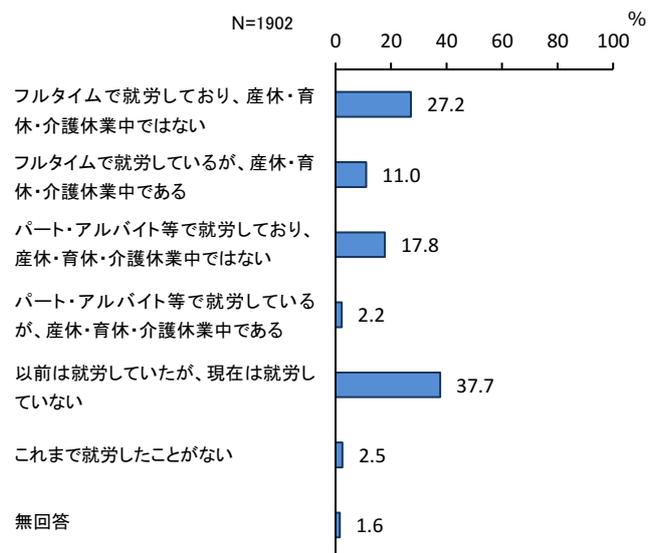


4 お子さんの保護者の就労状況について

問9 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親

「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が37.7%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が27.2%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が17.8%となっています。



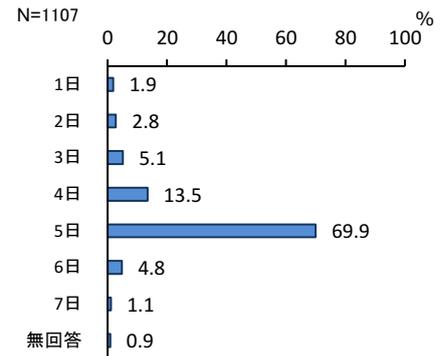
【年齢別】

単位：%

	有効回答数 (件)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	517	13.2	27.0	30.3	31.8	29.3	32.8
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	210	22.8	11.7	14.3	7.8	3.9	4.7
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	338	9.1	14.0	13.7	20.9	26.6	23.1
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	42	2.6	2.2	2.0	2.8	2.3	1.3
以前は就労していたが、現在は就労していない	717	49.7	41.9	35.0	33.0	33.2	32.2
これまで就労したことがない	48	0.6	1.9	3.3	2.2	3.3	4.1
無回答	30	2.0	1.3	1.3	1.6	1.3	1.9

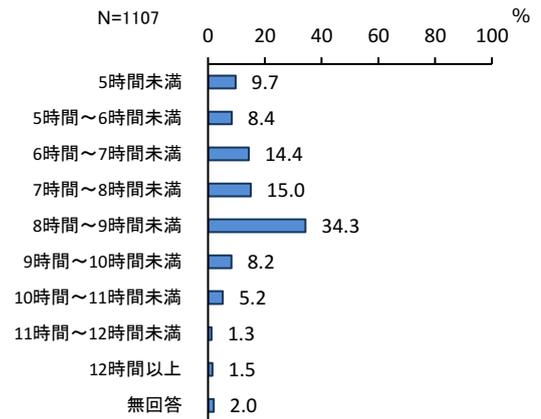
① 1週当たり就労日数

「5日」の割合が69.9%と最も高く、次いで「4日」の割合が13.5%となっています。



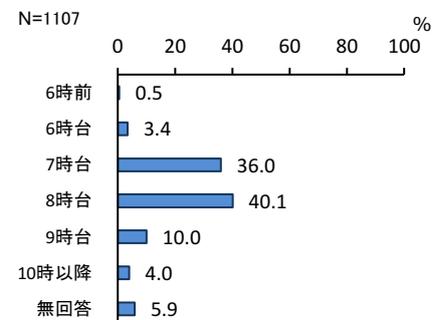
② 1日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が34.3%と最も高く、次いで「7時間～8時間未満」の割合が15.0%、「6時間～7時間未満」の割合が14.4%となっています。



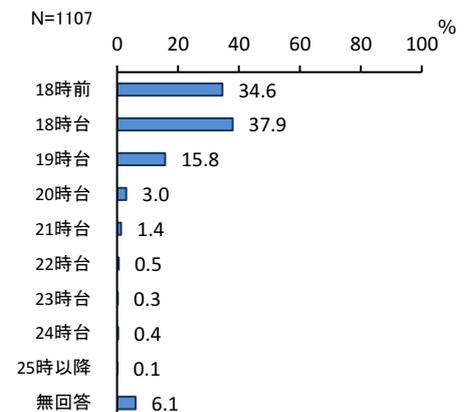
③ 家を出る時刻

「8時台」の割合が40.1%と最も高く、次いで「7時台」の割合が36.0%、「9時台」の割合が10.0%となっています。



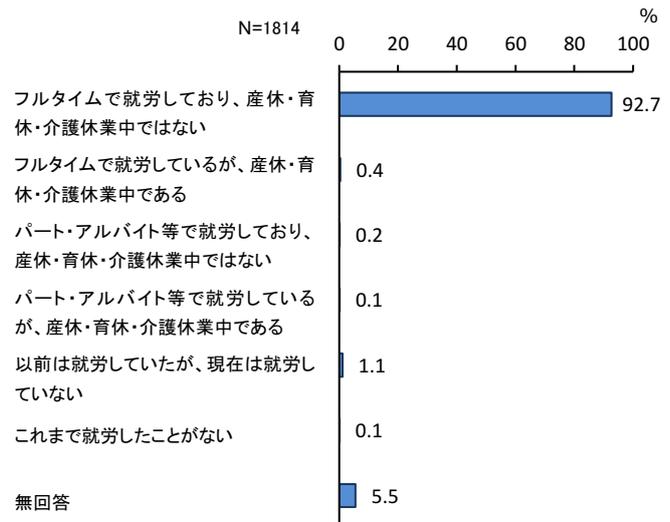
④ 帰宅時刻

「18時台」の割合が37.9%と最も高く、次いで「18時前」の割合が34.6%、「19時台」の割合が15.8%となっています。



(2) 父親

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が92.7%と最も高くなっています。



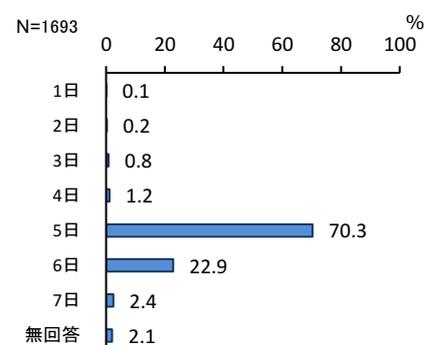
【年齢別】

単位：%

	有効回答数 (件)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1,681	90.8	94.3	91.8	93.0	91.7	94.7
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	7	0.6	0.3	0.7	0.3	0.3	0.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	20	1.5	1.7	0.3	1.3	1.0	0.7
これまで就労したことがない	1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	100	6.3	3.3	6.5	5.4	6.9	4.7

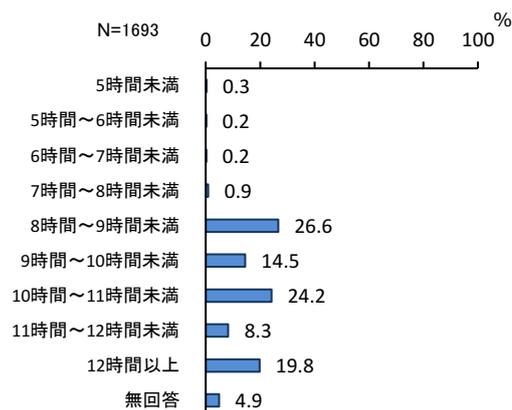
① 1週当たり就労日数

「5日」の割合が70.3%と最も高く、次いで「6日」の割合が22.9%となっています。



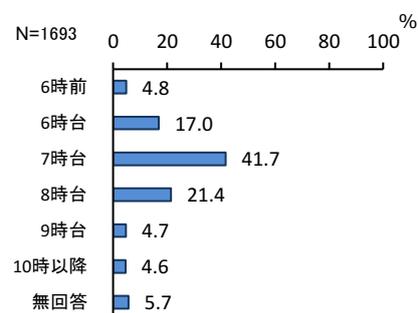
② 1日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が26.6%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が24.2%、「12時間以上」の割合が19.8%となっています。



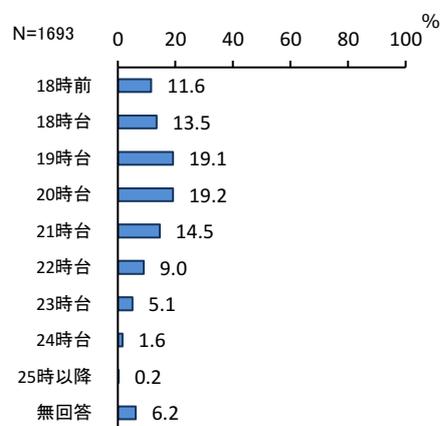
③ 家を出る時刻

「7時台」の割合が41.7%と最も高く、次いで「8時台」の割合が21.4%、「6時台」の割合が17.0%となっています。



④ 帰宅時刻

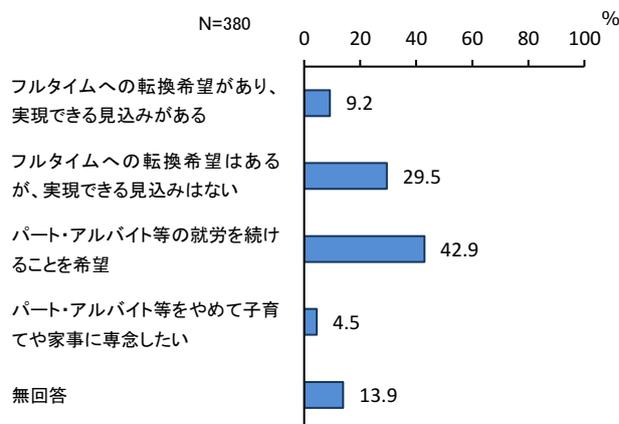
「20時台」の割合が19.2%と最も高く、次いで「19時台」の割合が19.1%、「21時台」の割合が14.5%となっています。



問10 問9の(1)または(2)で[3.][4.]に○をつけた(パート・アルバイト等で就労している)かたにうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が42.9%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が29.5%となっています。



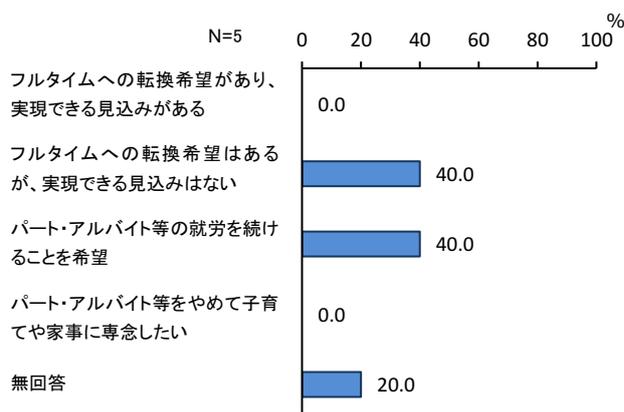
【年齢別】

単位：%

	有効回答数(件)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	35	20.0	11.8	6.4	10.5	4.5	7.7
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	112	30.0	37.3	29.8	32.9	27.3	23.1
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	163	30.0	37.3	40.4	38.2	53.4	47.4
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	17	5.0	2.0	2.1	5.3	4.5	6.4
無回答	53	15.0	11.8	21.3	13.2	10.2	15.4

(2) 父親

「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が40.0%（それぞれ2件）です。



【年齢別】

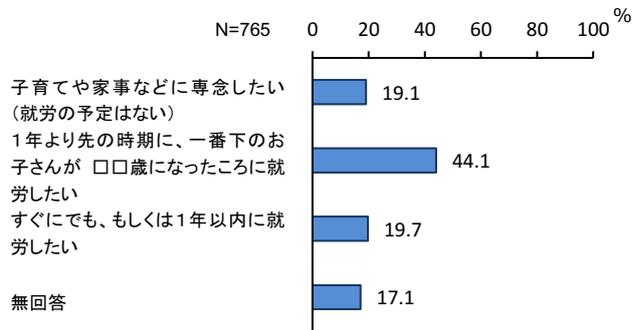
単位：件

	有効回答数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	0						
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2		1	1			
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	2	1		1			
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	0						
無回答	1	1					

問11 問9の(1)または(2)で[5.][6.](就労していない)に○をつけたかたにうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけてください。

(1) 母親

「1年より先の時期に、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」の割合が44.1%と最も高く、次いで「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が19.7%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が19.1%となっています。



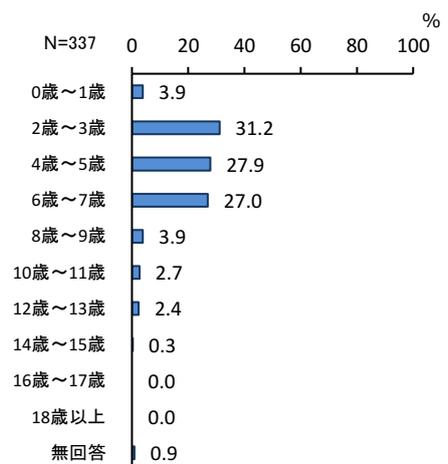
【年齢別】

単位：%

	有効回答数(件)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	146	23.3	10.1	20.0	11.5	24.3	25.0
1年より先の時期に、一番下のお子さんが □□歳になったところに就労したい	337	37.2	51.4	42.6	53.1	40.5	41.4
すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	151	22.7	19.6	27.0	17.7	9.9	19.8
無回答	131	16.9	18.8	10.4	17.7	25.2	13.8

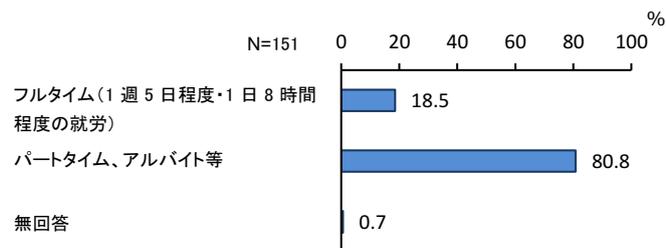
① 「1年より先の時期に、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」子どもの年齢

「2歳～3歳」の割合が31.2%と最も高く、次いで「4歳～5歳」の割合が27.9%、「6歳～7歳」の割合が27.0%となっています。



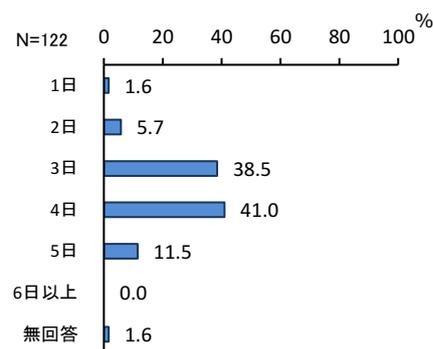
② 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」人の希望する就労形態

「パートタイム、アルバイト等」の割合が80.8%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」の割合が18.5%となっています。



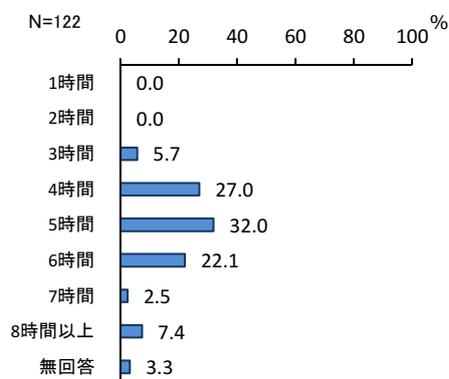
ア 1週当たり日数

「4日」の割合が41.0%と最も高く、次いで「3日」の割合が38.5%、「5日」の割合が11.5%となっています。



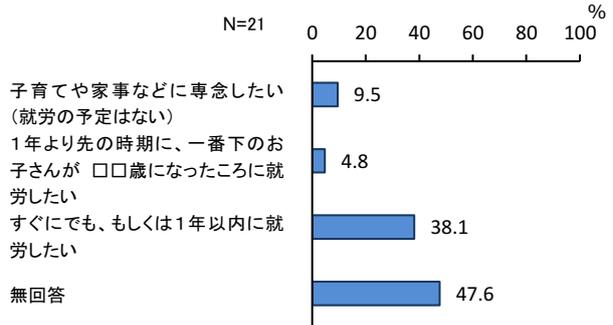
イ 1日当たり時間

「5時間」の割合が32.0%と最も高く、次いで「4時間」の割合が27.0%、「6時間」の割合が22.1%となっています。



(2) 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が38.1%と最も高くなっています。



【年齢別】

単位：件

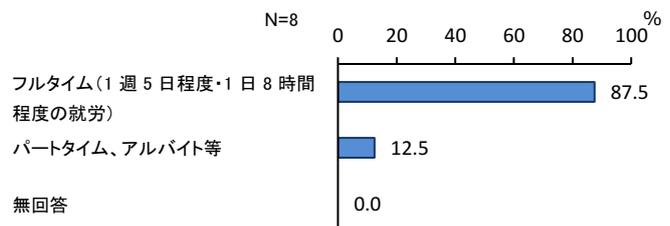
	有効回答数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	2	1				1	
1年より先の時期に、一番下のお子さんが□□歳になったところに就労したい	1		1				
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	8	3	3		1		1
無回答	10	2	1	1	3	2	1

① 「1年より先の時期に、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」子どもの年齢

4歳～5歳が1件です。

② 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」人の希望する就労形態

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」の割合が87.5%、「パートタイム、アルバイト等」の割合が12.5%となっています。



ア 1週当たり日数

3日が1件です。

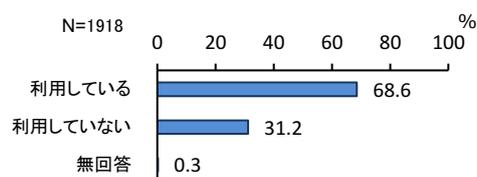
イ 1日当たり時間

5時間が1件です。

5 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 12 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「利用している」の割合が 68.6%、「利用していない」の割合が 31.2%となっています。



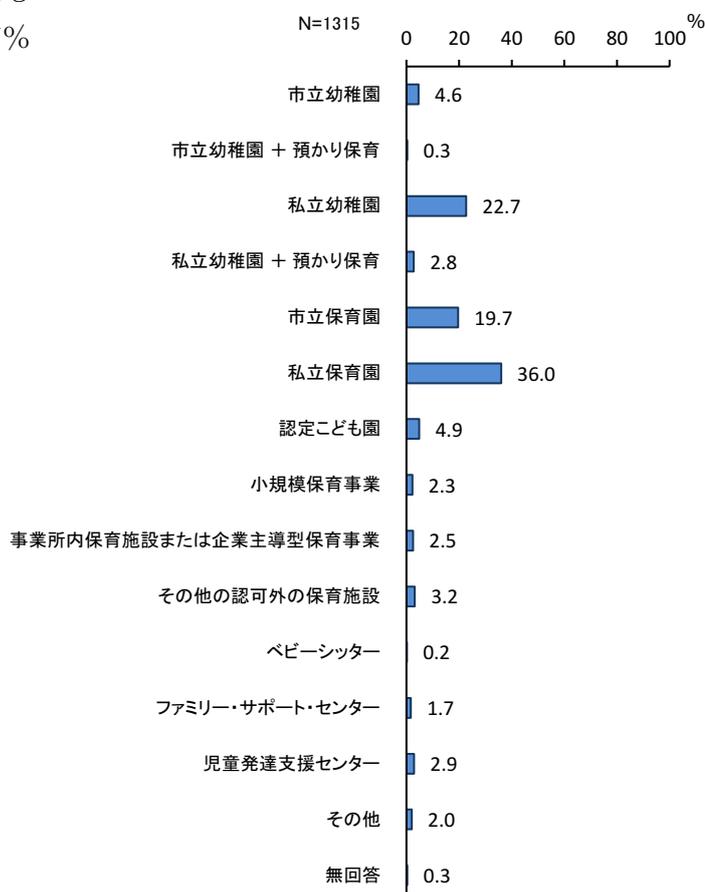
【年齢別】

単位：%

	有効回答数(件)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
利用している	1,315	20.9	46.7	63.9	87.9	97.4	98.8
利用していない	598	78.8	53.0	35.8	12.1	2.3	0.9
無回答	5	0.3	0.3	0.3	0.0	0.3	0.3

問 12-1 問 12-1～問 12-4 は、問 12 で [1. 利用している] に○をつけたかたにうかがいます。あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「私立保育園」の割合が 36.0%と最も高く、次いで「私立幼稚園」の割合が 22.7%となっています。



【年齢別】

定期的にご利用している教育・保育事業を年齢別で見ると、他の年齢に比べ、1歳と2歳で「私立保育園」の割合が、3歳以上で「私立幼稚園」の割合が高くなっていますが、「市立保育園」はすべての年齢で20%前後です。また、0歳児では、「小規模保育事業」の割合が12.5%、「事業所内保育施設または企業主導型保育事業」の割合が13.9%と他の年齢に比べ、高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	市立幼稚園	市立幼稚園 + 預かり保育	私立幼稚園	私立幼稚園 + 預かり保育	市立保育園	私立保育園	認定こども園	小規模保育事業	事業所内保育施設または企業主導型保育事業	その他の認可外の保育施設	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援センター	その他	無回答
0歳	72	0.0	0.0	0.0	0.0	26.4	33.3	2.8	12.5	13.9	5.6	0.0	2.8	0.0	2.8	1.4
1歳	149	0.0	0.0	1.3	0.7	18.8	49.0	0.0	8.1	8.1	10.1	0.0	1.3	0.7	3.4	0.7
2歳	193	0.5	0.0	9.8	0.0	22.3	48.2	5.7	3.6	2.6	4.1	0.5	2.1	2.6	5.2	0.0
3歳	283	1.1	0.0	30.4	4.9	20.8	33.6	5.7	0.4	0.7	1.8	0.4	1.8	4.9	1.8	0.0
4歳	299	8.7	0.7	30.4	3.3	17.7	30.8	6.4	0.3	0.3	1.3	0.0	1.3	3.0	0.7	0.0
5歳	319	9.7	0.6	31.7	3.8	17.9	30.1	5.0	0.0	0.9	1.9	0.0	1.6	2.8	0.6	0.6

【教育・保育事業の利用場所別】

定期的にご利用している教育・保育事業を利用場所別で見ると、小田原市以外の市町の利用件数は少ないですが、二宮町で18件、南足柄市で15件の利用となっています。

単位：%

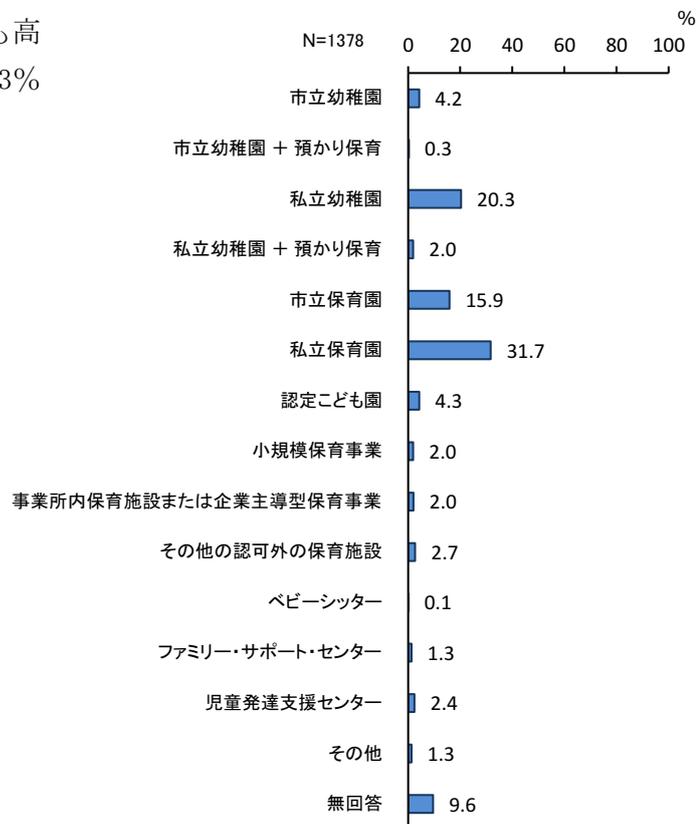
区分	有効回答数(件)	市立幼稚園	市立幼稚園 + 預かり保育	私立幼稚園	私立幼稚園 + 預かり保育	市立保育園	私立保育園	認定こども園	小規模保育事業	事業所内保育施設または企業主導型保育事業	その他の認可外の保育施設	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援センター	その他	無回答
小田原市	1249	4.8	0.3	22.4	2.6	20.3	36.4	4.6	2.3	2.1	3.1	0.2	1.8	3.0	1.8	0.3
南足柄市	15	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	13.3	26.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
開成町	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
大井町	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中井町	10	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0
二宮町	18	5.6	0.0	66.7	27.8	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0
箱根町	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0

問 12-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、具体的な数字で記入してください。（問 12-1 で利用している事業を複数回答した場合は、主な2つを記入してください）

(1) 現在

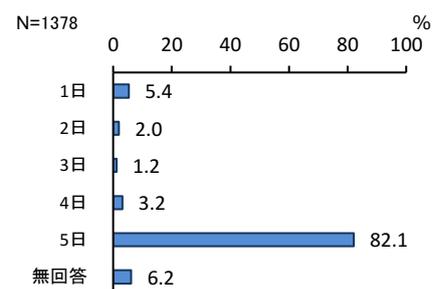
① 主に利用している事業

「私立保育園」の割合が31.7%と最も高く、次いで「私立幼稚園」の割合が20.3%となっています。



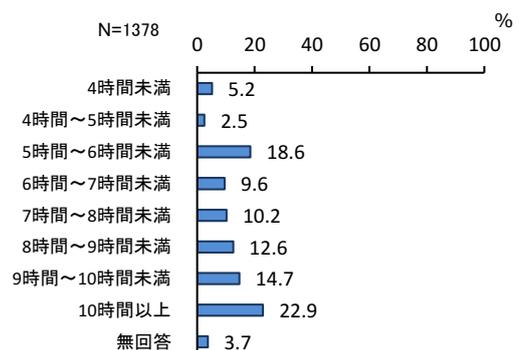
② 1週当たり日数

「5日」の割合が82.1%と最も高くなっています。



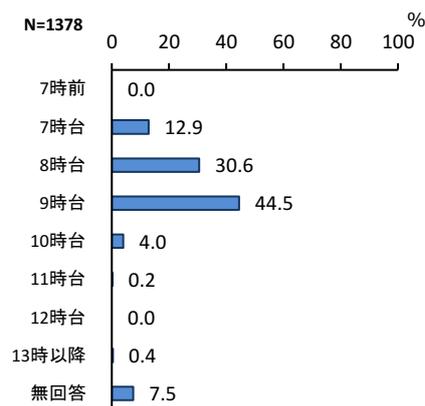
③ 1日当たり時間

「10時間以上」の割合が22.9%と最も高く、次いで「5時間～6時間未満」の割合が18.6%、「9時間～10時間」の割合が14.7%となっています。



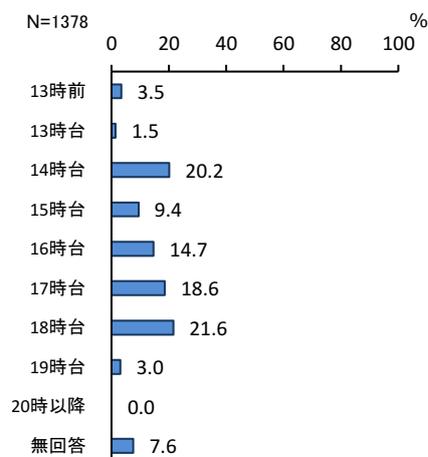
③ 開始時間

「9時台」の割合が44.5%と最も高く、次いで「8時台」の割合が30.6%となっています。



④ 終了時間

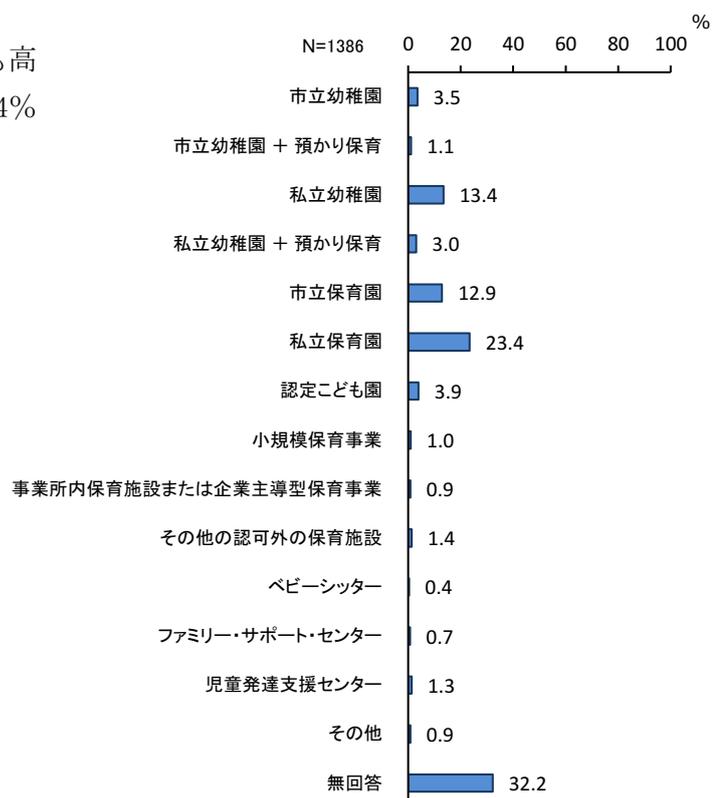
「18時台」の割合が21.6%と最も高く、次いで「14時台」の割合が20.2%、「17時台」の割合が18.6%となっています。



(2) 希望

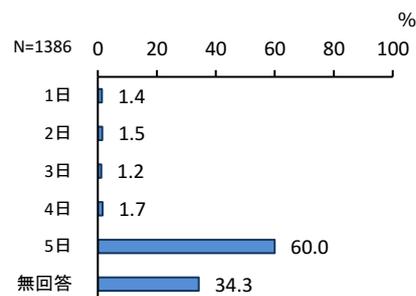
① 希望する事業

「私立保育園」の割合が23.4%と最も高く、次いで「私立幼稚園」の割合が13.4%となっています。



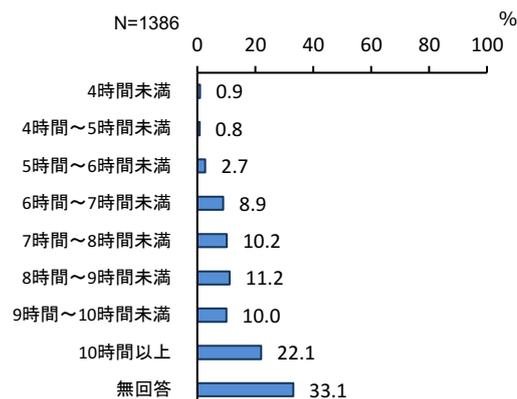
① 1週当たり日数

「5日」の割合が60.0%と最も高くなっています。



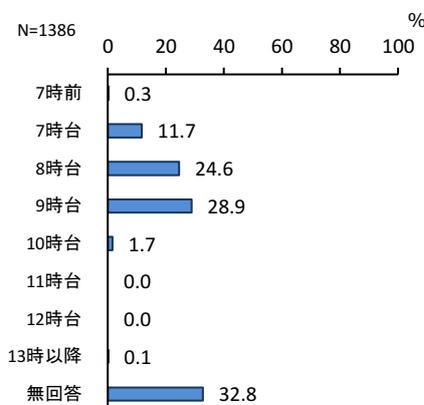
② 1日当たり時間

「10時間以上」の割合が22.1%と最も高く、次いで「8時間～9時間」が11.2%、「7時間～8時間」が10.2%の割合となっています。



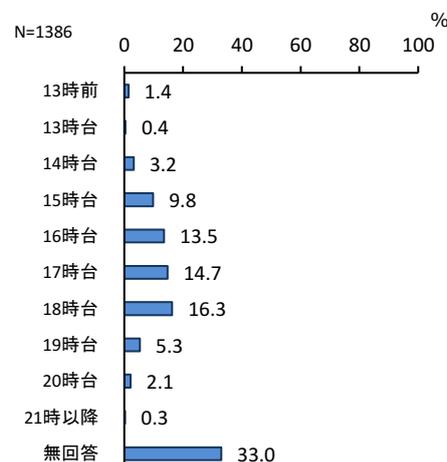
③ 開始時間

「9時台」の割合が28.9%と最も高く、次いで「8時台」の割合が24.6%となっています。



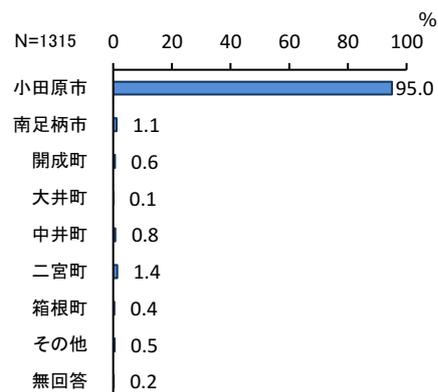
④ 終了時間

「18時台」の割合が16.3%と最も高く、次いで「17時台」の割合が14.7%、「16時台」の割合が13.5%となっています。



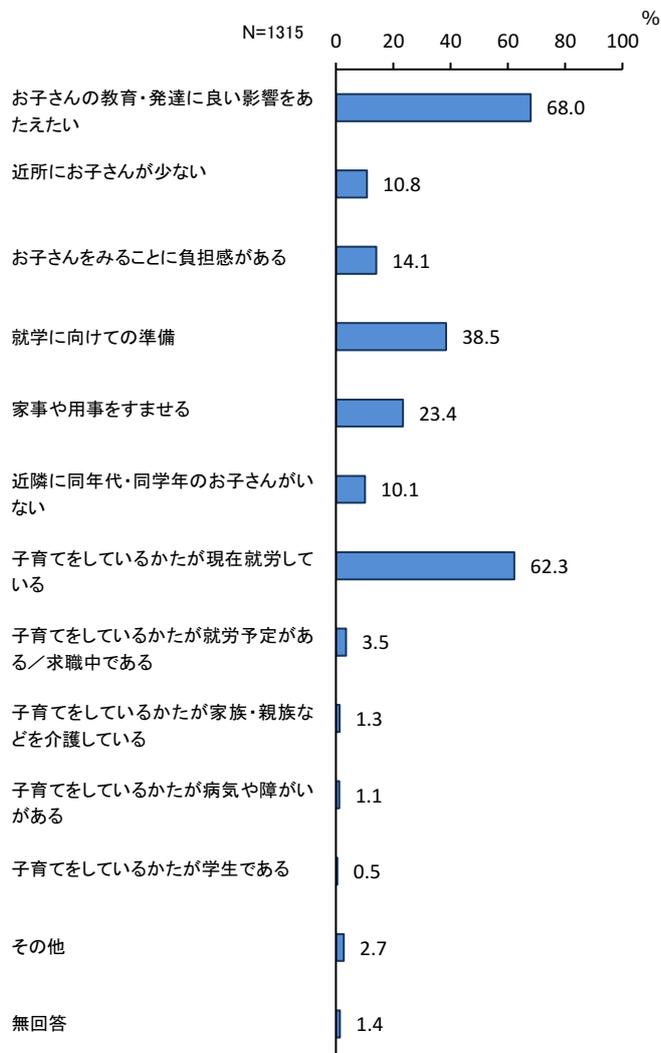
問 12-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「小田原市」の割合が 95.0%です。



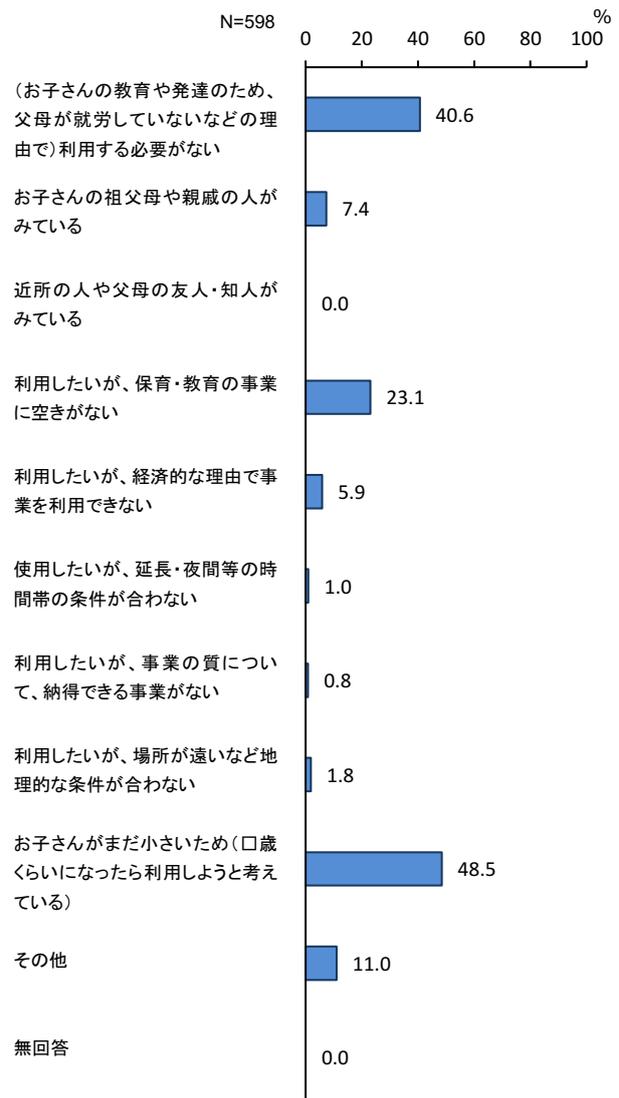
問 12-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「お子さんの教育・発達に良い影響をあたえたい」の割合が 68.0%と最も高く、次いで「子育てをしているかたが現在就労している」の割合が 62.3%、「就学に向けての準備」の割合が 38.5%となっています。



問 12-5 問 12 で [2. 利用していない] に○をつけたかたにうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「お子さんがまだ小さいため（□歳くらいになったら利用しようと考えている）」の割合が 48.5%と最も高く、次いで「（お子さんの教育や発達のため、父母が就労していないなどの理由で）利用する必要がない」の割合が 40.6%となっています。



【年齢別】

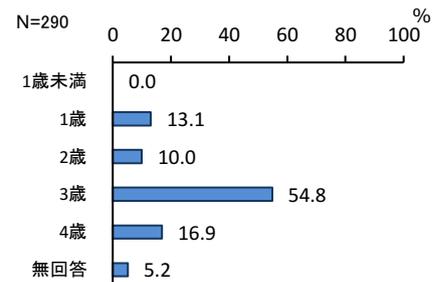
利用していない理由を年齢別で見ると、他の年齢に比べ、3歳以下で「子どもがまだ小さいため（〇歳くらいになったら利用しようと考えている）」と「(お子さんの教育や発達のため、父母が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	（お子さんの教育や発達のため、父母が就労していないなどの理由で）利用する必要がない	お子さんの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質について、納得できる事業がない	利用したいが、場所が遠いなど地理的な条件が合わない	お子さんがまだ小さいため（〇歳くらいになったら利用しようと考えている）	その他	無回答
0歳	272	40.8	8.5	0.0	19.9	5.9	0.7	0.4	1.5	53.7	9.2	0.0
1歳	169	41.4	5.9	0.0	24.9	6.5	1.2	1.8	1.2	52.1	9.5	0.0
2歳	108	42.6	9.3	0.0	21.3	3.7	0.9	0.0	1.9	40.7	13.9	0.0
3歳	39	41.0	0.0	0.0	30.8	5.1	2.6	0.0	5.1	30.8	17.9	0.0
4歳	7	0.0	0.0	0.0	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0
5歳	3	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0

(1) 「子どもがまだ小さいため（〇歳くらいになったら利用しようと考えている）」子どもの年齢

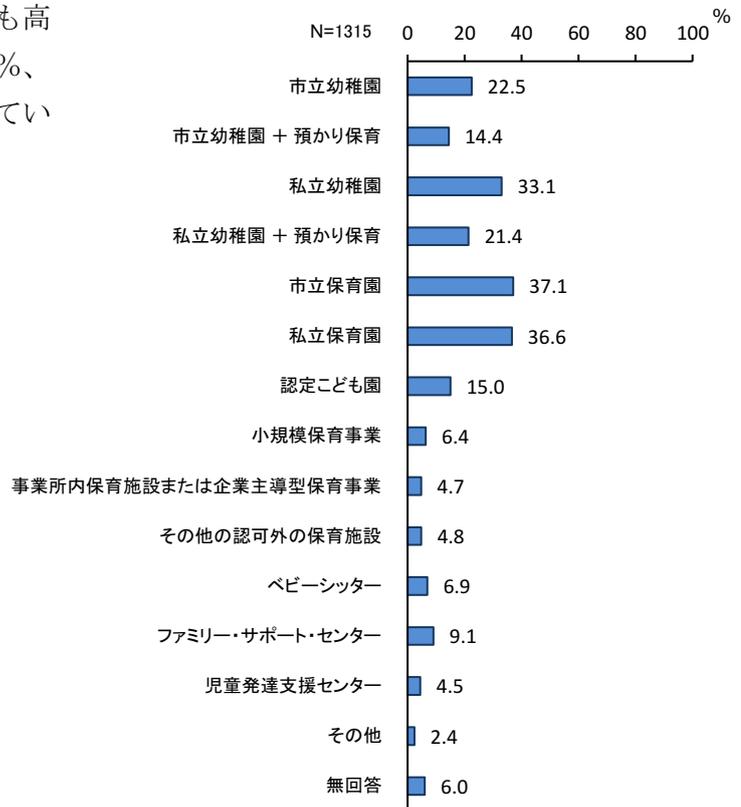
「3歳」の割合が54.8%と最も高く、次いで「4歳」の割合が16.9%、「1歳」の割合が13.1%となっています。



問 13 すべてのかたにうかがいます。2019年10月から「幼児教育の無償化」により、3歳から5歳までのすべてのお子さんと0歳から2歳までの一部のお子さんの各事業に係る利用料の無償化が予定されています。利用料が無償化された場合、あて名のお子さんについて、平日に定期的に利用したいと考える事業に対して現在の利用状況にかかわらず、当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、お子さんが何歳から利用したいかについても併せて記入してください。

(1) 利用したい事業

「市立保育園」の割合が37.1%と最も高く、次いで「私立保育園」の割合が36.6%、「私立幼稚園」の割合が33.1%となっています。



【年齢別】

利用したい教育・保育事業を年齢別でみると、「市立保育園」及び「私立保育園」は年齢が上がるにつれ、割合が低くなる傾向がみられます。また、「私立幼稚園」の利用意向は、年齢による差はありませんが、「市立幼稚園」の利用意向は0歳と1歳で他の年齢に比べて高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	市立幼稚園	市立幼稚園 ＋預かり保育	私立幼稚園	私立幼稚園 ＋預かり保育	市立保育園	私立保育園	認定こども園	小規模保育事業	事業所内保育施設または 企業主導型保育事業	その他の認可外の保育施設	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援センター	その他	無回答
0歳	345	39.1	21.7	35.4	22.3	55.4	41.4	20.6	12.8	8.4	5.8	7.0	10.1	2.3	1.2	2.9
1歳	319	31.0	22.3	37.6	28.5	43.3	47.0	15.7	6.6	6.0	7.2	8.2	8.8	5.3	0.3	2.2
2歳	302	14.6	10.9	32.1	21.9	39.1	38.1	17.9	6.6	4.3	2.6	6.3	8.9	4.6	0.7	2.0
3歳	322	14.3	7.8	29.5	21.1	33.2	37.9	12.1	4.3	2.8	5.0	8.1	11.5	5.6	0.6	2.5
4歳	307	16.0	10.4	30.6	15.3	27.0	30.0	11.4	2.6	3.3	3.3	5.2	6.8	5.2	2.9	8.1
5歳	323	18.3	12.7	32.8	18.9	22.9	24.8	12.1	5.0	3.4	4.6	6.5	8.0	4.0	8.7	18.6

【母親の就労状況別】

利用したい教育・保育事業を母親の就労状況別でみると、「フルタイム」、「パート・アルバイト等」で「市立保育園」及び「私立保育園」の割合が高く、「就労していない」で「市立幼稚園」及び「私立幼稚園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	市立幼稚園	市立幼稚園 ＋預かり保育	私立幼稚園	私立幼稚園 ＋預かり保育	市立保育園	私立保育園	認定こども園	小規模保育事業	事業所内保育施設または 企業主導型保育事業	その他の認可外の保育施設	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援センター	その他	無回答
フルタイム	727	9.2	10.6	10.9	14.0	47.6	53.1	11.7	7.6	4.8	5.4	8.9	12.9	4.4	3.4	7.7
パート・アルバイト等	380	16.3	15.8	26.3	23.2	38.9	39.2	14.5	5.0	4.7	4.7	5.8	6.6	3.4	2.4	6.3
就労していない	765	37.8	17.6	57.9	27.6	26.0	20.4	18.7	6.1	4.8	4.2	5.6	6.4	5.2	1.6	3.7

【母親の就労希望別】

利用したい教育・保育事業を母親の就労希望別でみると、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」と「1年より先の時期に、一番下のお子さんが□□歳になったところに就労したい」では、「市立幼稚園」及び「私立幼稚園」の割合が高くなっています。「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」では「市立保育園」及び「私立幼稚園」、「私立保育園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	市立幼稚園	市立幼稚園 ＋預かり保育	私立幼稚園	私立幼稚園 ＋預かり保育	市立保育園	私立保育園	認定こども園
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	146	40.4	11.0	63.7	13.0	12.3	11.0	13.0
1年より先の時期に、一番下のお子さんが□□歳になったところに就労したい	337	40.1	17.5	62.3	30.9	22.0	17.2	16.6
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	151	27.8	21.2	43.7	34.4	49.7	39.7	29.8

区分	小規模保育事業	事業所内保育施設または 企業主導型保育事業	その他の認可外の保育施設	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援センター	その他	無回答
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	2.7	2.7	4.8	4.8	5.5	6.2	3.4	7.5
1年より先の時期に、一番下のお子さんが～歳になったところに就労したい	5.3	3.6	3.9	4.7	5.3	5.0	1.2	3.3
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	11.3	9.9	4.6	7.3	7.3	2.6	2.0	2.6

【教育・保育事業の利用有無別】

利用したい教育・保育事業は、保育事業を「利用している」「利用していない」に関わらず、「市立保育園」及び「私立保育園」の割合が高く、「利用していない」では「市立幼稚園」及び「私立幼稚園」の割合が高くなっています。

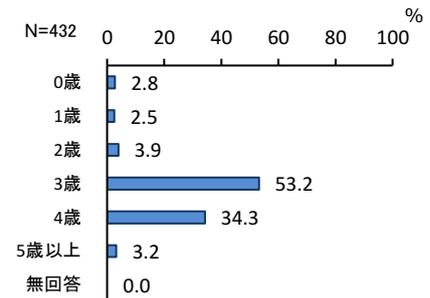
単位：%

区分	有効回答数(件)	市立幼稚園	市立幼稚園 + 預かり保育	私立幼稚園	私立幼稚園 + 預かり保育	市立保育園	私立保育園	認定こども園	小規模保育事業	企業主導型保育事業	事業所内保育施設または その他の認可外の保育施設	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター	児童発達支援センター	その他	無回答
利用している	1315	13.8	11.6	27.4	19.6	33.9	37.2	12.2	4.8	3.9	4.6	7.7	9.7	4.9	3.3	7.7
利用していない	598	42.0	20.9	45.8	25.4	44.3	35.6	21.2	10.0	6.7	5.4	5.2	7.9	3.5	0.5	1.7

(2) 利用したい事業別子どもの年齢

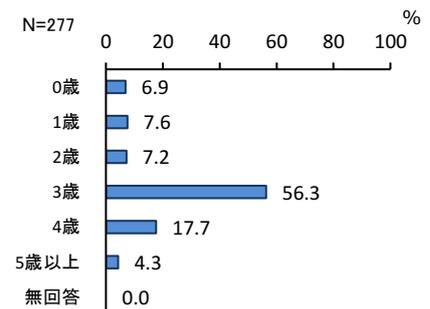
① 市立幼稚園

「3歳」の割合が53.2%と最も高く、次いで「4歳」の割合が34.3%となっています。



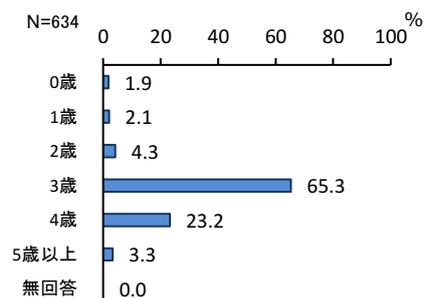
② 市立幼稚園+預かり保育

「3歳」の割合が56.3%と最も高く、次いで「4歳」の割合が17.7%となっています。



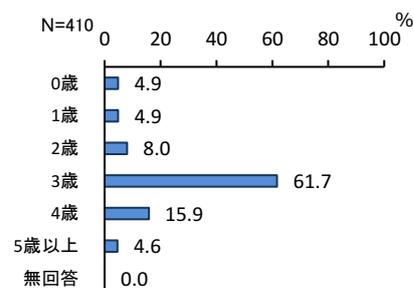
③ 私立幼稚園

「3歳」の割合が65.3%と最も高く、次いで「4歳」の割合が23.2%となっています。



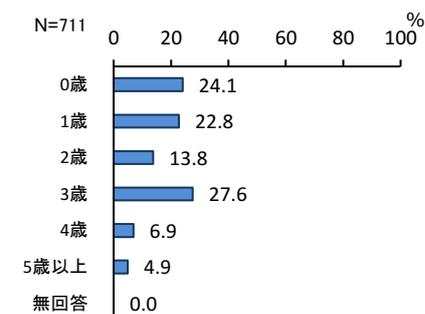
④ 私立幼稚園+預かり保育

「3歳」の割合が61.7%と最も高く、次いで「4歳」の割合が15.9%となっています。



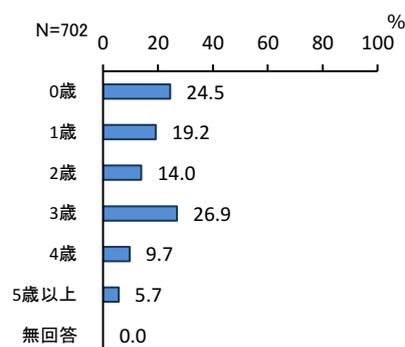
⑤ 市立保育園

「3歳」の割合が27.6%と最も高く、次いで「0歳」の割合が24.1%、「1歳」の割合が22.8%となっています。



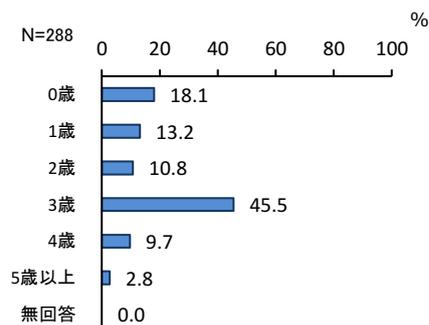
⑥ 私立保育園

「3歳」の割合が26.9%と最も高く、次いで「0歳」の割合が24.5%、「1歳」の割合が19.2%となっています。



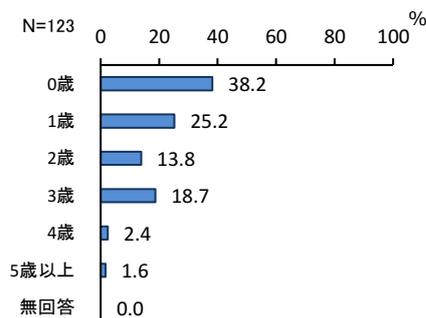
⑦ 認定こども園

「3歳」の割合が45.5%と最も高く、次いで「0歳」の割合が18.1%、「1歳」の割合が13.2%となっています。



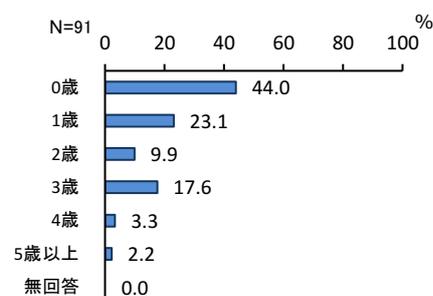
⑧ 小規模保育事業

「0歳」の割合が38.2%と最も高く、次いで「1歳」の割合が25.2%、「3歳」の割合が18.7%となっています。



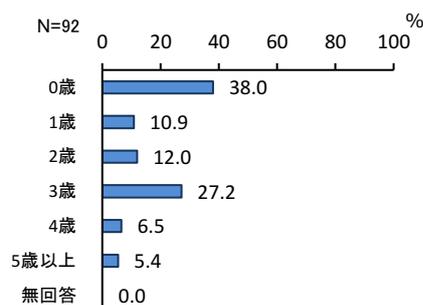
⑨ 事業所内保育施設または企業主導型保育事業

「0歳」の割合が44.0%と最も高く、次いで「1歳」の割合が23.1%、「3歳」の割合が17.6%となっています。



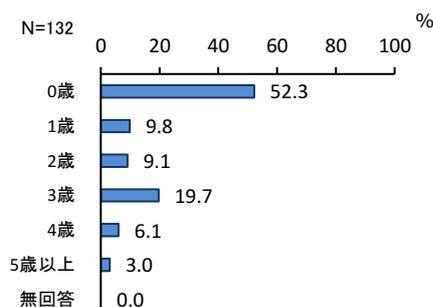
⑩ その他の認可外の保育施設

「0歳」の割合が38.0%と最も高く、次いで「3歳」の割合が27.2%、「2歳」の割合が12.0%となっています。



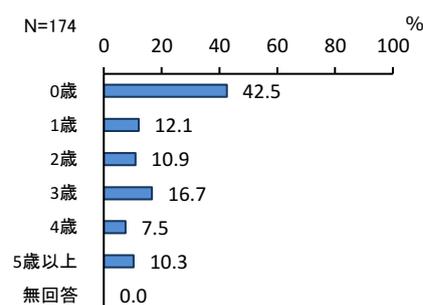
⑪ ベビーシッター

「0歳」の割合が52.3%と最も高く、次いで「3歳」の割合が19.7%、「1歳」の割合が9.8%となっています。



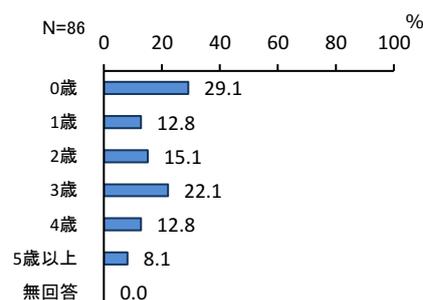
⑫ ファミリー・サポート・センター

「0歳」の割合が42.5%と最も高く、次いで「3歳」の割合が16.7%となっています。



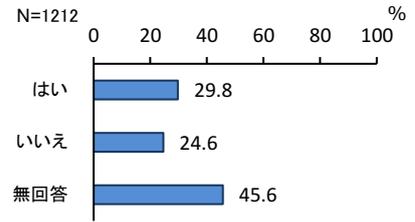
⑬ 児童発達支援センター

「0歳」の割合が29.1%と最も高く、次いで「3歳」の割合が22.1%となっています。



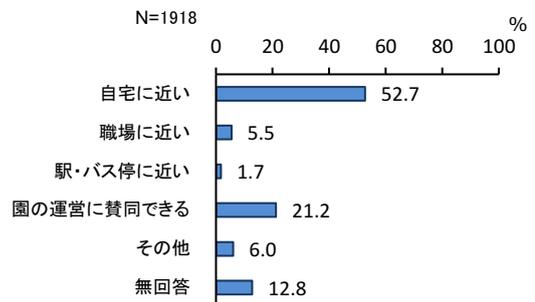
問 13-1 問 13 で [1.] ~ [4.] (幼稚園・幼稚園の預かり保育) に○をつけ、かつ [5.] ~ [12.] にも○をつけたかたにうかがいます。特に幼稚園 (幼稚園の預かり保育を合わせて利用する場合を含む) の利用を強く希望しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「はい」の割合が 29.8%で、「いいえ」の割合が 24.6%です。



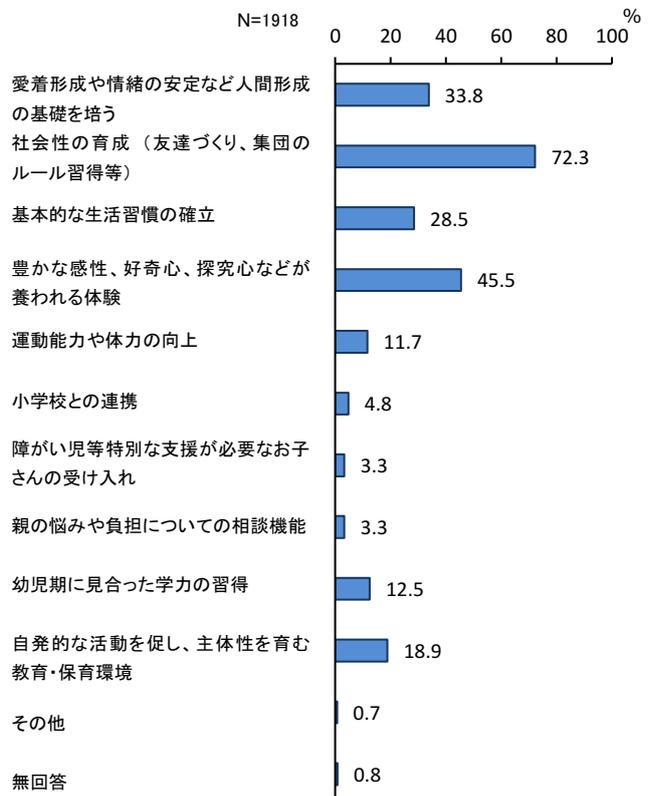
問 13-2 すべてのかたにうかがいます。教育・保育事業を利用する場合に、何を基準に選びますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「自宅に近い」の割合が 52.7%で最も高く、次いで「園の運営に賛同できる」の割合が 21.2%となっています。



問 13-3 すべてのかたにうかがいます。教育・保育事業の事業内容について、特に何を望みますか。当てはまる番号 2 つまでに○をつけてください。

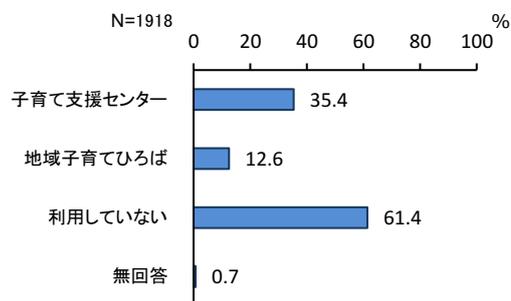
「社会性の育成 (友達づくり、集団のルール習得等)」の割合が 72.3%と最も高く、次いで「豊かな感性、好奇心、探究心などが養われる体験」の割合が 45.5%、「愛着形成や情緒の安定など人間形成の基礎を培う」の割合が 33.8%となっています。



6 お子さんの地域の子育て支援の利用状況について

問 14 あて名のお子さんは、現在、子育て支援センターや地域子育てひろばを利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字で記入してください。

「利用していない」の割合が 61.4%と最も高く、次いで「子育て支援センター」の割合が 35.4%、「地域子育てひろば」の割合が 12.6%となっています。



【年齢別】

子育て支援の利用状況を年齢別で見ると、他の年齢に比べ、2歳以下で「子育て支援センター」の割合が高く、3歳以上で「利用していない」の割合が高くなっています。

単位：%

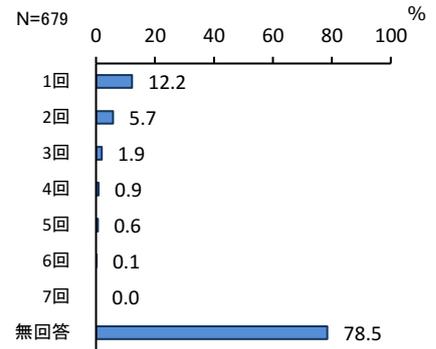
区分	有効回答数(件)	子育て支援センター	地域子育てひろば	利用していない	無回答
0歳	345	55.9	16.2	41.7	0.9
1歳	319	47.0	18.8	49.5	0.6
2歳	302	40.7	20.2	54.3	0.3
3歳	322	27.6	7.8	69.6	0.3
4歳	307	23.8	7.8	73.3	1.3
5歳	323	15.8	4.6	81.1	0.9

(1) 利用している事業別回数

① 子育て支援センター

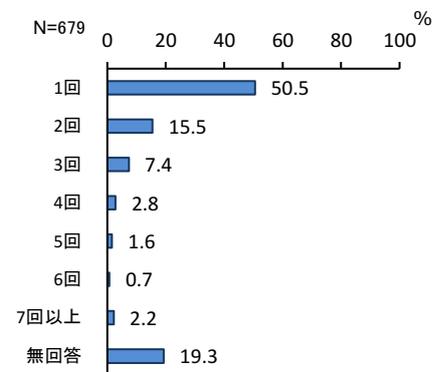
ア 1週当たり回数

「1回」の割合が12.2%と最も高くなっています。



イ 1か月当たり回数

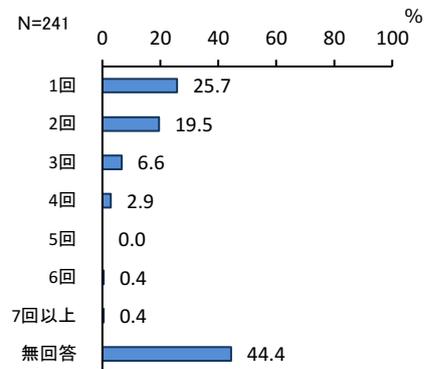
「1回」の割合が50.5%と最も高く、次いで「2回」の割合が15.5%となっています。



② 地域子育てひろば

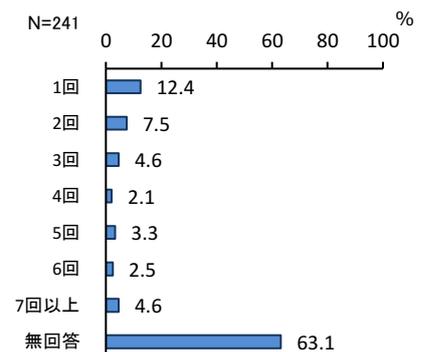
ア 1か月当たり回数

「1回」の割合が25.7%と最も高く、次いで「2回」の割合が19.5%となっています。



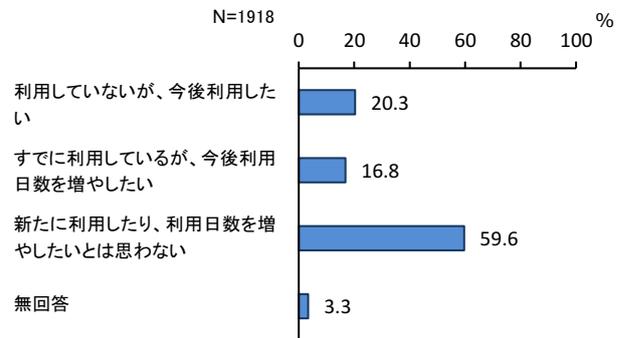
イ 1年当たり回数

「1回」の割合が12.4%と最も高く、次いで「2回」の割合が7.5%となっています。また、「7回以上」の割合も4.6%です。



問 15 子育て支援センターや地域子育てひろばの今後の利用希望について、当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用希望回数（頻度）を□内に数字で記入してください。（開所日や、交通手段の理由から現在利用していないかたも、利用可能な状況になった際にはどの程度利用したいか希望回数をお書きください。）

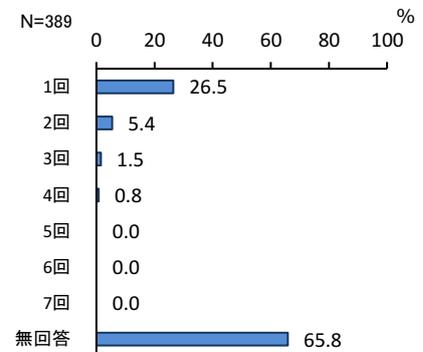
「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 59.6%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が 20.3%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が 16.8%となっています。



(1) 「利用していないが、今後利用したい」人の利用希望回数

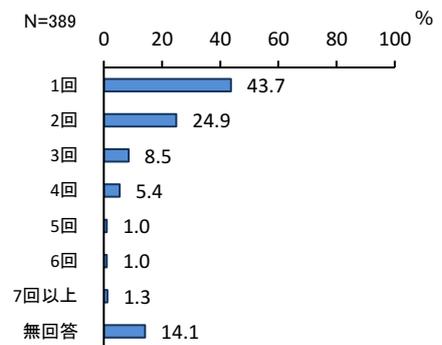
① 1週当たり回数

「1回」の割合が 26.5%と最も高くなっています。



② 1か月当たり回数

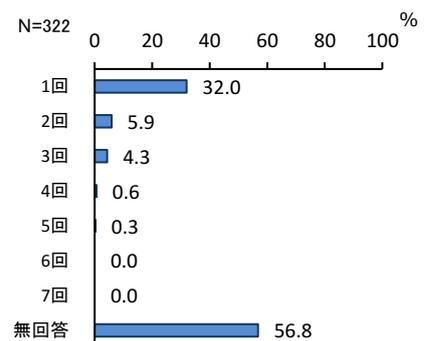
「1回」の割合が 43.7%と最も高く、次いで「2回」の割合が 24.9%となっています。



(2) 「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人の利用希望回数

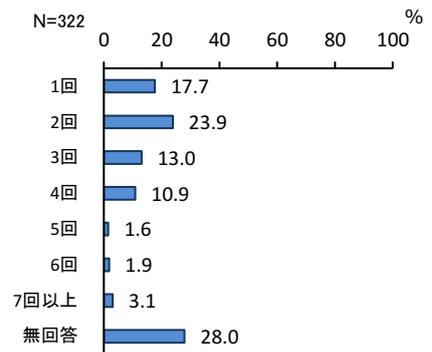
① 1週当たり更に増やす回数

「1回」の割合が 32.0%と最も高くなっています。



② 1か月当たり更に増やす回数

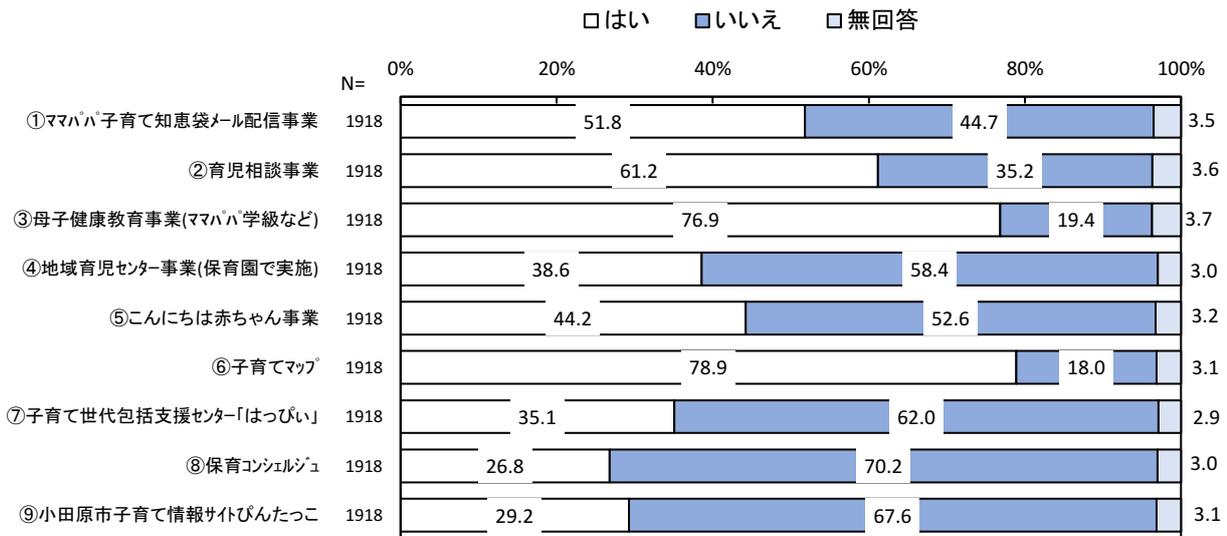
「2回」の割合が23.9%と最も高く、次いで「1回」の割合が17.7%、「3回」の割合が13.0%となっています。



問 16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑨の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」【いいえ】のいずれかに○をつけてください。

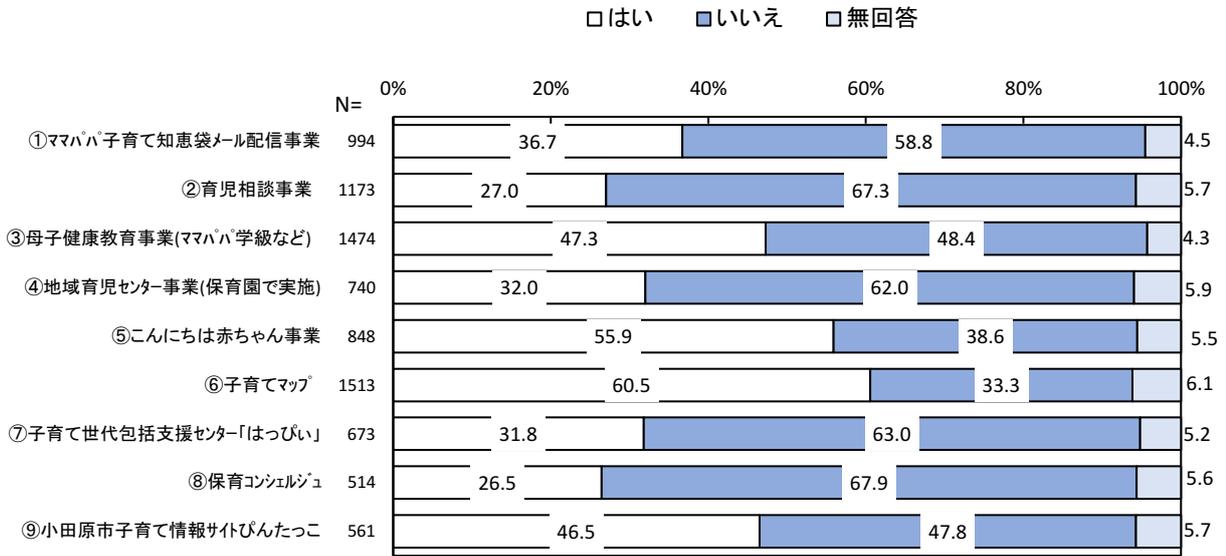
(1) 認知度 (知っている)

⑥子育てマップ、③母子健康教育事業 (ママパパ学級など) で「はい (知っている)」の割合が高くなっています。



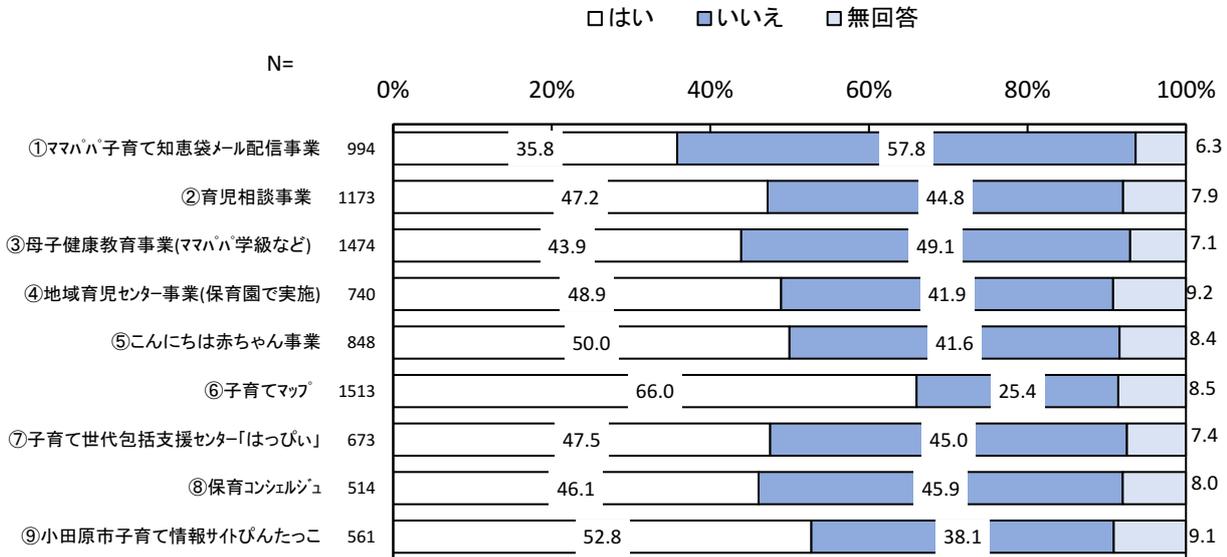
(2) これまでに利用したことがある

⑥子育てマップで「はい（これまでに利用したことがある）」の割合が高くなっています。



(3) 今後利用したい（満足している）

⑥子育てマップで「はい（今後利用したい）」の割合が高くなっています。

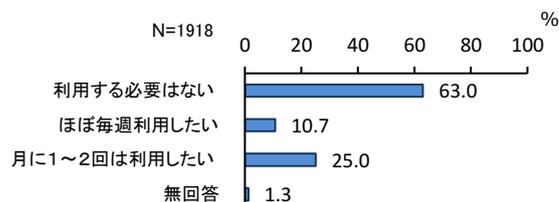


7 お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問17 あて名のお子さんについて、土曜日あるいは日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます。)希望がある場合は、利用したい時間帯を口内に記入してください。

(1) 土曜日

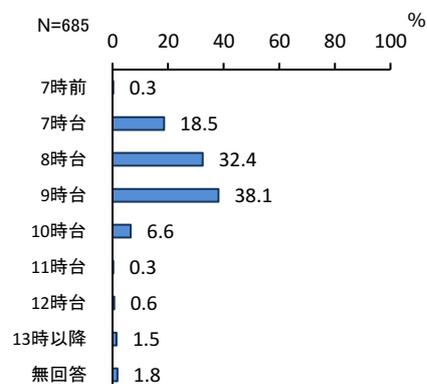
「利用する必要はない」の割合が63.0%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が25.0%となっています。



① 利用したい時間帯

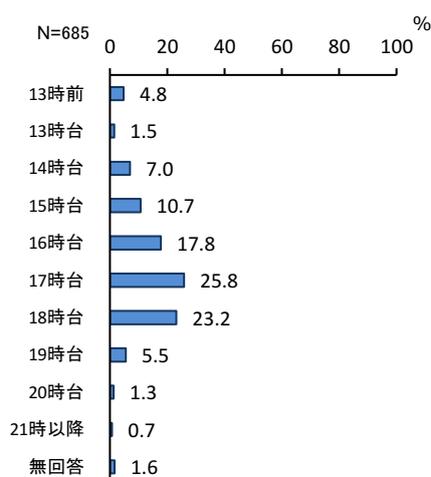
ア 開始時刻

「9時台」の割合が38.1%と最も高く、次いで「8時台」の割合が32.4%、「7時台」の割合が18.5%となっています。



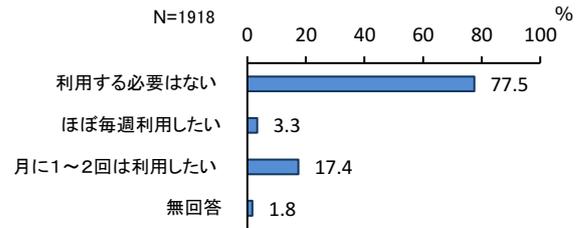
イ 終了時刻

「17時台」の割合が25.8%と最も高く、次いで「18時台」の割合が23.2%、「16時台」の割合が17.8%となっています。



(2) 日曜・祝日

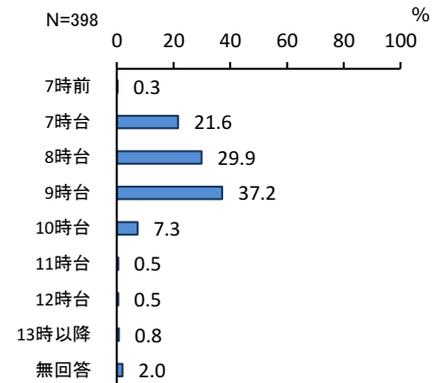
「利用する必要はない」の割合が 77.5%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が 17.4%となっています。



① 利用したい時間帯

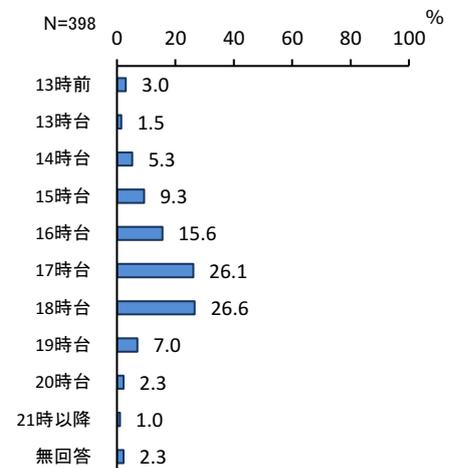
ア 開始時刻

「9時台」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「8時台」の割合が 29.9%、「7時台」の割合が 21.6%となっています。



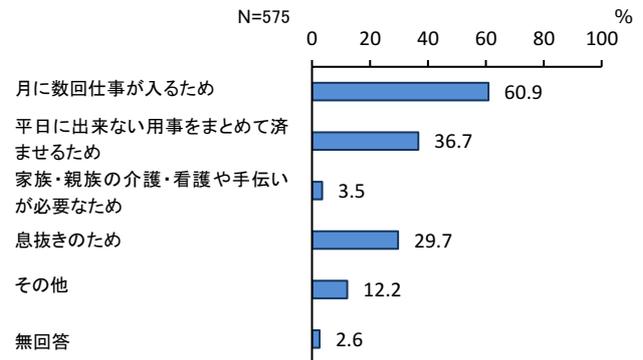
イ 終了時刻

「18時台」の割合が 26.6%と最も高く、次いで「17時台」の割合が 26.1%、「16時台」の割合が 15.6%となっています。



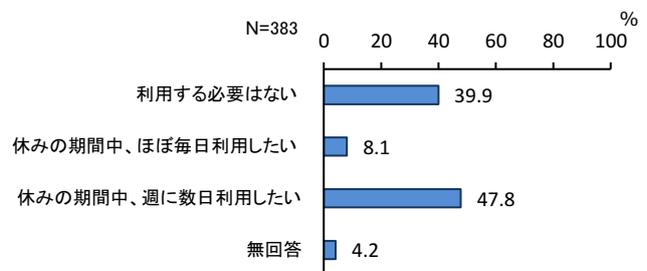
問 17-1 問 17 の (1) もしくは (2) で、[3. 月に 1～2 回利用したい] に○をつけたかたにうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「月に数回仕事が入るため」の割合が 60.9%と最も高く、次いで「平日に出来ない用事をまとめて済ませるため」の割合が 36.7%、「息抜きのため」の割合が 29.7%となっています。



問 18 「幼稚園」を利用されているかたにうかがいます。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に、お子さんをお預かりする事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、口内に記入してください。

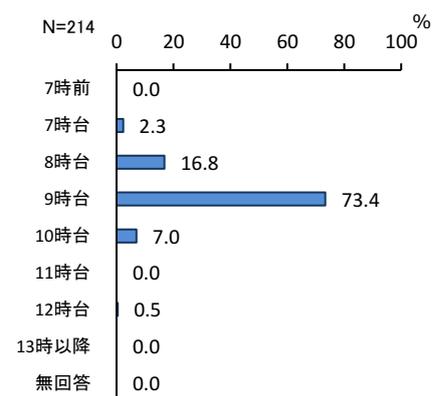
「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が 47.8%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が 39.9%となっています。



(1) 利用したい時間帯

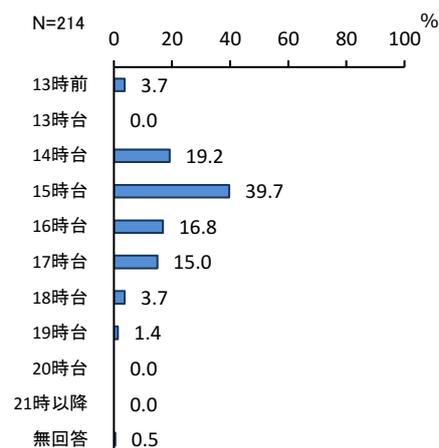
① 開始時刻

「9時台」の割合が 73.4%と最も高く、次いで「8時台」の割合が 16.8%となっています。



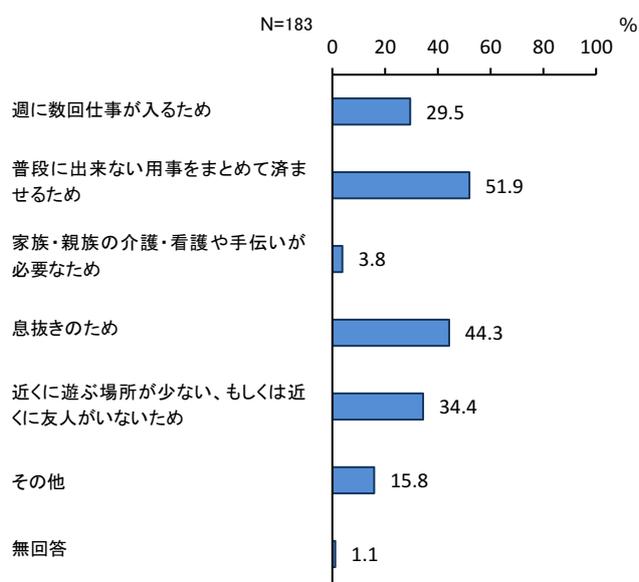
② 終了時刻

「15時台」の割合が39.7%と最も高く、次いで「14時台」の割合が19.2%、「16時台」の割合が16.8%となっています。



問 18-1 問 18 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけたかたにうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

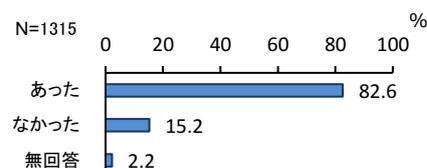
「普段に出来ない用事をまとめて済ませるため」の割合が51.9%と最も高く、次いで、「息抜きのため」が44.3%、「近くに遊ぶ場所が少ない、もしくは近くに友人がいないため。」が34.4%の割合となっています。



8 お子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用しているかたのみ）

問 19 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガを理由として通常の教育・保育の事業を利用できなかった（幼稚園・保育園を休んだ）ことがありますか。

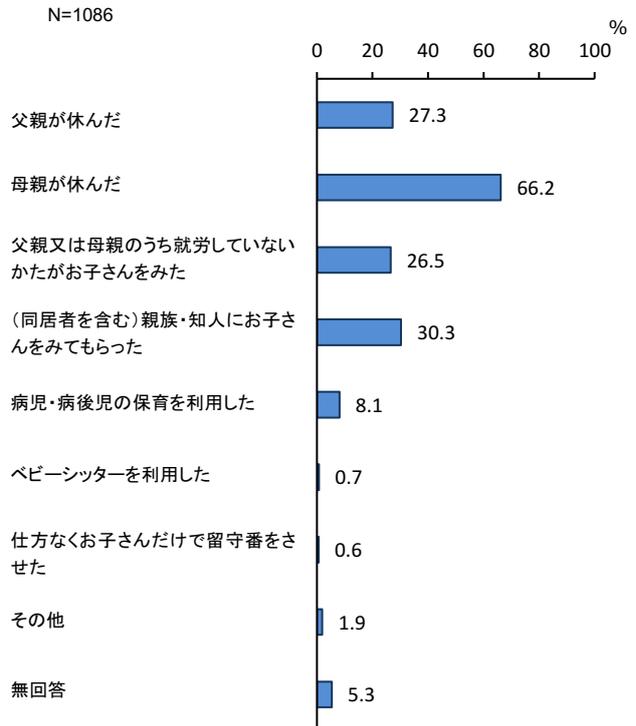
「あった」の割合が82.6%、「なかった」の割合が15.2%となっています。



問 19-1 その際に、この1年間に行った対応方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数を口内に数字で記入してください。(半日程度の対応の場合も1日として記入してください。)

(1) 1年間の対処方法

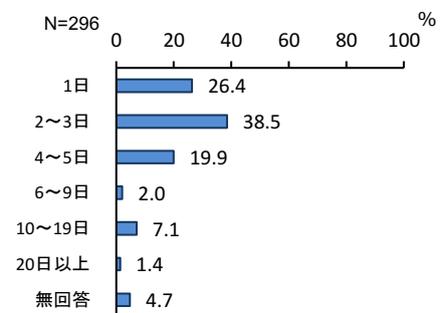
「母親が休んだ」の割合が66.2%と最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が30.3%、「父親が休んだ」の割合が27.3%となっています。



(2) 1年間の対処方法日数

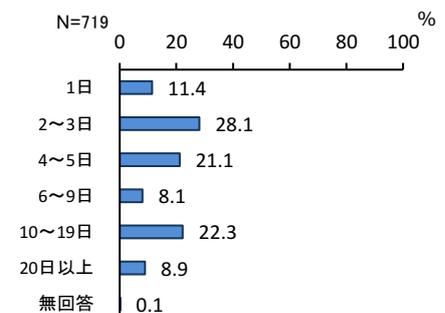
① 父親が休んだ日数

「2～3日」の割合が38.5%と最も高く、次いで「1日」の割合が26.4%、「4～5日」の割合が19.9%となっています。



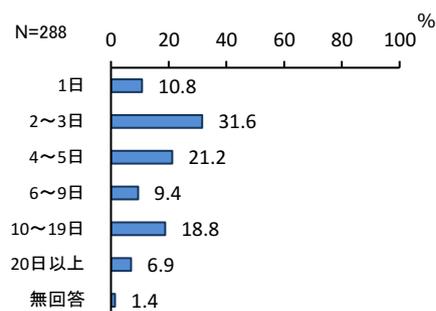
② 母親が休んだ日数

「2～3日」の割合が28.1%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が22.3%、「4～5日」の割合が21.1%となっています。



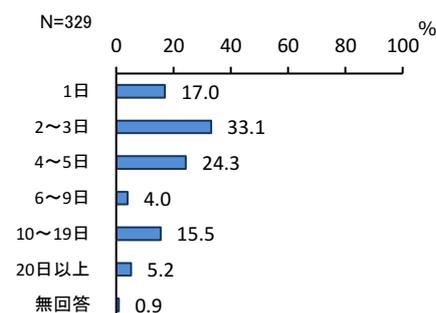
③ 父親又は母親のうち就労していないかたが子どもをみた日数

「2～3日」の割合が31.6%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が21.2%、「10～19日」の割合が18.8%となっています。



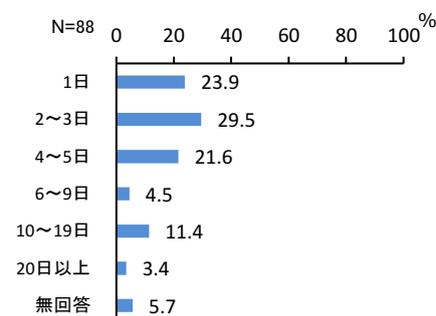
④ (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった日数

「2～3日」の割合が33.1%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が24.3%、「1日」の割合が17.0%となっています。



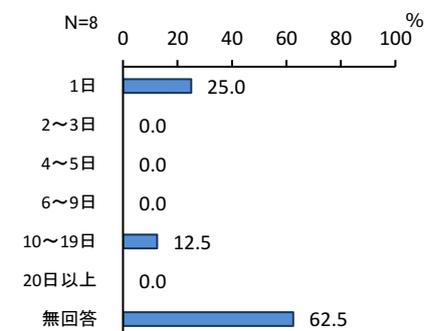
⑤ 病児・病後児の保育を利用した日数

「2～3日」の割合が29.5%と最も高く、次いで「1日」の割合が23.9%、「4～5日」の割合が21.6%となっています。



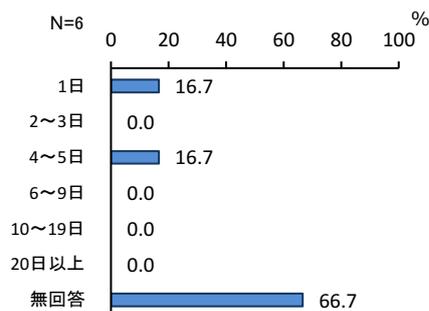
⑥ ベビーシッターを利用した日数

「1日」が2件、「10～19日」が1件となっています。



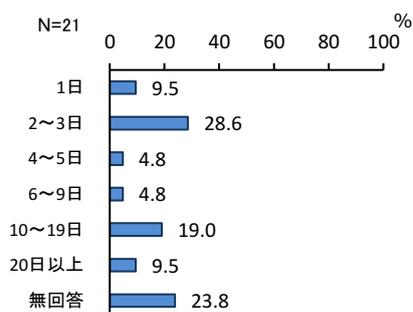
⑦ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

「1日」、「4～5日」がそれぞれ1件と
なっています。



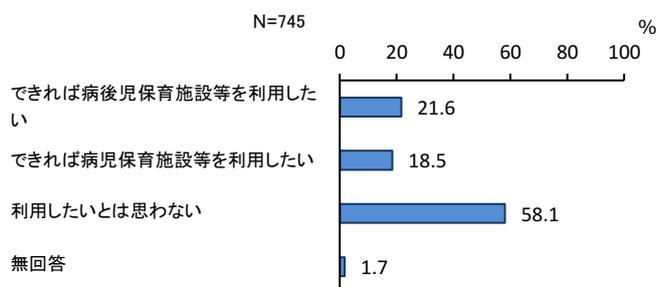
⑧ その他日数

「2～3日」の割合が28.6%と最も高く、
次いで、「10～19日」の割合が19.0%とな
っています。



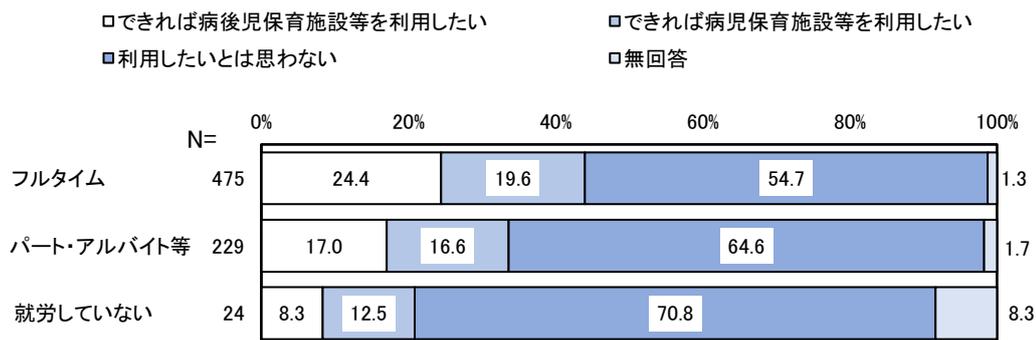
問 19-2 問 19-1 で [1.] [2.] に○をつけたかたにうかがいます。その際、「できれば病児・病
後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○を
つけ、日数についても□内に記号で記入してください。(病児・病後児のための保育施
設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となりま
す。)

「利用したいとは思わない」の割合が
58.1%と最も高く、次いで「できれば病後
児保育施設等を利用したい」の割合が
21.6%、「できれば病児保育施設等を利用
したい」の割合が18.5%となっています。



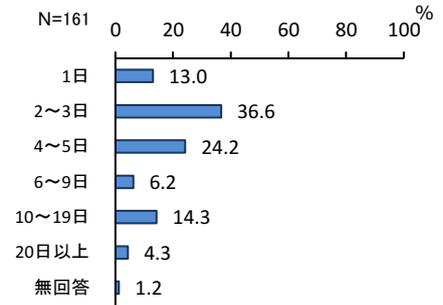
【母親の就労状況別】

病児・病後児のための保育施設等の利用希望について母親の就労状況別でみると、他に比べ、
「フルタイム」層で病後児・病児保育施設等の「利用したい」の割合が高くなっています。



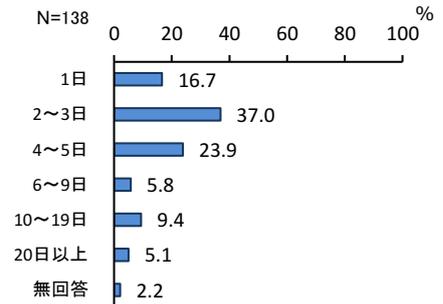
(1) できれば病後児保育施設等を利用したい日数

「2～3日」の割合が36.6%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が24.2%、「10～19日」の割合が14.3%となっています。



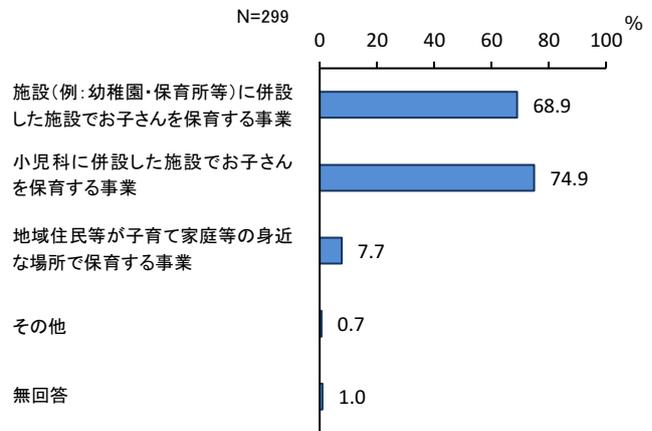
(2) できれば病児保育施設等を利用したい日数

「2～3日」の割合が37.0%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が23.9%、「1日」の割合が16.7%となっています。



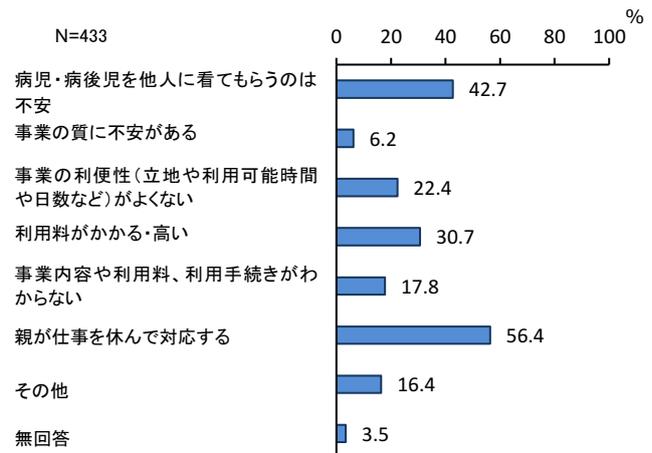
問 19-3 問 19-2 で [1.] あるいは [2.] に○をつけたかたにうかがいます。上記の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設でお子さんを保育する事業」の割合が74.9%と最も高く、次いで「施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設でお子さんを保育する事業」の割合が68.9%となっています。



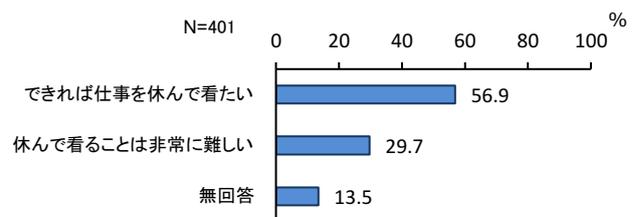
問 19-4 問 19-2 で [3.] に○をつけたかたにうかがいます。「利用したいとは思わない」理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「親が仕事を休んで対応する」の割合が 56.4%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が 42.7%、「利用料がかかる・高い」の割合が 30.7%となっています。



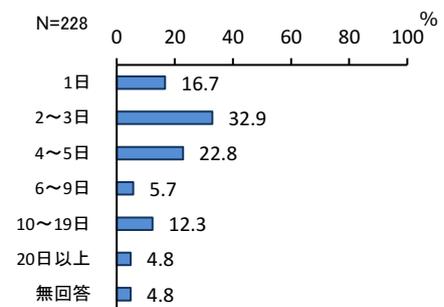
問 19-5 問 19-1 で [4.] ~ [8.] に○をつけたかたにうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、問 19-1 で記入した日数のうち、仕事を休んで看たかった日数についても記入してください。

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が 56.9%、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が 29.7%となっています。



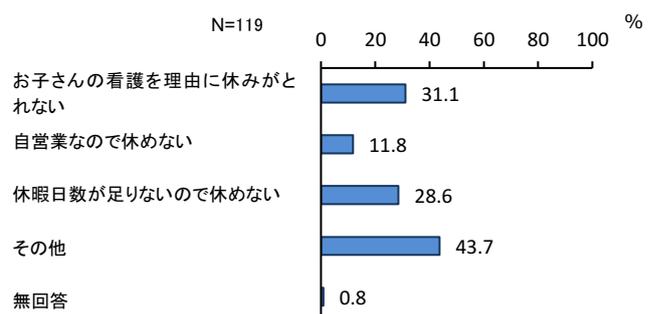
(1) できれば仕事を休んで看たい日数

「2~3日」の割合が 32.9%と最も高く、次いで「4~5日」の割合が 22.8%、「1日」の割合が 16.7%となっています。



問 19-6 問 19-5 で [2.] に○をつけたかたにうかがいます。「休んで看ることは非常に難しい」と思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

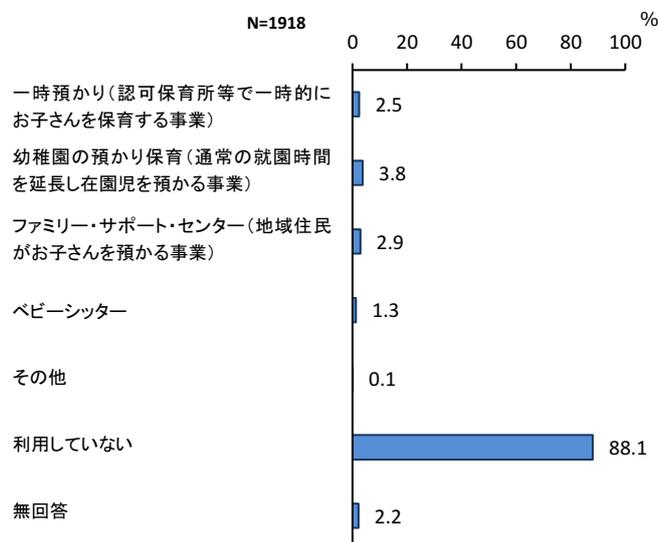
「お子さんの看護を理由に休みがとれない」の割合が 31.1%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」の割合が 28.6%となっています。「その他」は 43.7%で、46 件が仕事都合で「その他」の半数以上となっています。



9 お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 20 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数を口内に数字で記入してください。

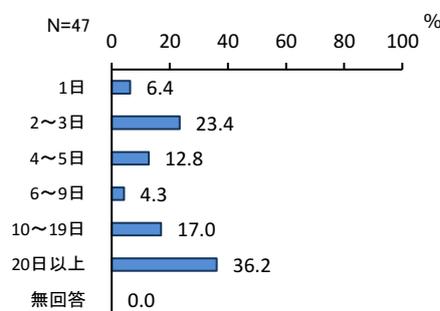
「利用していない」の割合が88.1%と最も高くなっています。



(1) 利用している事業別年間日数

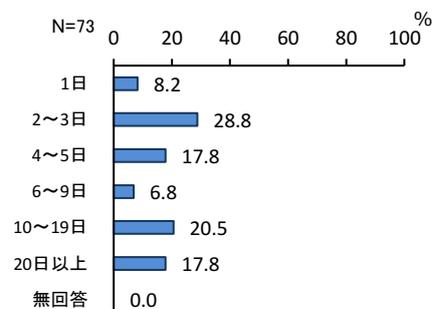
① 一時預かり(認可保育所等で一時的にお子さんを保育する事業)

「20日以上」の割合が36.2%と最も高く、次いで「2~3日」の割合が23.4%、「10~19日」の割合が17.0%となっています。



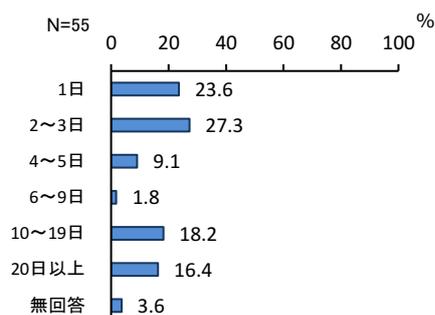
② 幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長し在園児を預かる事業)

「2~3日」の割合が28.8%と最も高く、次いで「10~19日」の割合が20.5%、「4~5日」「20日以上」の割合が17.8%となっています。



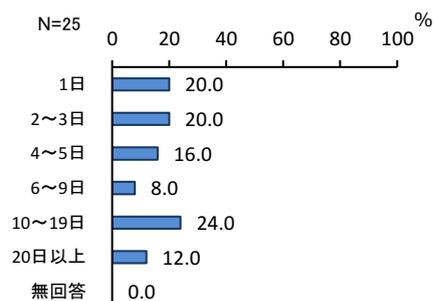
③ ファミリー・サポート・センター（地域住民がお子さんを預かる事業）

「2～3日」の割合が27.3%と最も高く、次いで「1日」の割合が23.6%、「10～19日」の割合が18.2%となっています。「20日以上」の割合も16.4%です。



④ ベビーシッター

「10～19日」の割合が24.0%と最も高く、次いで「1日」、「2～3日」の割合が20.0%となっています。

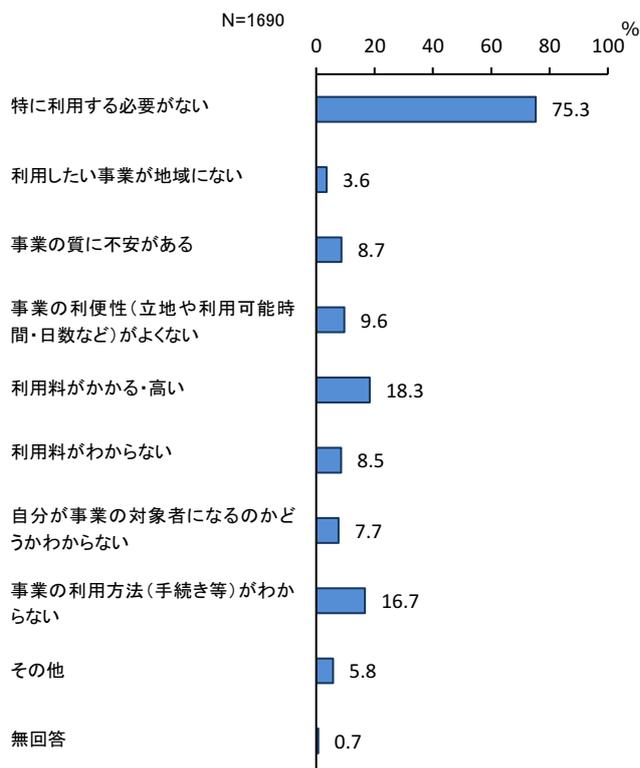


⑤ その他

「4～5日」、「10～19日」がそれぞれ1名です。

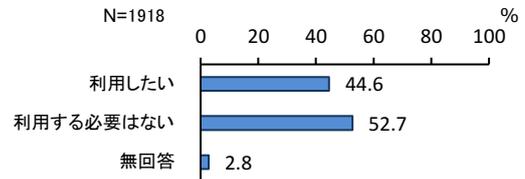
問 20-1 問 20 で [6.] に○をつけたかたにうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」の割合が75.3%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」の割合が18.3%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が16.7%となっています。



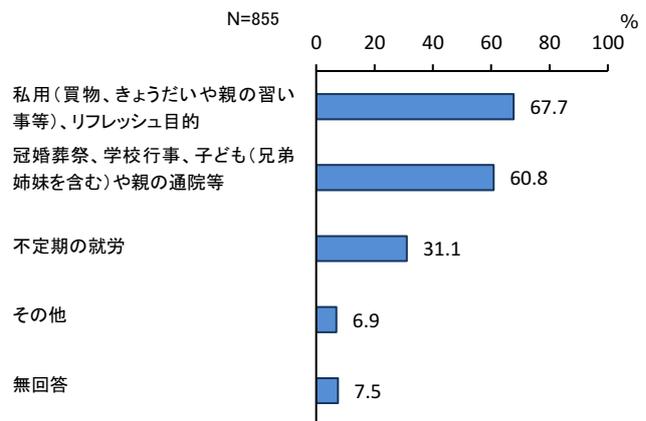
問 21 すべてのかたにうかがいます。あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、今後、年間何日くらい利用を希望する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、1年間のおおよその必要日数を口内に記入してください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を記入してください。）

「利用する必要はない」の割合が 52.7%、
「利用したい」の割合が 44.6%となっています。



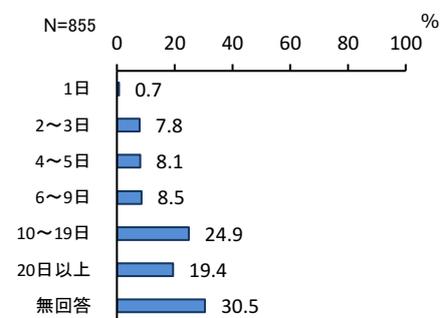
(1) 利用したい目的

「私用（買物、きょうだいや親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が 67.7%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が 60.8%、「不特定の就労」の割合が 31.1%となっています。



(2) 利用したい年間合計日数

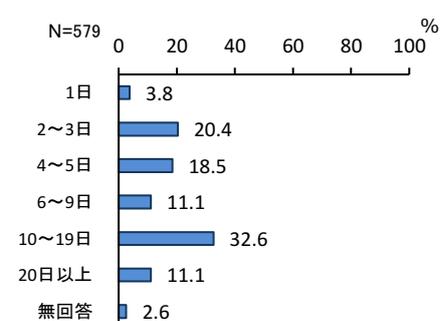
「10～19日」の割合が 24.9%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が 19.4%となっています。



(3) 利用したい目的別年間合計日数

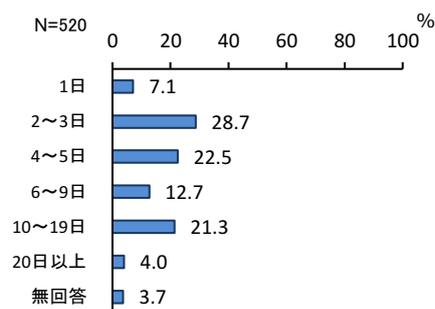
① 私用（買物、きょうだいや親の習い事等）、リフレッシュ目的

「10～19日」の割合が 32.6%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が 20.4%、「4～5日」の割合が 18.5%となっています。



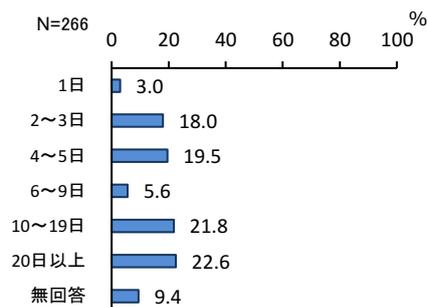
② 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等

「2～3日」の割合が28.7%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が22.5%、「10～19日」の割合が21.3%となっています。



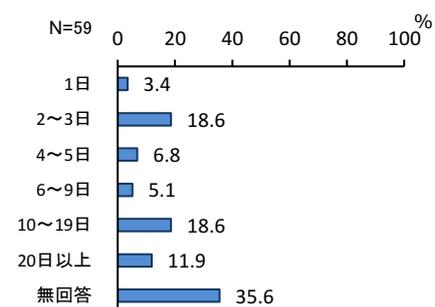
③ 不定期の就労

「20日以上」の割合が22.6%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が21.8%、「4～5日」の割合が19.5%となっています。



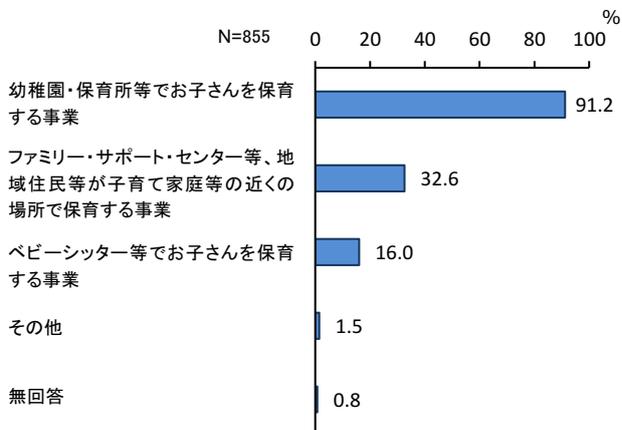
④ その他

「2～3日」、「10～19日」の割合が18.6%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が11.9%となっています。



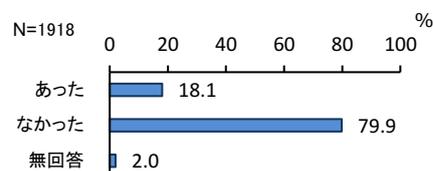
問 21-1 問 21 で [1. 利用したい] に○をつけたかたにうかがいます。私用、親の通院、不定期就労等の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「幼稚園・保育所等でお子さんを保育する事業」の割合が91.2%と最も高く、次いで「ファミリー・サポート・センター等、地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」の割合が32.6%、「ベビーシッター等でお子さんを保育する事業」の割合が16.0%となっています。



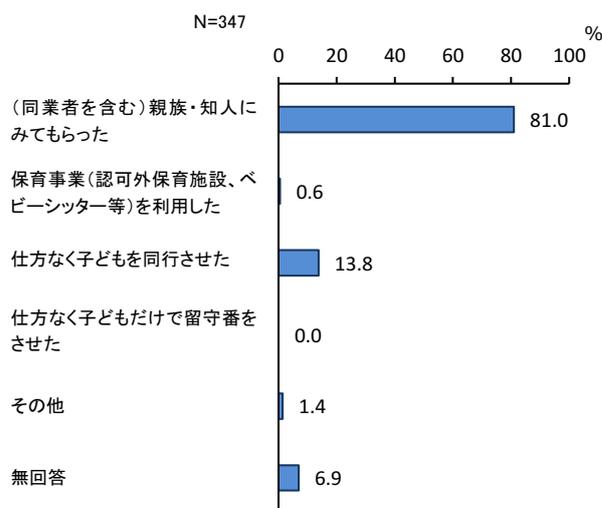
問 22 すべてのかたにうかがいます。この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字で記入してください。

「なかった」の割合が79.9%、「あった」の割合が18.1%となっています。



(1) 1年間の対処方法

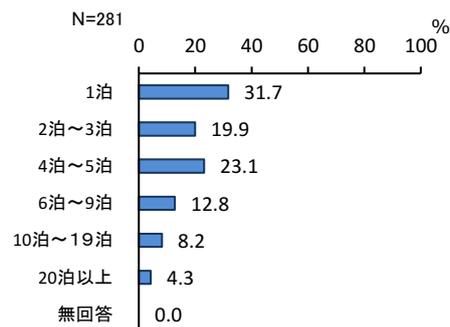
「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」の割合が81.0%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が13.8%となっています。



(2) 1年間の対処方法別日数

① (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった

「1泊」の割合が31.7%と最も高く、次いで「4泊～5泊」の割合が23.1%、「2泊～3泊」の割合が19.9%となっています。

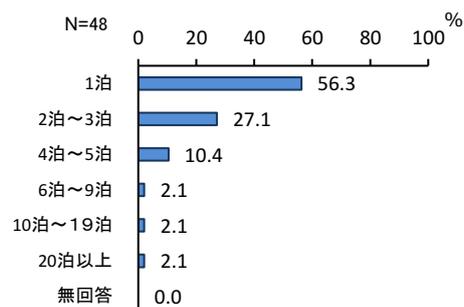


② 保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した

「2泊～3泊」「4泊～5泊」がそれぞれ1名です。

③ 仕方なく子どもを同行させた

「1泊」の割合が56.3%と最も高く、次いで「2泊～3泊」の割合が27.1%となっています。

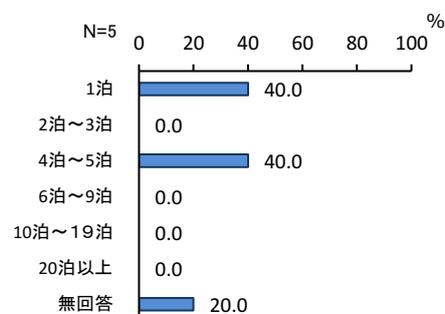


④ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

該当する対処は、ありませんでした。

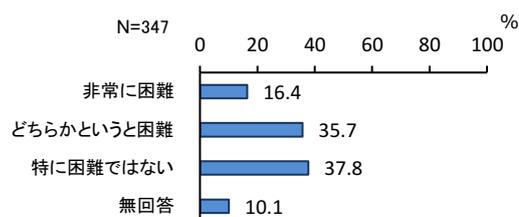
⑤ その他

「1泊」、「4泊～5泊」がそれぞれ2件です。



問 22-1 問 22 で [1. (あった) ア. (親族・知人にみてもらった)] を答えたかたにうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

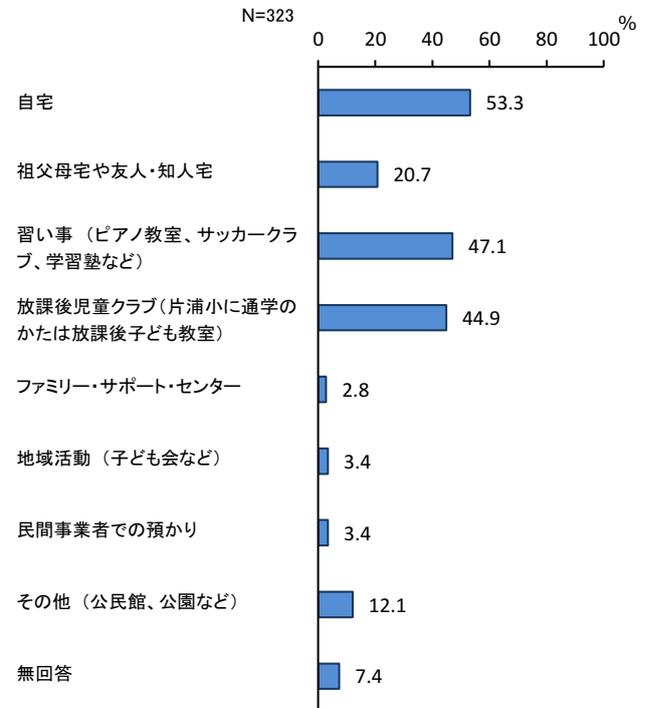
「特に困難ではない」の割合が37.8%と最も高く、次いで「どちらかというと困難」の割合が35.7%、「非常に困難」の割合が16.4%となっています。



10 お子さんが5歳以上であるかたの、小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 23 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を数字で記入してください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も記入してください。

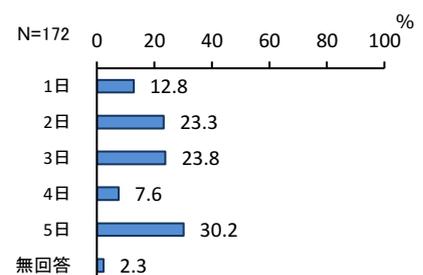
「自宅」の割合が53.3%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が47.1%、「放課後児童クラブ（片浦小に通学のかたは放課後子ども教室）」の割合が44.9%となっています。



（1）放課後の過ごさせたい場所別週当たり日数

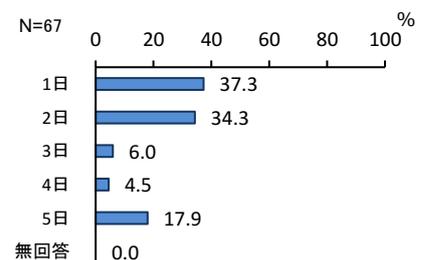
① 自宅

「5日」の割合が30.2%と最も高く、次いで「3日」の割合が23.8%、「2日」の割合が23.3%となっています。



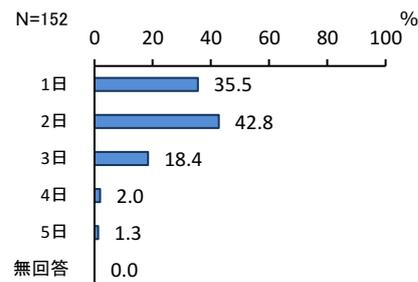
② 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が37.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が34.3%、「5日」の割合が17.9%となっています。



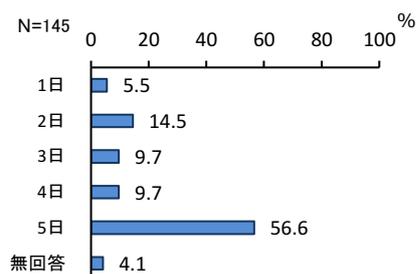
③ 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

「2日」の割合が42.8%と最も高く、次いで「1日」の割合が35.5%、「3日」の割合が18.4%となっています。



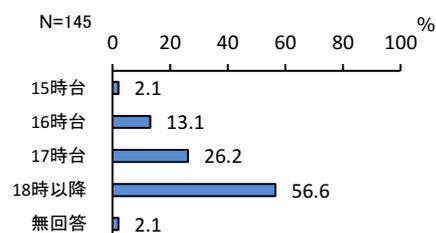
④ 放課後児童クラブ（片浦小に通学のかたは放課後子ども教室）

「5日」の割合が56.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が14.5%、「3日」、「4日」の割合がそれぞれ9.7%となっています。



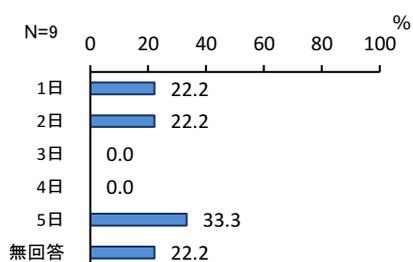
④-1 利用を希望する終了時間

「18時以降」の割合が56.6%と最も高く、次いで「17時台」の割合が26.2%、「16時台」の割合が13.1%となっています。



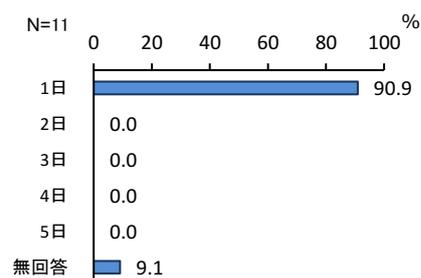
⑤ ファミリー・サポート・センター

「5日」が3件、「1日」、「2日」がそれぞれ2件となっています。



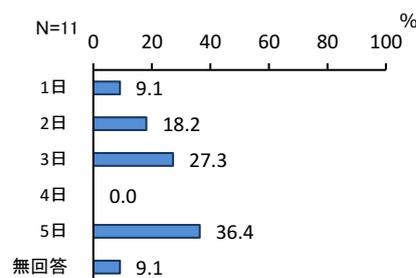
⑥ 地域活動（子ども会など）

「1日」が10件となっています。



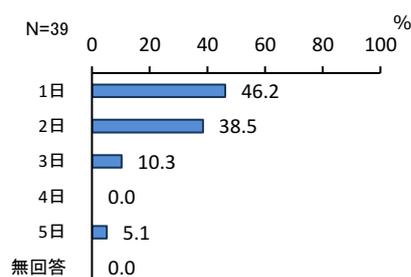
⑦ 民間事業者での預かり

「5日」の割合が36.4%と最も高く、次いで「3日」の割合が27.3%、「2日」の割合が18.2%となっています。



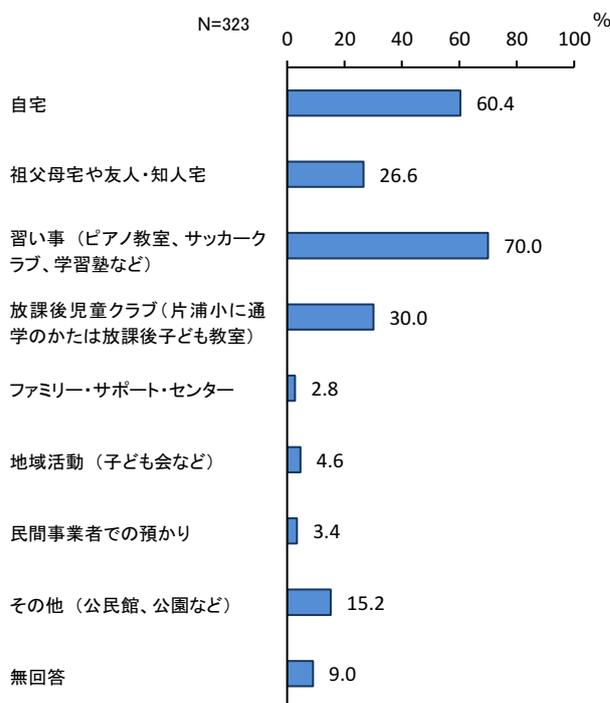
⑧ その他（公民館、公園など）

「1日」の割合が46.2%と最も高く、次いで「2日」の割合が38.5%、「3日」の割合が10.3%となっています。



問 24 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たりの日数を数字で記入してください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も記入してください。（※だいたいのことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。）

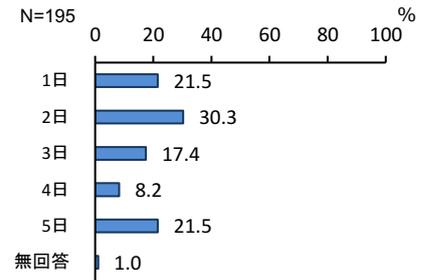
「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が70.0%と最も高く、次いで「自宅」の割合が60.4%、「放課後児童クラブ（片浦小に通学のかたは放課後子ども教室）」の割合が30.0%となっています。



(1) 放課後の過ごさせたい場所別週当たり日数

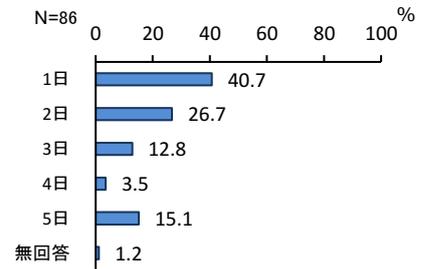
① 自宅

「2日」の割合が30.3%と最も高く、次いで「1日」、「5日」の割合が21.5%、「3日」の割合が17.4%となっています。



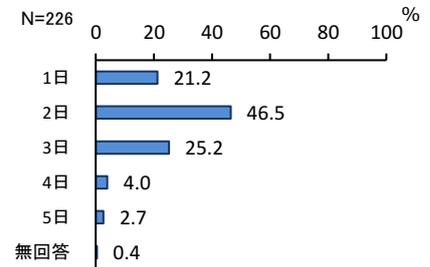
② 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が40.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が26.7%、「5日」の割合が15.1%となっています。



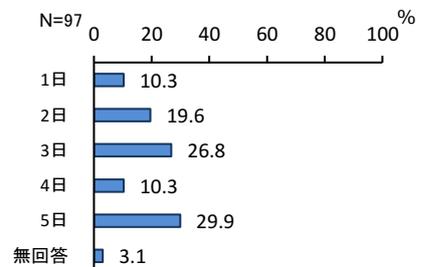
③ 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

「2日」の割合が46.5%と最も高く、次いで「3日」の割合が25.2%、「1日」の割合が21.2%となっています。



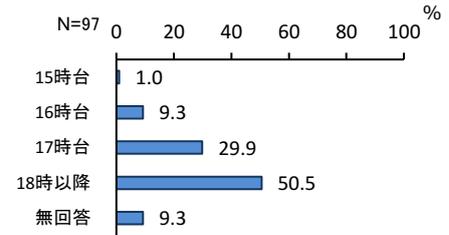
④ 放課後児童クラブ (片浦小に通学のかたは放課後子ども教室)

「5日」の割合が29.9%と最も高く、次いで「3日」の割合が26.8%、「2日」の割合が19.6%となっています。



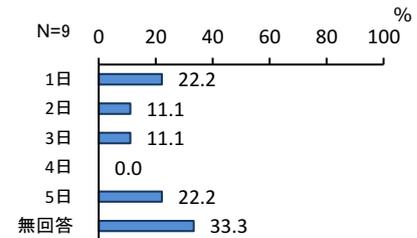
④-1 利用を希望する終了時間

「18時以降」の割合が50.5%と最も高く、次いで「17時台」の割合が29.9%となっています。



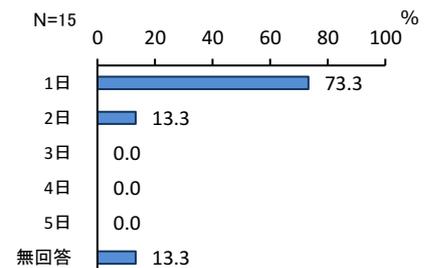
⑤ ファミリー・サポート・センター

「1日」、「5日」がそれぞれ2件、「2日」、「3日」がそれぞれ1件となっています。



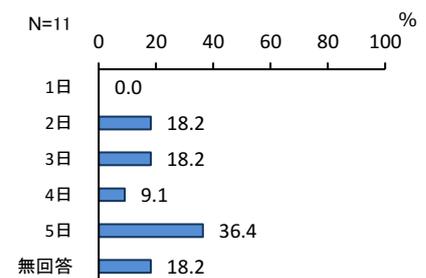
⑥ 地域活動（子ども会など）

「1日」の割合が73.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が13.3%となっています。



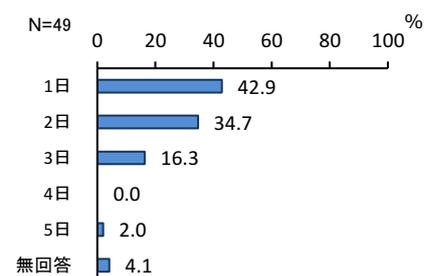
⑦ 民間事業者での預かり

「5日」の割合が36.4%と最も高く、次いで「2日」、「3日」の割合がそれぞれ18.2%となっています。



⑧ その他（公民館、公園など）

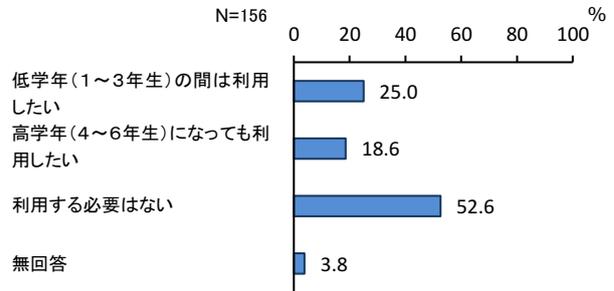
「1日」の割合が42.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が34.7%、「3日」の割合が16.3%となっています。



問 25 問 23 または問 24 で〔4. 放課後児童クラブ（片浦小に通学のかたは放課後子ども教室）〕に○をつけたかたにうかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1) (2) それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に記入してください。

(1) 土曜日

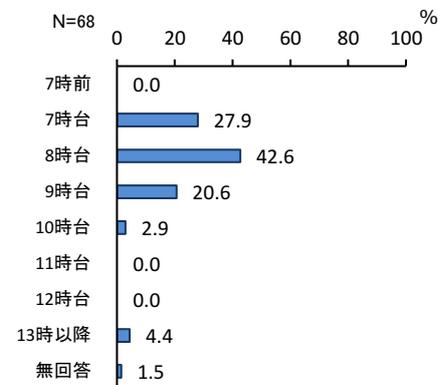
「利用する必要はない」の割合が 52.6% と最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が 25.0%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が 18.6%となっています。



① 利用したい時間帯

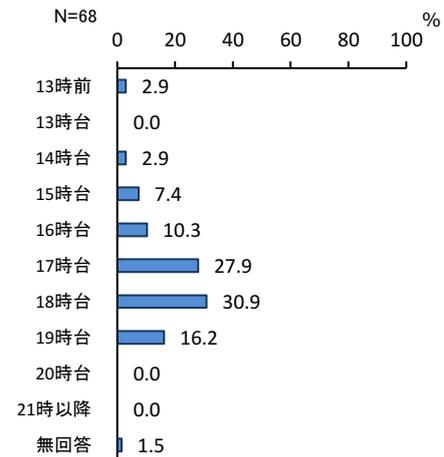
ア 開始時刻

「8時台」の割合が 42.6%と最も高く、次いで「7時台」の割合が 27.9%、「9時台」の割合が 20.6%となっています。



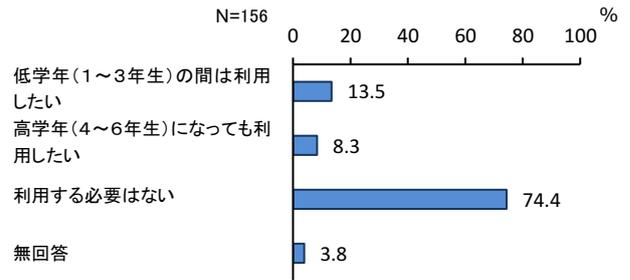
イ 終了時刻

「18時台」の割合が 30.9%と最も高く、次いで「17時台」の割合が 27.9%、「19時台」の割合が 16.2%となっています。



(2) 日曜・祝日

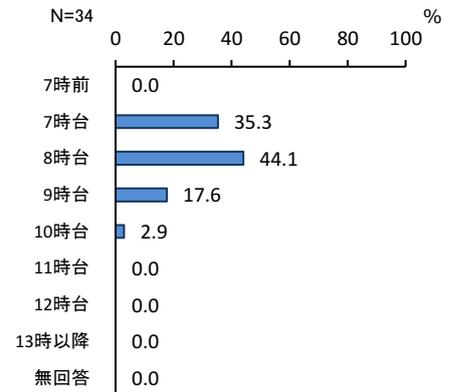
「利用する必要はない」の割合が 74.4%と最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が 13.5%となっています。



① 利用したい時間帯

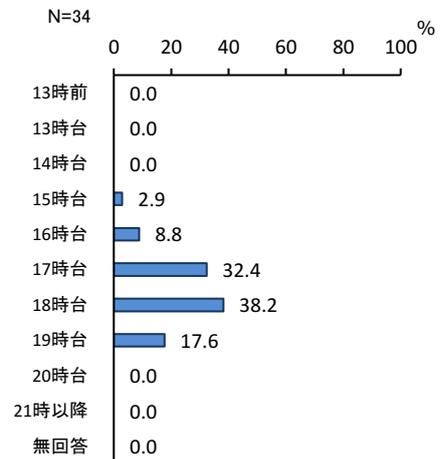
ア 開始時刻

「8時台」の割合が 44.1%と最も高く、次いで「7時台」の割合が 35.3%、「9時台」の割合が 17.6%となっています。



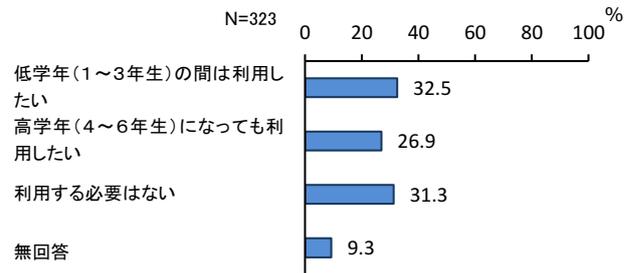
イ 終了時刻

「18時台」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「17時台」の割合が 32.4%、「19時台」の割合が 17.6%となっています。



問 26 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に記入してください。

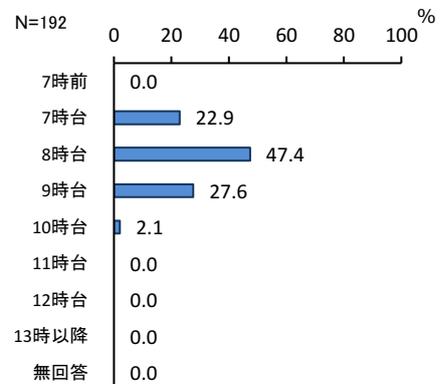
「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が 32.5%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が 31.3%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が 26.9%となっています。



(1) 利用したい時間帯

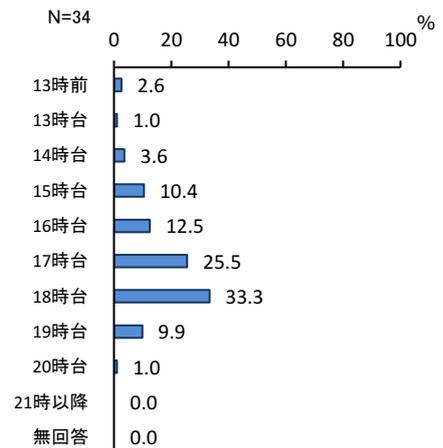
① 開始時刻

「8時台」の割合が 47.4%と最も高く、次いで「9時台」の割合が 27.6%、「7時台」の割合が 22.9%となっています。



② 終了時刻

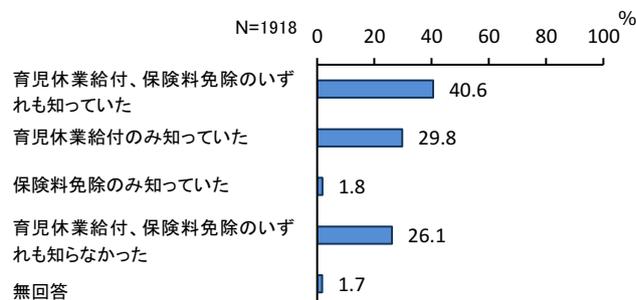
「18時台」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「17時台」の割合が 25.5%、「16時台」の割合が 12.5%となっています。



11 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 27 お子さんが原則1歳（※1）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、お子さんが満3歳になるまでの育児休業等期間（※2）について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

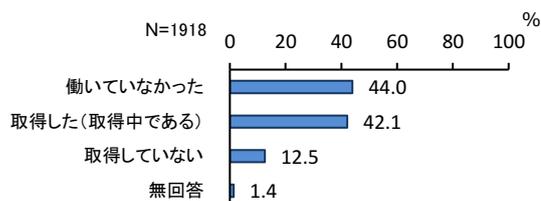
「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が40.6%と最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」の割合が29.8%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が26.1%となっています。



問 28 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していないかたはその理由を記入してください。

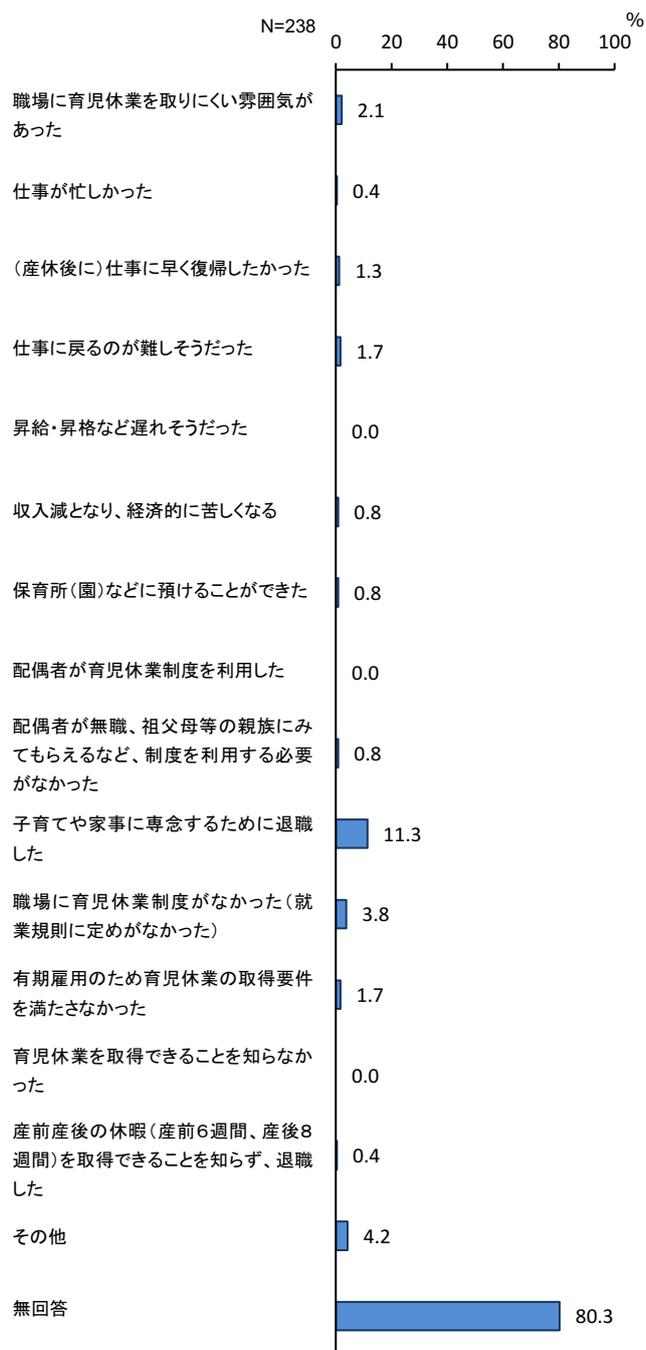
(1) 母親

「働いていなかった」の割合が44.0%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」の割合が42.1%、「取得していない」の割合が12.5%となっています。



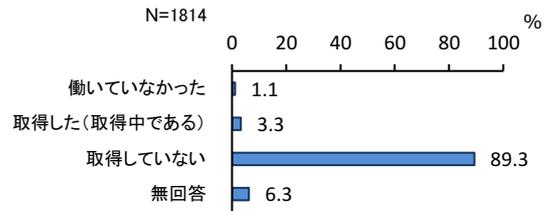
① 取得していない理由

「子育てや家事に専念するために退職した」の割合が11.3%と最も高く、次いで「その他」の割合が4.2%、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が3.8%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が2.1%となっています。



(2) 父親

「取得していない」の割合が 89.3%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」の割合が 3.3%となっています。



① 取得していない理由

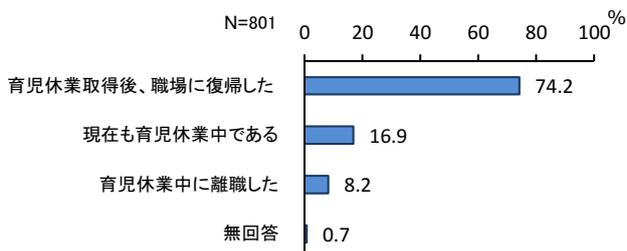
「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が 4.4%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が 4.2%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が 3.9%となっています。



問 28-1 問 28 で [2. 取得した (取得中である)] と回答したかたにうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

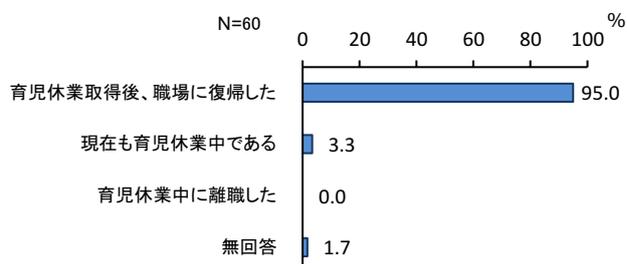
(1) 母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 74.2%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が 16.9%となっています。



(2) 父親

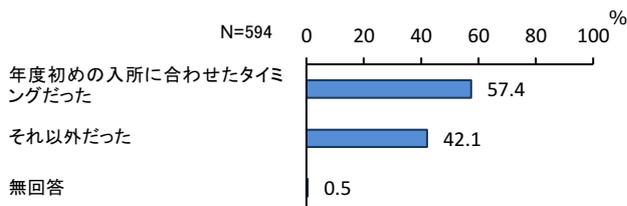
「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 95.0%と最も高くなっています。



問 28-2 問 28-1 で [1. 育児休業取得後、職場に復帰した] と回答したかたにうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか 1 つに○をつけてください。

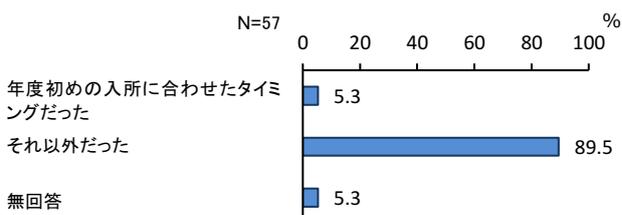
(1) 母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が 57.4%、「それ以外だった」の割合が 42.1%となっています。



(2) 父親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が 5.3%、「それ以外だった」の割合が 89.5%となっています。

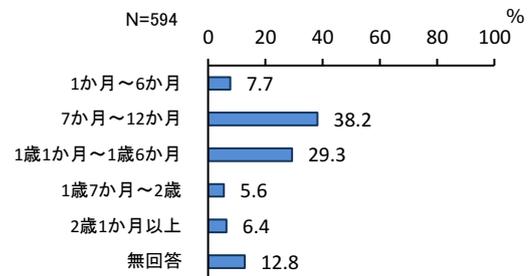


問 28-3 問 28-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答したかたにうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に記入してください。

(1) 母親

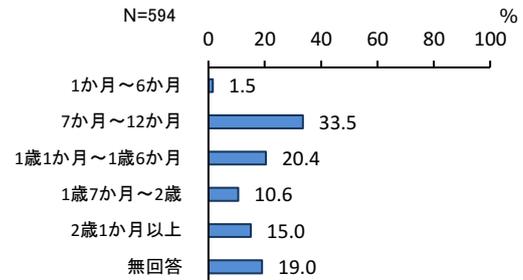
① 実際の取得期間

「7か月～12か月」の割合が38.2%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が29.3%となっています。



② 希望の取得期間

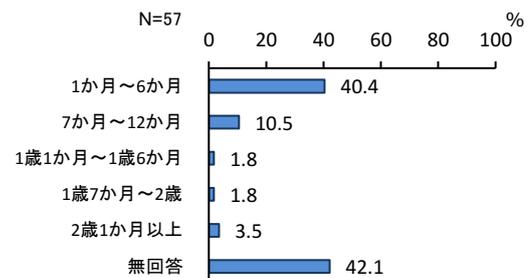
「7か月～12か月」の割合が33.5%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が20.4%、「2歳1か月以上」の割合が15.0%となっています。



(2) 父親

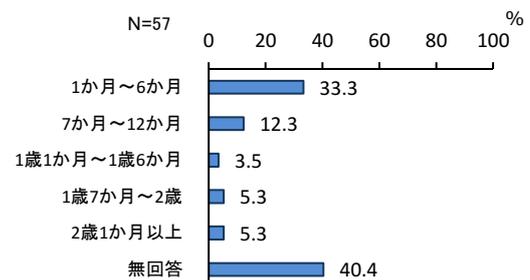
① 実際の取得期間

「1か月～6か月」の割合が40.4%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が10.5%となっています。



② 希望の取得期間

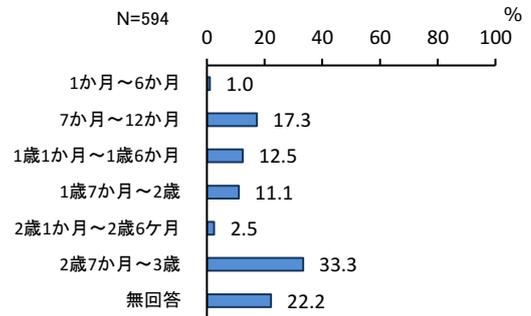
「1か月～6か月」の割合が33.3%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が12.3%となっています。



問 28-4 問 28-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答したかたにうかがいます。お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に記入してください。

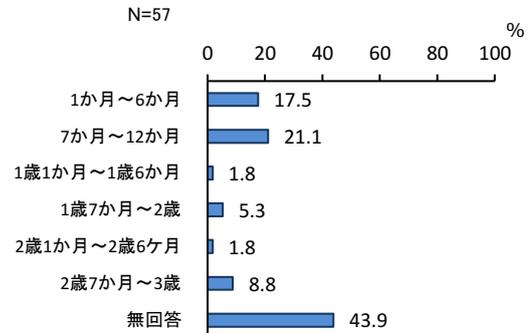
(1) 母親

「2歳7か月～3歳」の割合が33.3%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が17.3%、「1歳1か月～1歳6か月」の割合が12.5%となっています。



(2) 父親

「7か月～12か月」の割合が21.1%と最も高く、次いで「1か月～6か月」の割合が17.5%となっています。

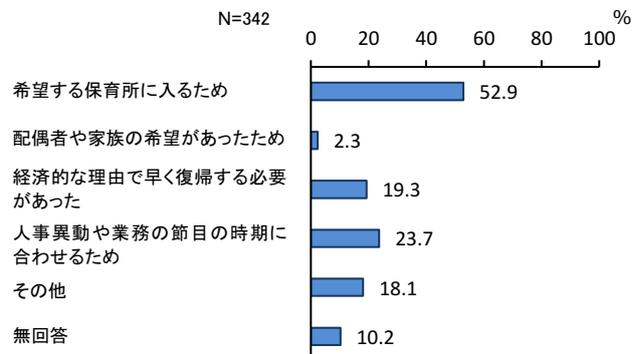


問 28-5 問 28-3 で育児休業の実際の取得期間と希望が異なったかたにうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰したかた

① 母親

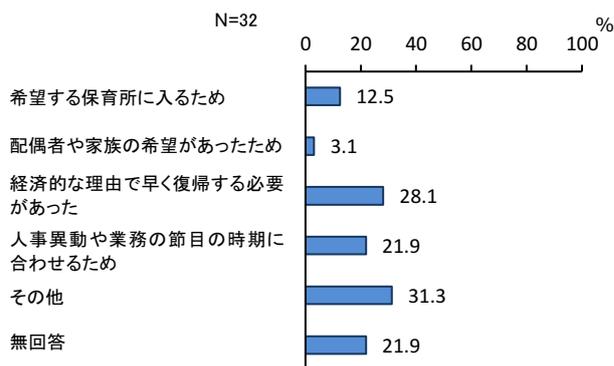
「希望する保育所に入るため」の割合が52.9%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が23.7%、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が19.3%となっています。



② 父親

「その他」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 28.1%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 21.9%となっています。

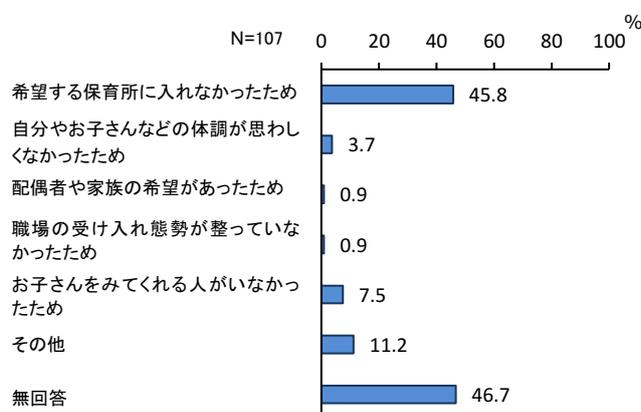
「その他」では、会社都合（育児休業制度、業務都合）と回答したかたが 5 名いました。



(2) 「希望」より遅く復帰したかた

① 母親

「希望する保育所に入れなかったため」の割合が 45.8%と最も高く、次いで「その他」の割合が 11.2%、「お子さんをみてくれる人がいなかったため」の割合が 7.5%となっています。



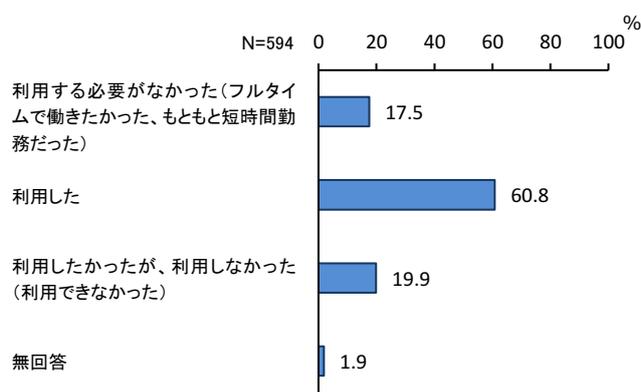
② 父親

全員（7件）無回答です。

問 28-6 問 28-1 で [1. 育児休業取得後、職場に復帰した] と回答したかたにうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

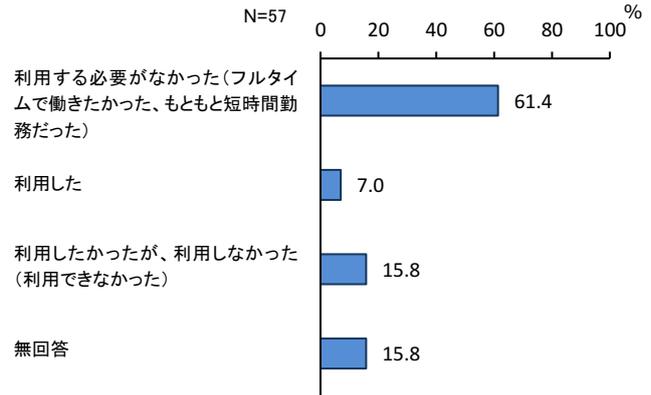
(1) 母親

「利用した」の割合が 60.8%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が 19.9%、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が 17.5%となっています。



(2) 父親

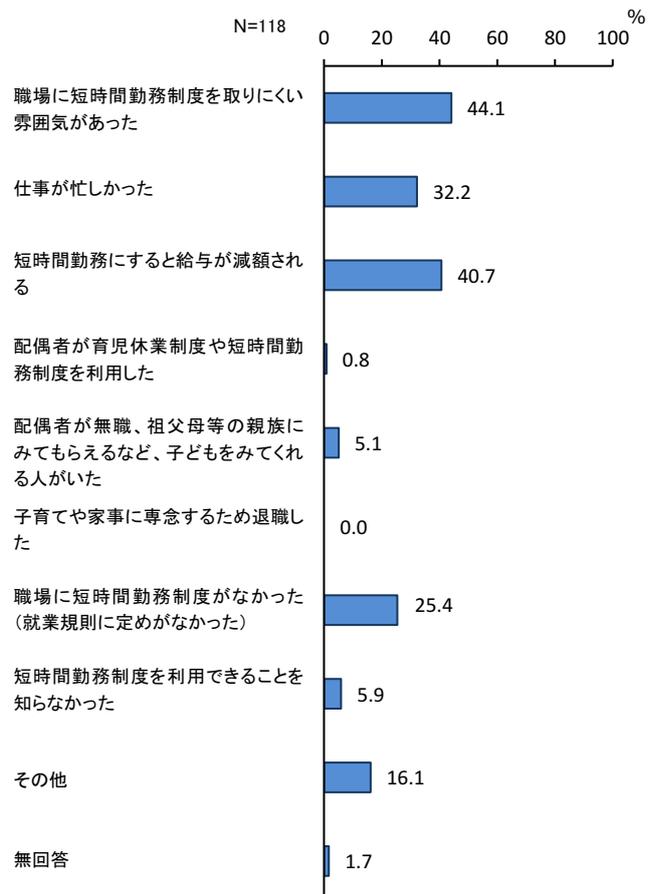
「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が 61.4%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が 15.8%となっています。



問 28-7 問 28-6 で [3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）] と回答したかたにうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

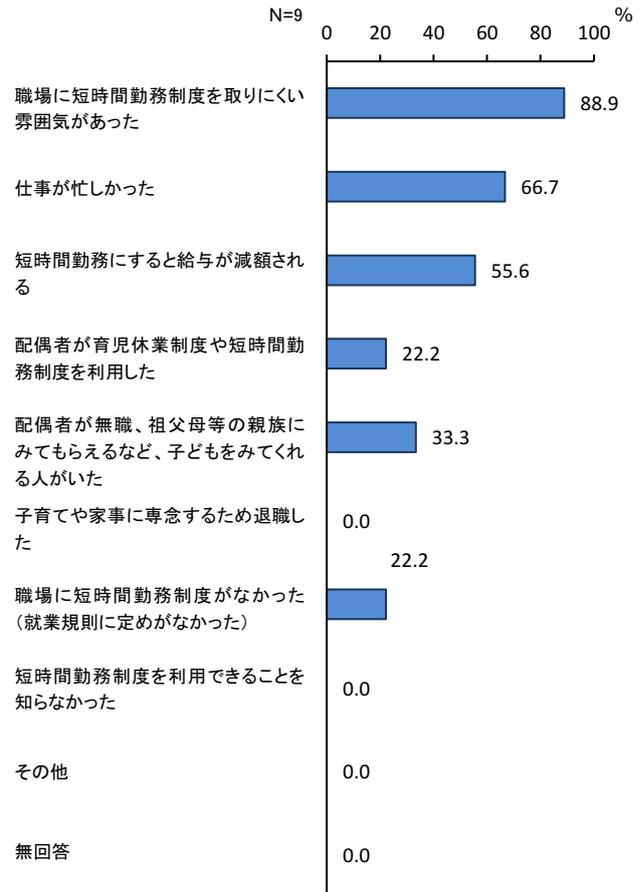
(1) 母親

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 44.1%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 40.7%、「仕事が忙しかった」の割合が 32.2%となっています。



(2) 父親

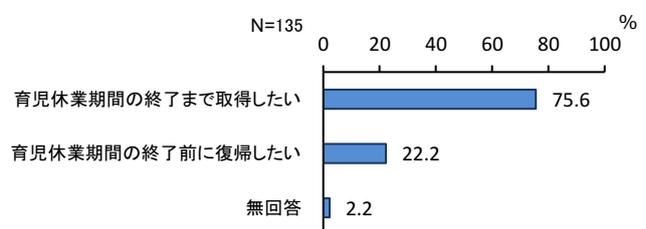
「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 88.9%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が 66.7%、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 55.6%となっています。



問 28-8 問 28-1 で [2. 現在も育児休業中である] と回答したかたにうかがいます。あて名のお子さんの育児休業が終了する時点で必ず利用できる事業があれば、育児休業期間の終了まで取得しますか。または、預けられる事業があっても育児休業期間の終了前に復帰しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

「育児休業期間の終了まで取得したい」の割合が 75.6%、「育児休業期間の終了前に復帰したい」の割合が 22.2%となっています。

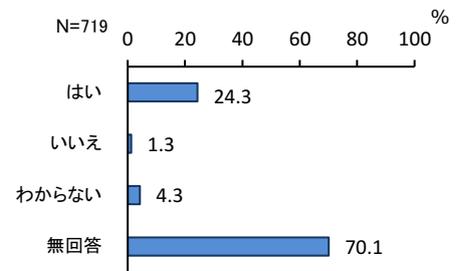


(2) 父親

「育児休業期間の終了まで取得したい」が2件となっています。

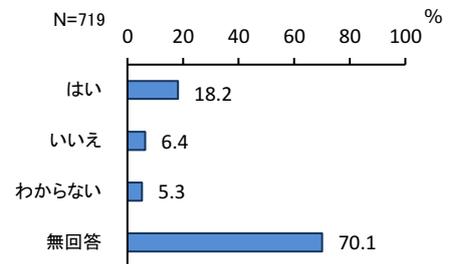
問 28-9 「0歳のお子さん」をお持ちのかたにうかがいます。1歳から必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「はい」の割合が24.3%、「いいえ」の割合が1.3%ですが、「わからない」の割合は4.3%となっています。



問 28-10 「0歳のお子さん」をお持ちのかたにうかがいます。1年を超える育児休業の取得希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

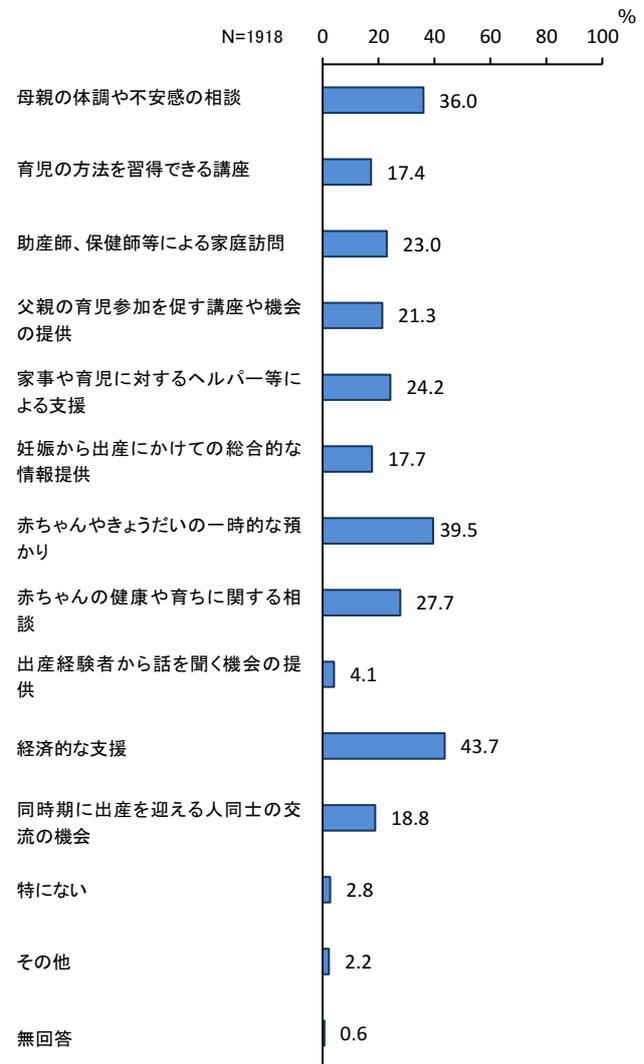
「はい」の割合が18.2%、「いいえ」の割合が6.4%、「わからない」の割合は5.3%となっています。



12 子育て全般について

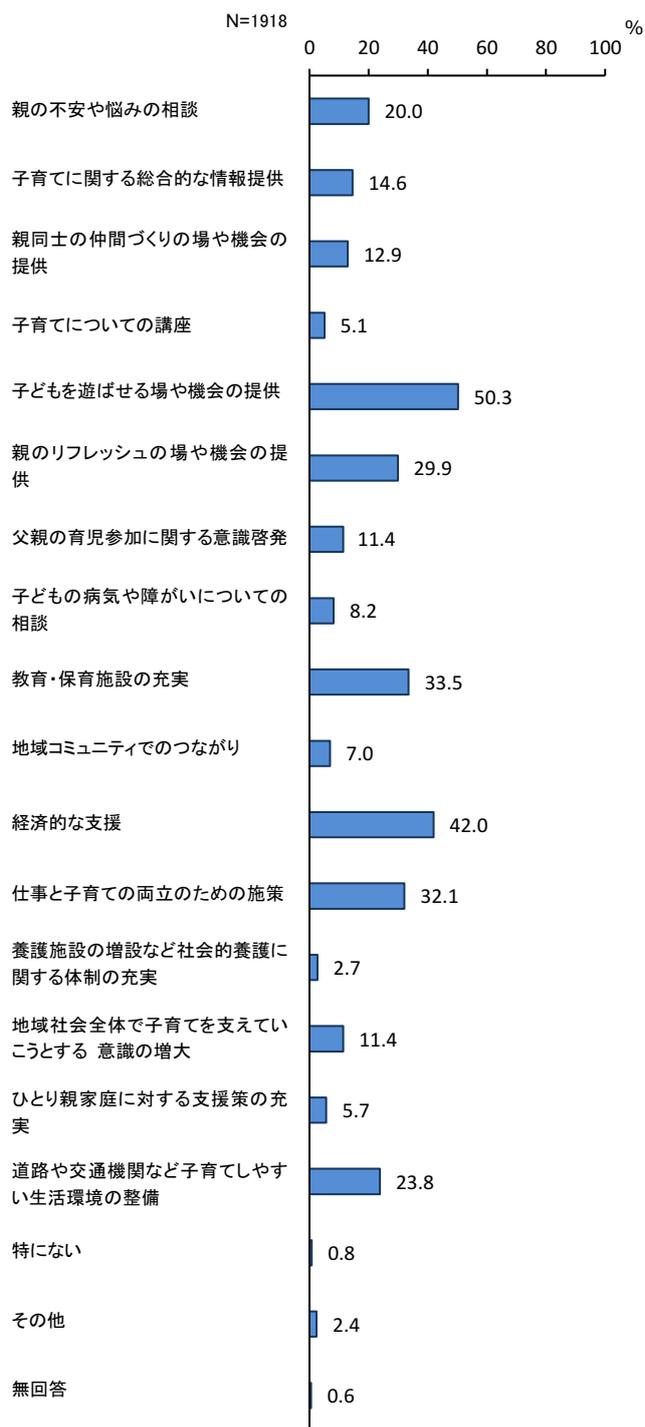
問 29 妊娠中や出産後に、どのようなサービスなどが必要だと思いますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「経済的な支援」の割合が43.7%と最も高く、次いで「赤ちゃんやきょうだいの一時的な預かり」の割合が39.5%、「母親の体調や不安感の相談」の割合が36.0%となっています。



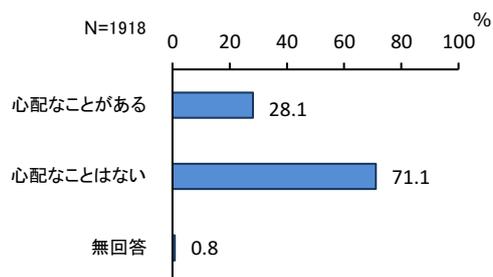
問 30 子育てをしていくうえで、どのようなサービスなどが必要だと思いますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「子どもを遊ばせる場や機会の提供」の割合が50.3%と最も高く、次いで「経済的な支援」の割合が42.0%、「教育・保育施設の充実」の割合が33.5%となっています。



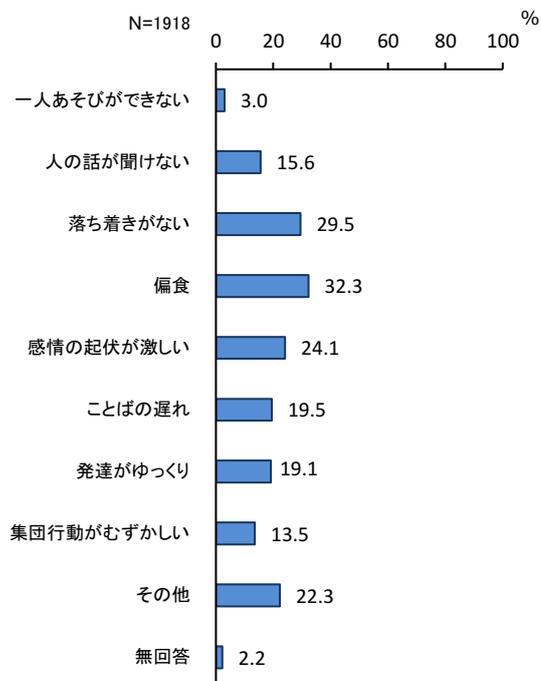
問 31 お子さんの心身の成長に関することで心配なことはありますか。

「心配なことはない」の割合が 71.1%、
「心配なことがある」の割合が 28.1%とな
っています。



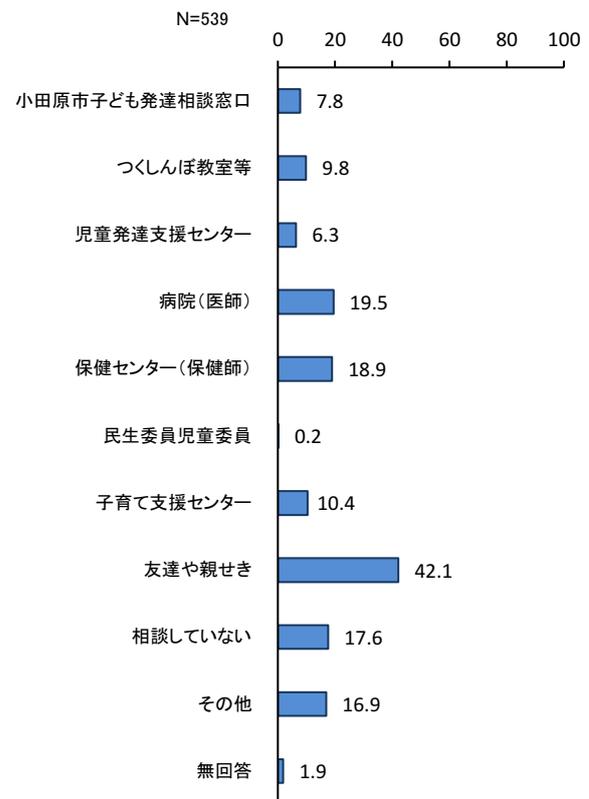
問 31-1 問 31 で [1. 心配なことがある] と答えかたにうかがいます。どのような心配ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「偏食」の割合が 32.3%と最も高く、次
いで「落ち着きがない」の割合が 29.5%、
「感情の起伏が激しい」の割合が 24.1%と
なっています。



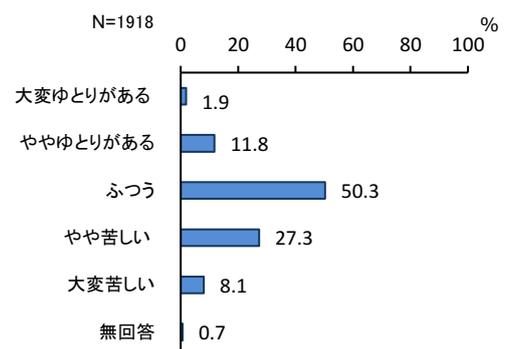
問 31-2 問 3 1で〔1. 心配なことがある〕であると答えたかたにうかがいます。相談はどこでしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友達や親せき」の割合が 42.1%と最も高く、次いで「病院(医師)」の割合が 19.5%、「保健センター(保健師)」の割合が 18.9%となっています。



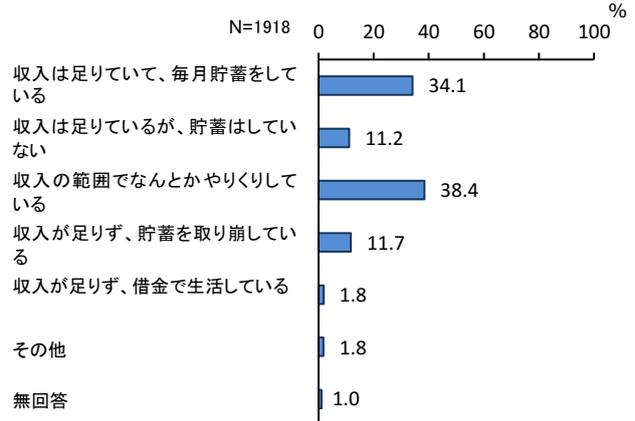
問 32 現在の暮らしの状況(経済的な面で)をどのように感じていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「ふつう」の割合が 50.3%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が 27.3%、「ややゆとりがある」の割合が 11.8%となっています。



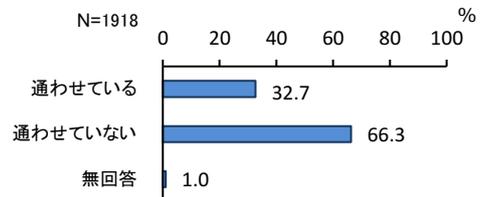
問 33 ご家庭の家計について最も近いもの1つに○をつけて下さい。

「収入の範囲でなんとかやりくりしている」の割合が38.4%と最も高く、次いで「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」の割合が34.1%、「収入が足りず、貯蓄を取り崩している」の割合が11.7%となっています。



問 34 お子さんの習い事について、当てはまる番号に1つに○をつけてください。また、利用したい日数や月謝の目安を記入してください。

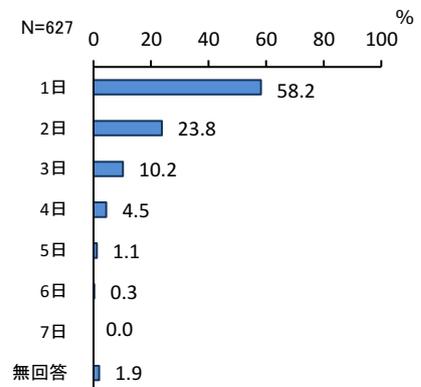
「通わせていない」の割合が66.3%、「通わせている」の割合が32.7%となっています。



● 習い事をしている

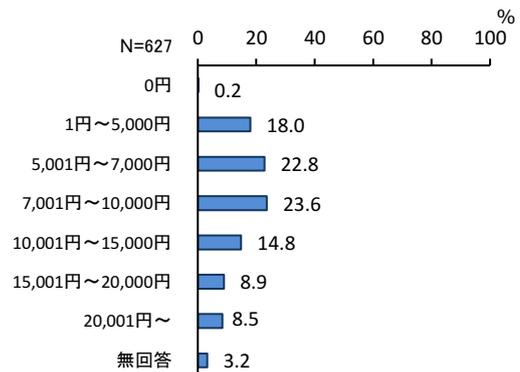
① 1週あたり日数

「1日」の割合が58.2%と最も高く、次いで「2日」の割合が23.8%、「3日」の割合が10.2%となっています。



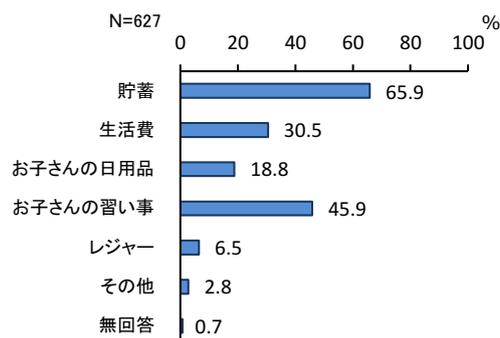
② 月謝（月当たり金額）

「7,001円～10,000円」の割合が23.6%と最も高く、次いで「5,001円～7,000円」の割合が22.8%となっています。



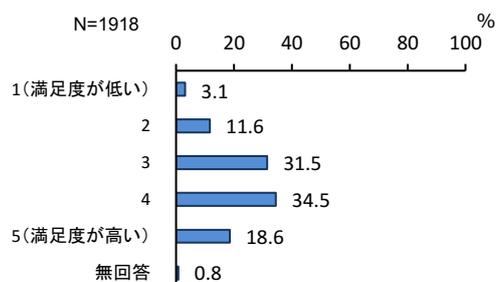
問 35 幼児教育無償化が実施された場合、その費用はどのように使用しますか。当てはまる番号2つまでに○をつけてください。

「貯蓄」の割合が 65.9%と最も高く、次いで「お子さんの習い事」の割合が 45.9%、「生活費」の割合が 30.5%となっています。



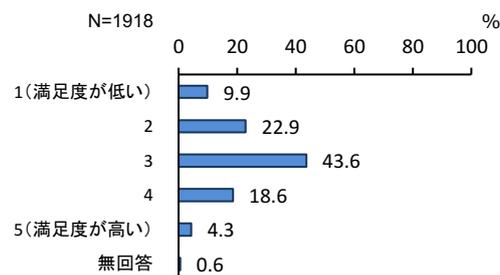
問 36 お子さんを育てている現在の生活に満足していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「4」の割合が 34.5%と最も高く、次いで「3」の割合が 31.5%、「5」の割合が 18.6%となっています。



問 37 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

「3」の割合が 43.6%と最も高く、次いで「2」の割合が 22.9%、「4」の割合が 18.6%となっています。



Ⅲ 調査結果のまとめ

1 子どもの育ちをめぐる環境について

お子さんをみてもらえる状況（問7）は、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が58.8%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が25.6%、「緊急時や用事の際にはお子さんをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が9.4%と「緊急時」には周辺にみてもらえる環境は半数以上ですが、「いずれもない」が14.1%です。

子育ての相談状況（問8）では、気軽に相談できる人や場所について、「いる/ある」の割合が90.6%、「いない/ない」の割合が5.4%となっています。相談先（問8-1）では、「祖父母等の親族」の割合が83.1%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が76.1%、「保育士」の割合が28.7%、「かかりつけの医師」が17.8%、「子育て支援センター・地域子育てひろば」が17.3%となっています。

2 お子さんの保護者の就労状況について

保護者の現在の就労状況（問9）は、母親では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が37.7%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が27.2%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が17.8%となっています。父親では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が92.7%と90%以上がフルタイム就労です。

3 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

① 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育事業」の利用状況（問12）は、「利用している」の割合が68.6%、「利用していない」の割合が31.2%となっています。その利用先（問12-1）は、「私立保育園」の割合が36.0%と最も高く、次いで「私立幼稚園」の割合が22.7%となっています。預かり保育を除いた「市立幼稚園」（4.6%）、「市立保育園」（19.7%）を合わせた割合（24.3%）よりも預かり保育を除いた「私立幼稚園」（22.7%）、「私立保育園」（36.0%）を合わせた割合は、34.4%高くなっています。

年齢別では、0歳時が「私立保育園」（33.3%）、「市立保育園」（26.4%）に次いで「事業所内保育施設または企業主導型保育事業」（13.9%）、「小規模保育事業」（12.5%）の割合が高く、3～5歳の年齢別の割合は、「私立幼稚園」がそれぞれ30%を超え、高くなっています。

現在、利用している教育・保育事業の実施場所（問12-3）については、「小田原市内」の割合が95.0%となっています。市外の実施場所別としては、二宮町で「私立幼稚園」（12件）、中井町で「私立保育園」（8件）の利用割合が高くなっています。

平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由（問12-4）については、「子どもの教育・発達に良い影響をあたえたい」の割合が68.0%と最も高く、次いで「子育てをしているかたが現在就労している」の割合が62.3%となっており、保護者の就労等による保育としての機能だけでなく、小学校就学に向けて、子どもの教育や発達に対する役割が期待されていることがわかります。

② 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望

現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として、定期的に利用したいと考える事業（問 13）は、「市立保育園」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「私立保育園」の割合が 36.6%、「私立幼稚園」の割合が 33.1%、「市立幼稚園」の割合が 22.5%となっています。預かり保育を除いた「私立幼稚園」「私立保育園」を合わせた割合が、預かり保育を除いた「市立幼稚園」「市立保育園」を合わせた割合よりも 10.1%高くなっています。

定期的な教育・保育事業の利用の有無別にみると、現在事業を利用していない人で、「市立幼稚園」「私立幼稚園」を回答している割合が高くなっていることから、これから就園していく家庭において「幼稚園」のニーズが高くなっていることがわかります。また、年齢別にみると、「私立幼稚園」は年齢と問わず割合が高くなっていますが、「市立幼稚園」は 0 歳時と 1 歳児で割合が高くなっています。

一方で、母親の就労形態別にみると、フルタイム、パート・アルバイト等では「市立保育園」「私立保育園」の割合が高く、次いで、預かり保育も含めた「幼稚園」の割合が高くなっています。適正な教育・保育ニーズを見込むためには、就労状況に応じ家庭の類型化が重要になってくることがわかります。

未就労の母親の就労希望別にみると、「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」との希望を持つ人で「市立保育園」「私立保育園」を希望している人がそれぞれ 49.7%、39.7%、「私立幼稚園」「市立幼稚園」「認定こども園」を希望している人がそれぞれ 43.7%、27.8%、29.8%となっていることから、保育園だけでなく、1 年以内の幼稚園、認定こども園の利用につながる潜在的なニーズがあることがわかります。

4 子どもの地域の子育て支援事業の利用状況について

「子育て支援センター」や「地域子育てひろば」の利用状況（問 14）は、「子育て支援センター」の割合が 35.4%、「地域子育てひろば」の割合が 12.6%、「利用していない」の割合が 61.4%となっています。年齢別にみると、0 歳～2 歳では「子育て支援センター」の利用割合が高いですが、年齢が高くなるにつれて利用割合が下がっていきます。「地域子育てひろば」は 2 歳までは、年齢が高くなるにつれて利用割合が高くなっています。ただし、年齢が高くなるにつれて「利用していない」の割合も高くなっています。

今は利用していないが、できれば今後利用したい、または、利用日数を増やしたいと思うか（問 15）については、「利用していないが、今後利用したい」の割合が 20.3%と、潜在的なニーズがあることがわかります。

5 子どもの病気の際の対応について

この1年間に、お子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはあるか（問19）について、「あった」の割合が82.6%、「なかった」の割合が15.2%となっています。

お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法（問19-1）は、「母親が休んだ」の割合が66.2%と最も高く、次いで「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が30.3%、「父親が休んだ」の割合が27.3%となっています。

「母親が休んだ」または「父親が休んだ」のどちらかに○をつけたかたで、その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われたか（問19-2）について、「できれば病後児保育施設等を利用したい」「できれば病児保育施設等を利用したい」の割合がそれぞれ21.6%、18.5%、「利用したいとは思わない」の割合が58.1%となっています。母親の就労状況別にみると、フルタイム就労者について「できれば病後児保育施設等を利用したい」「できれば病児保育施設等を利用したい」の割合がそれぞれ24.4%、19.6%となっていて、「病後児・病児保育施設等」の利用ニーズは、フルタイム就労者の利用ニーズとほぼ一致しています。

6 子どもの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はあるか（問20）について、「利用していない」の割合が88.1%と最も高くなっています。また、利用希望（問21）については、「利用したい」の割合が44.6%、「利用する必要はない」の割合が52.7%となっています。利用する目的については「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など、リフレッシュ目的）」の割合が67.7%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が60.8%、「不定期の就労」の割合が31.1%となっています。

この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはあったか（問22）については、「あった」の割合が18.1%で、その対処方法は「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」の割合が81.0%と最も高くなっていることから、公的な保育サービスに依存せず親族や知人に預けることで対応していることがうかがわれます。ただし、対処方法で「仕方なく子どもを同行させた」の割合が13.8%あり、問7で「日常的」「緊急時」にみてもらえる親族・知人等が「いずれもない」との回答も14.1%あるため、対処に困っている状況もうかがえます。

7 放課後の過ごし方について

① 小学校低学年（1～3年生）になったときの放課後の過ごし方

小学校低学年（1～3年生）になったときの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思うか（問23）については、「自宅」の割合が53.3%と最も高く、次いで「習い事」の割合が47.1%、「放課後児童クラブ（片浦小に通学のかたは放課後子ども教室）」の割合が44.9%となっています。

② 小学校高学年（４～６年生）になったときの放課後の過ごし方

小学校高学年（４～６年生）になったときの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思うか（問 24）については、「習い事」の割合が 70.0%と最も高く、次いで「自宅」の割合が 60.4%、「放課後児童クラブ（片浦小に通学のかたは放課後子ども教室）」の割合が 30.0%となっており、学年があがると、「習い事」の利用を希望する割合が大きくなり、「放課後児童クラブ」の利用を希望する割合が小さくなっています。

8 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

子どもが原則 1 歳になるまで育児休業給付が支給される仕組みや、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがあることを知っているか（問 27）については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が 40.6%と最も高くなっています。一方で「育児休業給付のみ知っていた」の割合が 29.8%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が 26.1%と、制度の一層の周知が必要であることもわかります。

また、お子さんが生まれた時、育児休業を取得したか（問 28）については、母親で「取得した（取得中である）」の割合が 42.1%と半数に近づいて来ていますが、「取得していない」も 12.5%の割合です。取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が 11.3%と他の理由に比べ多くなっています。

一方で、父親は、「取得していない」の割合が 89.3%と最も高くなっており、取得していない理由については、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「収入減となり経済的に苦しくなる」等様々な理由で取得できていないことから、企業も含めた仕事と子育ての両立支援の環境が必要であることがわかります。

9 子育て全般について

子どもを育てている現在の生活の満足度（問 36）（1：満足度が低い、5：満足度が高い）については、「4」の割合が 34.5%と最も高く、次いで「3」の割合が 31.5%、「5」の割合が 18.6%となっており、満足度が高い回答割合が高くなっています。一方、小田原市における子育ての環境や支援への満足度（問 37）については、「3」の割合が 43.6%と最も高く、次いで「2」の割合が 22.9%、「4」の割合が 18.6%となっており、平均的な回答が得られています。

IV 自由意見のまとめ（1651 件）

1 子育て支援施設・子育て支援サービスについて（806 件）

① 保育園(244 件)

- ・ 駅近くに午後 8 時まで預ってくれる施設、もしくは、保育園が午後 8 時まで開いている環境が欲しい。
- ・ 待機児童の解消をして欲しい、保育所を増やして欲しい。

② 幼稚園(64 件)

- ・ 公立幼稚園を 2 年保育ではなく 3 年保育にして欲しい。
- ・ 公立幼稚園について、給食があるとありがたい。
- ・ 現在の幼稚園、保育園がすべて「こども園」のように親の就労に関わらず利用できる仕組みに一本化されたら良い。

③ 各種保育サービス（延長・休日保育、一時預かり、病児保育、保育コンシェルジュ等）(123 件)

- ・ 病児・病後児保育施設をもっと増やして欲しい。一時預かりの場所を増やして欲しい（子育て支援センターなどでの実施）。
- ・ ファミリー・サポート・センターなどの手続き方法をもっと気軽に使えるよう分かりやすくして欲しい。
- ・ 土日祝などの子どもの預かり場所がない、土日祝も子どもを遊ばせられる施設があれば良いと思う。

④ 各種地域事業（赤ちゃん広場、子育て支援センター、マロニエ、ラッコひろばなど）(98 件)

- ・ マロニエやおだびよのように室内で遊べる場所をもっと増えてくれるとありがたい。
- ・ 職員の対応と施設改善を希望する。（ランチでは場所を移らないといけないので困る）。

⑤ 学校・放課後、放課後児童クラブ（学童保育）(81 件)

- ・ 放課後児童クラブの受け入れシステムが整ってきているが、運営している指導員の質を向上して欲しい。
- ・ 放課後児童クラブの開いている時間を延長して欲しい、一時預かり対応もして欲しい。

⑥ 子育てに関する情報(73 件)

- ・ どこに行けば効率良く、必要なサービスを探せるかがわからない。
- ・ 市のホームページ更新をタイミングよく行って欲しい、行政発信用子育てアプリ等を充実して欲しい。
- ・ 幼稚園や保育園の情報、健診がいつあるのかわかる、一覧表やパンフレット、説明資料などがあると良い。

⑦ 子育てに関する相談等(33件)

- 子どものことを相談できる機関が、もっとたくさんあると良い。また、共働きの家庭にとっては、土、日に相談窓口があるとたすかる。
- 保育コンシェルジュについては知っているが、保育所についての相談を“親身”になって受けられるところがもっと欲しい。
- 気軽に相談できる場を知りたいがどのように調べて良いか分からないので、窓口や専用ダイヤル等があったら嬉しい。

⑧ ひとり親家庭・障がいのある子どもへの支援等(37件)

- ひとり親に対する支援がもっとあると良いと思う。手当の金額がもっと上がると助かる。
- 支援センターや、保育園、幼稚園など、障がいや病気の子が、周りに気をつかいながらではなくのびのび元気に過ごせる場所が欲しい。
- 障がいをかかえている子やその家族へのサポートや学習面でのフォロー施設があると嬉しい。

⑨ その他子育て支援サービス(53件)

- 産前・産後だけでなくその後の子育てにおいても誰かに相談したいと思うことが多くあるので、ベテラン保育士や幼稚園教諭のかたの話が聞けるママパパ教室があると良いと思う。
- 母親・父親学級が保健センターでしかなかったので、他の場所でも開催して欲しい。
- みんながみんな、上手にコミュニケーションを取ってやっていけるわけではないことを、少しでも考えて欲しい。精神面のケアを頼みやすい場所があると助かる。
- ママ友というものは自然とできるものだと思っていたが、現実は違う。市でなにか繋がりを作っていただけたら嬉しい。
- 働く母親の家事、育児をサポートできるサービスが欲しい。

2 子育て環境(474件)

⑩ 子どもの遊び場等(298件)

- きょうだい一緒になって遊べる施設が少ないと思う。
- 遊び場、公園の数が少ない。広くて、遊具が多い場所を作って欲しい。
- 0～2才ぐらいの子が遊べる施設等がマロニエぐらいしかないと思う。

⑪ 子育てに関するまちづくり(20件)

- 子どもが産まれて初めて気付いた事が、小田原は道が非常に悪い。また、車のマナーも良くない。
- 駅ビルには授乳室やベビーカートがあると安心できる。
- おだぴよに駐車場があったらもっと行けるのと思う。

⑫ 子どもの安全(7件)

- ・地域で落ちついて遊べる公園の整備と安全な遊具の整備をお願いしたい。
- ・各公園の遊具の設備の見直しをして欲しい(安全面、衛生面)。
- ・小学校、中学校へ通う事になった時の通学路の安全面が心配。

⑬ 地域とのつながり、協力等(4件)

- ・地域全体で子どもを育てていく、というスタンスが見えない。
- ・地域自治の力、元気な高齢のかたがたの力をお借りして、子どもが安心して過ごせる場所、親が安心して子どもを預けて仕事ができる環境作りを希望する。
- ・近所のおじいちゃんおばあちゃんと一緒に交流できるチャンスが少ない。
- ・老人ホーム内に、未就園児や未就学児が遊べる部屋などを作って、交流も含めて、地域で子育てと介護ができると良いと思う。

⑭ 母子保健・小児医療(35件)

- ・子どもの予防接種の種類・接種回数が多いので、いつ何を接種すべきか、何と何のワクチンを同時接種して良いのか分かる表を、子どもが産まれた家庭や子どもがいる家庭に配布して欲しい。
- ・子どもの発達に不安がある時、すぐに(3ヶ月待ちといった期間を待たずに)受診できる発達クリニックが市内にあると嬉しい。
- ・医療費の所得制限を廃止してもらいたい。出産費用を援助したり通院費を無料にして欲しい。
- ・乳幼児健康診査を現状からもっと頻度を増やして欲しい。

⑮ 公共施設の整備等(110件)

- ・公共施設でオムツが捨てられないのは困る。ベビーカーでバスが乗れる様にして欲しい。
- ・車がないと施設が利用しにくい。バスの時間などを増やして欲しい。
- ・子どもを遊ばせるスペースやトイレが汚い。
- ・支援センターでなくても、駅周辺におむつ替えや授乳ができる清潔な場所が欲しい。
- ・支援センターや図書館、保健センターなど小田原駅から離れた場所にあることが多く、車をもたない人は非常に利用しにくい。
- ・駅前などの喫煙場所が道端にありすぎて子どもを歩かせたくない。

3 子育てに関する親の状況(4件)

⑯ 子育てと仕事の両立(4件)

- ・子どもも病児保育など、なれていない環境だと嫌がることが多い。いつも通う保育施設に、病児をあずかれる場所が欲しい。
- ・事業内保育施設設置を企業と一体となって推進して欲しい。
- ・女性登用の多い大きな企業には託児所開設で優遇措置、パートから社員になると託児利用料値引き、急な欠勤者の穴埋めした人員には、いくらかその時間給料に上乘せなどの制度があると良い。

4 行政について (337 件)

⑰ 金銭的支援等 (63 件)

- ・働きたくても働けない専業主婦家庭は幼児教育無償化で金額無償にならず、生活を切り詰めている。
- ・育児休業が取得できない世帯への経済的支援をしていただきたい。
- ・児童手当の増額/延長保育の無償化を希望する。
- ・制服代の支援があると良い。
- ・産後ケア施設をもう少し気軽に利用できるような助成制度があったら、身体の負担が減るのかなと思う。
- ・出産育児一時金が足りず自費で負担、更に妊娠初期や検査では補助券が使えず負担が大きい。
- ・経済的に余裕がないので共働きをしているのに、収入に応じて保育料が高くなり困る。
- ・身体障がい者や精神障がい者など疾患を持っている家庭において、保育料の免除や減免、補助金など金銭的な支援があると助かる。

⑱ 幼児教育無償化 (51 件)

- ・幼児教育の無償化は助かるが、それよりも待機児童を減らす、なくすのが先なのではないか。
- ・ぜひ幼児教育の無償化を実現させて欲しい。
- ・幼児無償化はありがたい話だと思うが、その影響で先生がたの過労働による質の低下につながることは、さけて欲しい。
- ・幼児保育の無償化にともない、幼稚園、保育園の入園が更に厳しくなるのではと感じている。

⑲ その他子育てに関する要望 (193 件)

- ・駅とかに、二次的な保育ステーションがあると良いのではと思う。
- ・幼稚園での未就園児教室のようなものを。例えばダイナシティ集合で皆でクリスマスツリーの見学や簡単な手遊び等があると気楽に参加できると思う。
- ・同年齢（同学年ではなく早生まれなどしぼった範囲）の子どもを持つ親同士の交流があると良い。
- ・南足柄市で行っている「ばあばクラブ」の様な、託児可能な施設をもっと増やして欲しい。
- ・母子手帳の交付場所が何故 1ヶ所になってしまったのか。
- ・引越して来た場合、預ける親戚もおらず、母親が働き始める事が困難なのに、現在働いてないことで保育園に入れず、さらに仕事を始める事が難しくなっていく。
- ・夜間・休日診療に対応しているのが保健センターのみだか、車がないと行きにくい。
- ・子育て支援センター以外に民間のサポート（サマサマ、タッチハグ、在宅のベビーマッサージなど）が充実しており、ママ友が作りやすい環境であるのが良い。
- ・子育て支援施設やサービスは充実していると思うので、利用のきっかけ作りをサポートしてもらえると嬉しい。
- ・助産師の訪問も、新生児だけではなく、希望者には半年や1才・2才等の時点の訪問もあると思う。
- ・地域サークルの実施が少ないので増やして欲しい。
- ・子どもとリフレッシュしに気軽に行けるような市内に温水プールが欲しい。

⑳ その他子育て以外に関する要望等(30件)

- 保活に関する情報は、妊娠中の保健指導でも提供して欲しかった。
- 短時間勤務をしているが、現状で帰れる日は週に1日程。制度があっても職場長の理解がないので帰れる雰囲気ではない。社会全体での理解がもっと必要。
- 子育て支援も良いが、不妊治療や産婦人科、不妊治療専門の病院の誘致などにも力を入れてもらいたい。
- 保育園の先生がたの負担を減らすことが、今、一番必要なことなのではないか。

5 その他(30件)

- ㉑ アンケートの感想等(20件)
- ㉒ 市への要望等(8件)
- ㉓ その他(2件)

V 資料

【アンケート依頼】

小学校に通う前のお子さんがある世帯用

「小田原市子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査」 ご協力をお願い

市民の皆様には、日ごろから、小田原市政にご協力いただきありがとうございます。

本市では、子ども・子育て支援法に基づき、平成27年3月に「小田原市子ども・子育て支援事業計画（平成27年度～31年度）」を策定し、子育て支援の充実を図っています。

また、国においては、2019年10月1日からの「幼児教育の無償化」の実施に向けて、具体的な手続き等の検討が行われています。

このような状況を踏まえ、「第二期小田原市子ども・子育て支援事業計画（2020年度～2024年度）」を策定するにあたり、市民のみなさんの教育・保育サービス等の利用状況や、今後の利用希望等を把握するためのアンケート調査を実施させていただくことになりました。このアンケートにお答えいただいた結果をもとに、今後、小田原市の教育・保育サービスの受け入れ人数やその質を市民のみなさんのニーズに合うように整備していくことになります。

調査対象者として、市内にお住まいの小学校に通う前のお子さんの中から4,000名の方を無作為に抽出し、ご協力をお願いしております。なお、ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理いたします。回答者個人が特定されたり、調査の目的以外に使用されることはありませんので、現在のお気持ちやご要望などを率直にお聞かせください。

お忙しいとは存じますが、アンケートをご返送いただくご家庭が多いほど、市民のみなさんのニーズを正確に把握し、小田原市の子育てしやすい環境づくりに効果的に取り組むことができますので、調査の趣旨をご理解いただき、**平成30年12月27日(木)まで**に、同封の封筒（切手不要）に入れて、ご返送いただきますようお願い申し上げます。

なお、この調査結果は、平成31年3月末頃に市ホームページに掲載する予定です。小田原市ホームページで「子ども・子育て支援事業計画」と検索してください。

平成30年12月

小田原市

【ご記入に当たってのお願い】

- この調査はあて名に記載されているお子さんについて、保護者の方がご記入ください。
なお、記入の終わった別紙調査票（ホチキス止め）のみ、同封の封筒でご返送ください。
- ご記入は、黒または青のボールペン、濃い鉛筆等をご使用ください。
- 本調査における施設や事業の内容については、裏面の事業内容と利用料をご覧ください。
- この調査票に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

小田原市子ども青少年部子育て政策課子育て政策係
〒250-8555 小田原市荻窪 300 番地
電話：0465-33-1874（8:30～17:00 土日・祝日を除く）
E-mail：ko-kosodate@city.odawara.kanagawa.jp

事業内容と利用料

※幼稚園、幼稚園の預かり保育、認可保育所、認定こども園、小規模保育事業、企業主導型保育事業、その他認可外保育施設、ベビーシッターについては、2019年10月から予定されている「幼児教育の無償化」により、保育料、利用料が無償化される場合があります。（3ページをご覧ください。）

※利用料は現時点でのものであり、将来的に施設、事業によっては変更されるものがあります。

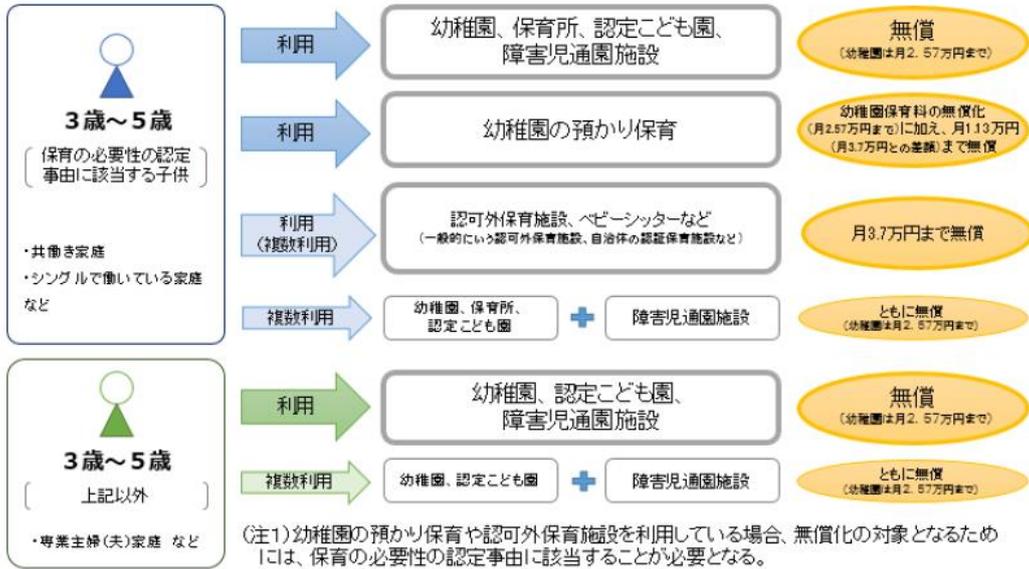
名称	事業の内容と利用料	問い合わせ先
幼稚園	幼稚園は学校教育法に定められた「学校」で、幼児教育を行っています。市内には、公立6園、私立10園があります。 ■公立幼稚園、子ども子育て支援新制度に移行した私立幼稚園については、保育料月額0円～25,700円で世帯の所得とお子さんの人数により決まります。 新制度に移行していない私立幼稚園については、保育料は園によって異なりますが、世帯の所得に応じて、負担を軽減するための就園奨励費補助事業を行っています。	保育課 電話 33-1451 教育指導課 電話 33-1682
幼稚園の預かり保育	幼稚園で、通常就園時間を延長して、在園児を預かるサービスです。利用料は園ごとに異なります。	教育指導課 電話 33-1682
認可保育所	国が定める基準に適合し、県の認可を受けた施設です。保護者が就労等の理由により家庭で保育ができない場合に、お子さんをお預かりします。市内には、公立6園、私立25園があります。 ■公立、私立ともに保育料月額0円～64,000円が世帯の所得とお子さんの年齢、人数により決まります。延長保育には別途料金がかかります。	保育課 電話 33-1451
認定こども園	保育所と幼稚園の機能を有した施設です。市内には、私立2園があります。 ■保育所機能部分は、保育料月額0円～64,000円。市の保育料に準じており、世帯の所得とお子さんの年齢や人数により決まります。幼稚園機能部分は、月額0円～25,700円です。	保育課 電話 33-1451
小規模保育事業	3歳児未満児童を対象とし、定員6人から19人の小規模な施設です。市の認可基準に適合した施設で、市内には、8施設があります。	保育課 電話 33-1451
企業主導型保育事業	企業が従業員の働き方に応じた柔軟な保育サービスを提供するために設置する保育施設です。空いた定員を地域枠として一般のかたに開放することもあります。現在、市内には、3施設があります。	保育課 電話 33-1451
事業所内保育施設	企業や病院において、事業所の従業員のお子さんを預かる施設です。市の認可基準として実施している施設は現在、市内にはありません。	保育課 電話 33-1451
その他の認可外保育施設	認可を受けていない保育施設等です。現在、市内には、9施設があります。利用料は年齢や利用時間などにより各施設により異なります。	保育課 電話 33-1451
ベビーシッター	保育者が対象児童の家庭内で保育する事業です。	保育課 電話 33-1451
ファミリー・サポート・センター	地域住民による会員相互の子どもの預かりサービスで、保育園、幼稚園、小学校・放課後児童クラブへの送迎や保護者のリフレッシュ等に利用できます。また、産前産後時の掃除・洗濯・買い物・調理などの家事支援と、沐浴等の手伝いもあります。 ■利用料等 30分あたり350円～450円の利用料がかかります。	子育て政策課 電話 33-1874 ファミリー・サポート・センター事務局 電話 35-0053
児童発達支援センター	地域の障害のある児童を通所させて、日常生活における基本的動作の指導や、自活に必要な知識や技能の付与または集団生活への適応のための訓練を行う施設です。現在、市内には「ほうあんうみ」「ほうあんふじ」の2施設があります。	ほうあんうみ 電話 44-4597 ほうあんふじ 電話 41-4010
子育て支援センター	子育て中の親子が自由に遊べる「子育てひろば」の開催や、子育て相談、子育て情報の提供、子育てに関する講座等の実施をしています。現在、市内4箇所で開催しています。	子育て政策課 電話 33-1874

地域子育てひろば	民生委員児童委員協議会などが主体となって、未就学の親子の交流や情報交換の場を、公民館など身近な通いやすい場所で開設しています。現在、市内 23 箇所で実施しています。	子育て政策課 電話 33-1874
ママパパ子育て知恵メール配信事業	妊婦や乳幼児を持つ保護者を対象に、妊娠や出産・育児に関する情報をメールで配信します。	健康づくり課 電話 47-0820
育児相談事業	保健センターで月 1 回、市内 4 か所の子育て支援センターで計 8 回、計測や育児相談を行います。また、地区公民館等での出張育児相談、保健センターでの電話や来所による相談に対応します。	健康づくり課 電話 47-0820
母子健康教育事業(ママパパ学級など)	安心して妊娠中の生活を送り、安全な出産を迎えられるよう、妊婦とパートナーを対象にしたママパパ学級や、離乳食や子どもの遊びなどを学ぶ子育て応援講座を行います。また、育児不安の軽減を図るために、年齢に応じた親子教室を開催します。	健康づくり課 電話 47-0820
地域育児センター事業	市内 11ヶ所の保育所で行っている子育て支援事業で、育児相談や園開放、交流事業などを行っています。	保育課 電話 33-1451
こんにちは赤ちゃん事業	生後 4 か月までのお子さんのいる全ての家庭を訪問し、子育て支援情報の提供や育児相談などを行います。	健康づくり課 電話 47-0820
子育てマップ	保育所や幼稚園、小学校、中学校、小児科や休日・夜間診療等、子育てに必要な情報を掲載した「子育てマップ」を作成し、生後 4 か月までに全ての家庭を訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」や子育て支援センター、関係機関窓口等で配布しています。	子育て政策課 電話 33-1874
子育て世代包括支援センター「はっぴい」	母子健康手帳の交付時に、個別の面談を通して、安心して妊娠・出産・育児ができるよう、保健師又は助産師が必要な情報をお伝えし、それぞれのご相談に対応します。(月～金の午前 9 時から午後 5 時まで。火曜日は午後 7 時まで予約制で延長しています。)	健康づくり課 電話 47-0820
保育コンシェルジュ	保育の預け先について、保護者の相談等に応じ、保育サービスについて情報提供を行っています。	保育課 電話 33-1451
小田原市子育て情報サイト「ぴんたっこ」	子育て支援に携わる団体が集まり、小田原市の子育て家庭に向けて、子育てに役立つ情報を SNS 等で発信したり、「ぴんたっこカフェ」を実施し、親子や親同士の交流事業を行っています。	子育て政策課 電話 33-1874
病児・病後児保育	病児保育…当面症状の急変はみられないものの、病気の回復期にはなく集団保育が困難な期間に、専用スペース等で一時的にお預かりするサービスです。 病後児保育…病気からの回復期にはあるものの、集団保育が困難な期間に、専用スペース等で一時的にお預かりするサービスです。病気回復期かどうかは、医師の診断によっています。 現在、市内には病児保育が 1 施設、病後児保育が 2 施設あります。 ■利用料等 1 日 2,000 円	保育課 電話 33-1451
一時預かり	家庭において一時的に保育を受けることができない場合に、保育所等において、お子さんをお預かりしています。現在、市内 10 園で実施しています。利用料は園によって異なります。	保育課 電話 33-1451
放課後児童クラブ ※小学生向け事業	保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、児童の安全と健全育成を図るとともに、子どもの生活の場を提供するものです。 (片浦小学校区は現在休所中) ■利用料等 月額 7,000 円(その他おやつ代、傷害保険料などがかかります)	教育総務課 電話 33-1731
放課後子ども教室 ※小学生向け事業	放課後の安全・安心な子どもたちの居場所を設け、地域の方々の協力を得て、学習支援と体験活動を通じて、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれることを目的とし実施しています。週に 1～3 回程度、放課後からおおむね 16 時まで 1 時間程度の時間で、宿題やプリント(国語・算数等)などの自主学習の支援や昔あそび、クラフト体験などの体験活動のほか、紙芝居、読書、読み聞かせなどを行っています。 ■利用料等 無料(傷害保険料年額 800 円が必要です。材料費(実費)が必要な場合があります。)	教育総務課 電話 33-1731

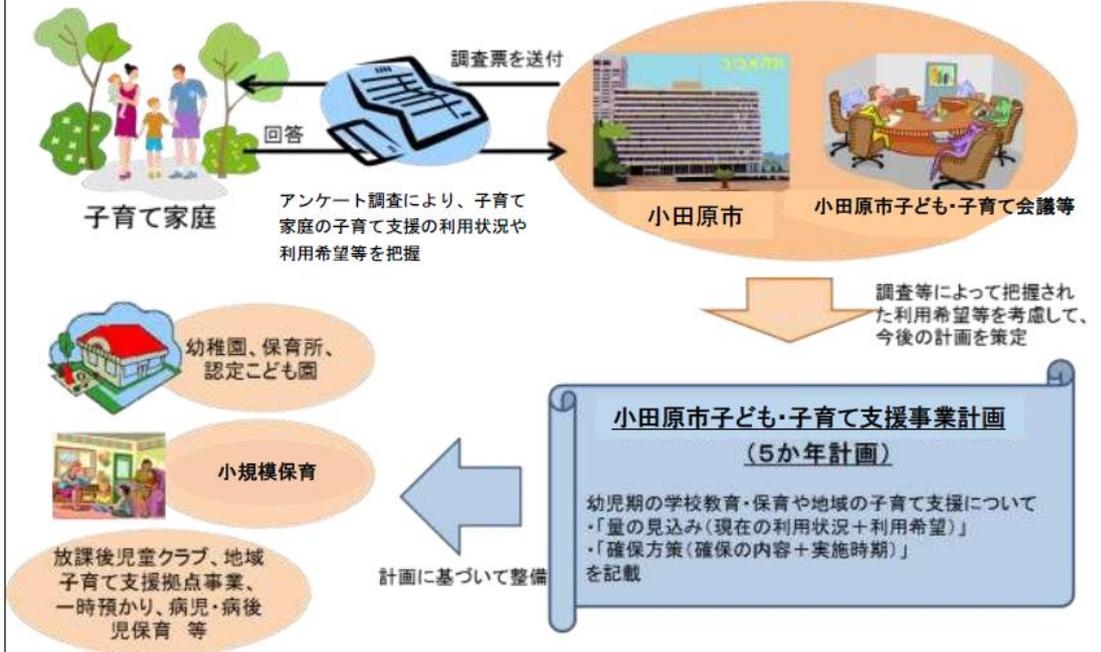
■ 幼稚園、保育所、認定こども園等の無償化について

幼児教育の無償化は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性や幼児教育の負担軽減を図る少子化対策の観点などから、子育て世帯を応援し、社会保障を全世代型へ根本的に変えるために取り組まれているものです。現在、消費税率引き上げ時の2019年10月1日からの実施に向け、具体的な手続き等の検討が行われているところです。（※以下の図は、現在国で示されている幼児教育無償化の具体的なイメージです。）

幼児教育の無償化の具体的なイメージ（例）



いただいた回答は本市の子育て支援の充実に生かされます



【調査票】

調査票 < 小学校に通う前のお子さんがある世帯用 >

それぞれの設問をお読みになり、回答をご記入ください。数字でお答えいただく設問については、回答欄の□の中に数字をご記入ください。(一つの枠に一字でご記入ください。)

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区の郵便番号を記入してください。

郵便番号 □□□—□□□□

※郵便番号は、回答を地域ごとに集計し、地域ごとの特徴的なニーズを把握するために利用します。個人が特定されることはありません。

封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 あて名のお子さんの生年月を記入してください。

平成 □□年 □□月生まれ

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を記入してください。また、お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子のかたの生年月を記入してください。

きょうだい数 □人 末子の生年月 平成 □□年 □□月生まれ

問4 この調査票に回答いただくかたはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問5 この調査票に回答いただいているかたの配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

※「配偶者」とは、婚姻関係にあるかたのことです(婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にあるかたを含みます)。

問6 あて名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|----------------------------------|---|---------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } | ⇒ 問7-1へ |
| 2. 緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | | |
| 3. 日常的にお子さんをみてもらえる友人・知人がいる | } | ⇒ 問7-2へ |
| 4. 緊急時や用事の際にはお子さんをみてもらえる友人・知人がいる | | |
| 5. いずれもない | | ⇒ 問8へ |

問7-1 問7で〔1.〕または〔2.〕に○をつけたかたにうかがいます。祖父母等にお子さんをみてもらうことについて、どのように感じていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等には、特に心配することなく、安心してお子さんをみてもらえる
2. 祖父母等の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の時間的制約や精神的負担が大きく心配である
4. 負担をかけていることが心苦しい
5. お子さんの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問7-2 問7で〔3.〕または〔4.〕に○をつけたかたにうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらうことについて、どのように感じていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人には、特に心配することなく、安心してお子さんをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である
4. 負担をかけていることが心苦しい
5. お子さんの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問8 あて名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる/ある ⇒ 問8-1へ 2. いない/ない ⇒ 問8-2へ

問8-1 問8で〔1.いる/ある〕に○をつけたかたにうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援センター、地域子育てひろば |
| 5. 保健センター | 6. 保育士 |
| 7. 幼稚園教諭 | 8. 民生委員・主任児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 市の子育て関連窓口や相談機関 |
| 11. インターネットや SNS を通じたつながり | 12. その他 () |

問8-2 問8で〔2.いない/ない〕に○をつけたかたにうかがいます。気軽に相談できる人がいない（場所がない）のはどうしてですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 近所に親族や知り合いがいない | 2. 相談することに抵抗感がある |
| 3. 相談できる施設や人がわからない | 4. その他 () |

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

※この設問でいう、「フルタイム」とは1週5日程度・1日8時間程度の就労、「パート・アルバイト等」とは「フルタイム」以外の就労を指します。

問9 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は(1)は記入不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--|---|----------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | } | ⇒ (1)-1へ |
| <ol style="list-style-type: none"> 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない | } | ⇒ (2)へ |

(1)-1 (1)で〔1.〕～〔4.〕に○をつけた(就労している)かたにうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの就労時間(残業時間を含む)を記入してください。
(日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中のかたは、休業に入る前の状況についてお答えください。)

1週当たり <input type="text"/> 日	1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間
------------------------------	--

※1時間未満は、30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨ててください。(例：5時間30分 → 6時間)

(1)-2 (1)で〔1.〕～〔4.〕に○をつけた(就労している)かたにうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
(時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中のかたは、休業に入る前の状況についてお答えください。)

家を出る時刻 <input type="text"/> <input type="text"/> 時	帰宅時刻 <input type="text"/> <input type="text"/> 時
--	--

※時刻は07時や17時のように24時間制でお答えください。(例：朝7時20分 → 07時)

(2) 父親【母子家庭の場合は(2)は記入不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、産休・介護休業中ではない	} ⇒ (2)-1へ
2. フルタイムで就労しているが、産休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	} ⇒ 問10へ
6. これまで就労したことがない	

(1)-1 (2)で〔1.〕～〔4.〕に○をつけた(就労している)かたにうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」を記入してください。
(日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・介護休業中のかたは、休業に入る前の状況についてお答えください。)

1週当たり <input type="text"/> 日	1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間
------------------------------	--

※1時間未満は、30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨ててください。(例：5時間30分 → 06時間)

(2)-2 (2)で〔1.〕～〔4.〕に○をつけた(就労している)かたにうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
(時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・介護休業中のかたは、休業に入る前の状況についてお答えください。)

家を出る時刻 <input type="text"/> <input type="text"/> 時	帰宅時刻 <input type="text"/> <input type="text"/> 時
--	--

※時刻は07時や17時のように24時間制でお答えください。(例：朝7時20分 → 07時)

問10 問9の(1)または(2)で〔3.〕〔4.〕に○をつけた(パート・アルバイト等で就労している)かたにうかがいます。(該当しないかたは、問11へお進みください。)

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

- 1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問11 問9の(1)または(2)で〔5.〕〔6.〕(就労していない)に○をつけたかたにうかがいます。
(該当しないかたは、問12へお進みください。)

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけてください。

(1) 母親

- 1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 2. 1年より先の時期に、一番下のお子さんが□□歳になったところに就労したい
- 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
 - 希望する就労形態 (ア, フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ, パートタイム、アルバイト等)
 - 1週当たり□日 1日当たり□□時間

※1時間未満は、30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨ててください。(例：5時間30分 → 6時間)

(2) 父親

- 1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 2. 1年より先の時期に、一番下のお子さんが□□歳になったところに就労したい
- 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
 - 希望する就労形態 (ア, フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ, パートタイム、アルバイト等)
 - 1週当たり□日 1日当たり□□時間

※1時間未満は、30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨ててください。(例：5時間30分 → 6時間)

**あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の
利用状況についてうかがいます。**

※この設問でいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問12-1に示した事業が含まれます。各事業の内容については、別紙「事業内容と利用料」をご覧ください。

問12 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 利用している ⇒ 問12-1へ
- 2. 利用していない ⇒ 問12-5へ

問12-1 問12-1～問12-4は、問12で「1.利用している」に○をつけたかたにうかがいます。

あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 市立幼稚園	2. 市立幼稚園 + 預かり保育
3. 私立幼稚園	4. 私立幼稚園 + 預かり保育
5. 市立保育園	6. 私立保育園
7. 認定こども園	8. 小規模保育事業
9. 事業所内保育施設または企業主導型保育事業	10. その他の認可外の保育施設
11. ベビーシッター	12. ファミリー・サポート・センター
13. 児童発達支援センター	
14. その他 ()	

問12-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、具体的な数字で記入してください（問12-1で利用している事業を複数回答した場合は、主な2つを記入してください）。

(1) 現在

事業番号 <input type="text"/>	1週当たり <input type="text"/> 日	1日当たり <input type="text"/> 時間 (<input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時)
事業番号 <input type="text"/>	1週当たり <input type="text"/> 日	1日当たり <input type="text"/> 時間 (<input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時)

※ 1時間未満は、30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨ててください。(例：5時間30分 → 6時間)
 ※ 時刻は07時や17時のように24時間制でお答えください。(例：朝7時20分 → 0 7時)

(2) 希望

事業番号 <input type="text"/>	1週当たり <input type="text"/> 日	1日当たり <input type="text"/> 時間 (<input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時)
事業番号 <input type="text"/>	1週当たり <input type="text"/> 日	1日当たり <input type="text"/> 時間 (<input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時)

※ 1時間未満は、30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨ててください。(例：5時間30分 → 6時間)
 ※ 時刻は07時や17時のように24時間制でお答えください。(例：朝7時20分 → 0 7時)

問12-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 小田原市	2. 南足柄市	3. 開成町
4. 大井町	5. 中井町	6. 二宮町
7. 箱根町	8. その他 ()	

問12-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. お子さんの教育・発達に良い影響をあたえたい
2. 近所にお子さんが少ない
3. お子さんをみることに負担感がある
4. 就学に向けての準備
5. 家事や用事をすませる
6. 近隣に同年代・同学年のお子さんがいない
7. 子育てをしているかたが現在就労している
8. 子育てをしているかたが就労予定がある／求職中である
9. 子育てをしているかたが家族・親族などを介護している
10. 子育てをしているかたが病気や障害がある
11. 子育てをしているかたが学生である
12. その他 ()

問12-5 問12で「2. 利用していない」に○をつけたかたにうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. (お子さんの教育や発達のため、父母が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. お子さんの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質について、納得できる事業がない
8. 利用したいが、場所が遠いなど地理的な条件が合わない
9. お子さんがまだ小さいため (歳くらいになったら利用しようと考えている)
10. その他 ()

問13 すべてのかたにうかがいます。2019年10月から「幼児教育の無償化」により、3歳から5歳までのすべてのお子さんとは0歳から2歳までの一部※のお子さんの各事業に係る利用料の無償化※が予定されています。

利用料が無償化された場合、あて名のお子さんについて、平日に定期的に利用したいと考える事業に対して現在の利用状況にかかわらず、当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、お子さんが何歳から利用したいかについても併せて記入してください。(例 1. 市立幼稚園 4歳～)

※：住民税の非課税世帯が対象です。

※：全額または“一定の金額”(月37,000円、25,700円など)までの利用料が、かからなくなることで

- | | |
|---|---|
| 1. 市立幼稚園 <input type="checkbox"/> 歳～ | 2. 市立幼稚園 + 預かり保育 <input type="checkbox"/> 歳～ |
| 3. 私立幼稚園 <input type="checkbox"/> 歳～ | 4. 私立幼稚園 + 預かり保育 <input type="checkbox"/> 歳～ |
| 5. 市立保育園 <input type="checkbox"/> 歳～ | 6. 私立保育園 <input type="checkbox"/> 歳～ |
| 7. 認定こども園 <input type="checkbox"/> 歳～ | 8. 小規模保育事業 <input type="checkbox"/> 歳～ |
| 9. 事業所内保育施設または企業主導型保育事業 <input type="checkbox"/> 歳～ | 10. その他の認可外の保育施設 <input type="checkbox"/> 歳～ |
| 11. ベビーシッター <input type="checkbox"/> 歳～ | 12. ファミリー・サポート・センター <input type="checkbox"/> 歳～ |
| 13. 児童発達支援センター <input type="checkbox"/> 歳～ | 14. その他 () |

問13-1 問13で〔1.〕～〔4.〕(幼稚園・幼稚園の預かり保育)に○をつけ、かつ〔5.〕～〔12.〕にも○をつけたかたにうかがいます。特に幼稚園(幼稚園の預かり保育を合わせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問13-2 すべてのかたにうかがいます。教育・保育事業を利用する場合に、何を基準に選びますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 自宅に近い	2. 職場に近い
3. 駅・バス停に近い⇒ 駅・バス停名()	4. 園の運営に賛同できる
5. その他()	

問13-3 すべてのかたにうかがいます。教育・保育事業の事業内容について、特に何を望みますか。当てはまる番号2つまでに○をつけてください。

1. 愛着形成や情緒の安定など人間形成の基礎を培う
2. 社会性の育成(友達づくり、集団のルール習得等)
3. 基本的な生活習慣の確立
4. 豊かな感性、好奇心、探究心などが養われる体験
5. 運動能力や体力の向上
6. 小学校との連携
7. 障がい児等特別な支援が必要なお子さんの受け入れ
8. 親の悩みや負担についての相談機能
9. 幼児期に見合った学力の習得
10. 自発的な活動を促し、主体性を育む教育・保育環境
11. その他()

あて名のお子さんの地域の子育て支援の利用状況についてうかがいます。

※この設問で示されている事業の内容については、別紙「事業内容と利用料」をご覧ください。

問14 あて名のお子さんは、現在、子育て支援センターや地域子育てひろばを利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字で記入してください。

1. 子育て支援センター (親子が遊んだり相談できる場、「マロニエ」など市内4箇所で実施しています。)	1週当たり <input type="checkbox"/> 回 もしくは 1か月当たり <input type="checkbox"/> 回程度
2. 地域子育てひろば (地域の主任児童員などが運営している未就学の親子の交流の場、市内23箇所で実施しています。)	1か月当たり <input type="checkbox"/> 回 もしくは 1年当たり <input type="checkbox"/> 回程度
3. 利用していない	

問15 子育て支援センターや地域子育てひろばの今後の利用希望について、当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用希望回数（頻度）を□内に数字で記入してください。
（開所日や、交通手段の理由から現在利用していないかたも、利用可能な状況になった際にはどの程度利用したいか希望回数をお書きください。）

1. 利用していないが、今後利用したい 1週当たり □回 もしくは 1か月当たり □回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい 1週当たり 更に □回 もしくは 1か月当たり 更に □回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑨の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、[はい] [いいえ] のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい (満足している)
①ママパパ子育て知恵袋メール配信事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②育児相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③母子健康教育事業（ママパパ学級など）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④地域育児センター事業(保育園で実施)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤こんにちは赤ちゃん事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥子育てマップ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦子育て世代包括支援センター「はっぴい」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧保育コンシェルジュ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨小田原市子育て情報サイトびんたっこ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

※この設問で示されている「教育・保育事業」とは幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。
なお、利用にあたっては、一定の利用者負担が発生します。

問17 あて名のお子さんについて、土曜日あるいは日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。（一時的な利用は除きます。）希望がある場合は、利用したい時間帯を□内に記入してください。
※親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	} ⇒	利用したい時間帯
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		
		□□時から □□時まで

※ 時刻は07時や17時のように24時間制で記入してください。 (例：朝7時20分 → 時)

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない	} ⇒ 利用したい時間帯	□□時から □□時まで
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		

※ 時刻は07時や17時のように24時間制でお答えください。(例: 朝7時20分 → 07時)

問17-1 問17の(1)もしくは(2)で、「3. 月に1～2回利用したい」に○をつけたかたにうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に出来ない用事をまとめて済ませるため
3. 家族・親族の介護・看護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他 ()	

問18 「幼稚園」を利用されているかたにうかがいます。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に、お子さんをお預かりする事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、□内に記入してください。

1. 利用する必要はない	} ⇒ 利用したい時間帯	□□時から □□時まで
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい		
3. 休みの期間中、週に数日利用したい		

※ 時刻は07時や17時のように24時間制でお答えください。(例: 朝7時20分 → 07時)

問18-1 問18で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけたかたにうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため	2. 普段に出来ない用事をまとめて済ませるため
3. 家族・親族の介護・看護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. 近くに遊ぶ場所が少ない、もしくは近くに友人がいないため	6. その他 ()

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用しているかたのみ)

※この設問は、問12で「1.」に○をつけた〔平日の定期的な教育・保育の事業を利用している〕かたのみお答えください。利用していないかたは問20にお進みください。

問19 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガを理由として通常の教育・保育の事業を利用できなかった(幼稚園・保育園を休んだ)ことがありますか。

1. あった ⇒ 問19-1へ	2. なかった ⇒ 問20へ
-----------------	----------------

問19-1 その際に、この1年間に行った対応方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数を□内に数字で記入してください。(半日程度の対応の場合も1日として記入してください。)

1. 父親が休んだ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	} ⇒ 問19-2へ
2. 母親が休んだ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	
3. 父親又は母親のうち就労していないかたがお子さんをみた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	⇒ 問20へ
4. (同居者を含む) 親族・知人にお子さんをみてもらった	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	} ⇒ 問19-5へ
5. 病児・病後児の保育を利用した	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	
6. ベビーシッターを利用した	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	
7. 仕方なくお子さんだけで留守番をさせた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	
8. その他 ()	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	

問19-2 問19-1で〔1.〕〔2.〕に○をつけたかたにうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に記号で記入してください。
(病児・病後児のための保育施設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。)

1. できれば病後児保育施設等を利用したい	⇒ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	} 問19-3
2. できれば病児保育施設等を利用したい	⇒ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日	
3. 利用したいとは思わない	⇒ 問19-4へ	

問19-3 問19-2で〔1.〕あるいは〔2.〕に○をつけたかたにうかがいます。上記の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 施設(例: 幼稚園・保育所等)に併設した施設でお子さんを保育する事業	} ⇒ 問20へ
2. 小児科に併設した施設でお子さんを保育する事業	
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業	
4. その他 ()	

問19-4 問19-2で〔3.〕に○をつけたかたにうかがいます。「利用したいとは思わない」理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	2. 事業の質に不安がある	} ⇒ 問20へ
3. 事業の利便性 (立地や利用可能時間や日数など)がよくない	4. 利用料がかかる・高い	
5. 事業内容や利用料、利用手続きがわからない	6. 親が仕事を休んで対応する	
7. その他 ()		

問19-5 問19-1で〔4.〕～〔8.〕に○をつけたかたにうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、問19-1で記入した日数のうち、仕事を休んで看たかった日数についても記入してください。

1. できれば仕事を休んで看たい	⇒ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日 ⇒ 問20へ
2. 休んで看ることは非常に難しい	⇒ 問19-6へ

問19-6 問19-5で〔2.〕に○をつけたかたにうかがいます。「休んで看ることは非常に難しい」と思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. お子さんの看護を理由に休みがとれない	2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない	4. その他 ()

あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問20 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数を□内に数字で記入してください。

1. 一時預かり（認可保育所等で一時的にお子さんを保育する事業）	□□日	} ⇒ 問21へ
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長し在園児を預かる事業）	□□日	
3. ファミリー・サポート・センター（地域住民がお子さんを預かる事業）	□□日	
4. ベビーシッター	□□日	
5. その他 ()	□□日	
6. 利用していない ⇒ 問20-1へ	□□日	

問20-1 問20で〔6.〕に○をつけたかたにうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 事業の質に不安がある	4. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない	8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他 ()	

問21 すべてのかたにうかがいます。あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、今後、年間何日くらい利用を希望する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、1年間のおおよその必要日数を□内に記入してください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を記入してください）。

1. 利用したい	合計 □	} ⇒ 問21-1へ
ア. 私用（買物、きょうだいや親の習い事等）、リフレッシュ目的	□	
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	□	
ウ. 不定期の就労	□	
エ. その他 ()	□	
2. 利用する必要はない	⇒ 問22へ	

問21-1 問21で〔1. 利用したい〕に○をつけたかたにうかがいます。私用、親の通院、不定期就労等の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 幼稚園・保育所等でお子さんを保育する事業 |
| 2. ファミリー・サポート・センター等、地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業 |
| 3. ベビーシッター等でお子さんを保育する事業 |
| 4. その他（ ） |

問22 すべてのかたにうかがいます。この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字で記入してください（数字は一律に一字）。

1. あった	
ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	<input type="checkbox"/> 泊 ⇒問 22-1 へ
イ. 保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	<input type="checkbox"/> 泊
ウ. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="checkbox"/> 泊
エ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="checkbox"/> 泊 ⇒問 23 へ
オ. その他	<input type="checkbox"/> 泊
2. なかった	

問22-1 問22で〔1.（あった）ア.（親族・知人にみてもらった）〕を答えたかたにうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|--------------|-------------|
| 1. 非常に困難 | 2. どちらかという困難 | 3. 特に困難ではない |
|----------|--------------|-------------|

あて名のお子さんが5歳以上であるかたに、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。《5歳未満のかたは、問 27 へ》

問23 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する適当な日数を数字で記入してください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も記入してください。

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 放課後児童クラブ（片浦小に通学のかたは放課後子ども教室）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい → 下校時から <input type="checkbox"/> 時まで
5. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
6. 地域活動（子ども会など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
7. 民間事業者での預かり	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

※ 時刻は07時や17時のように24時間制でお答えください。（例：朝7時20分 → 時）

問24 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たりの日数を数字で記入してください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も記入してください。（※だいたい先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。）

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 放課後児童クラブ（片浦小に通学のかたは放課後子ども教室）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい → 下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで
5. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
6. 地域活動（子ども会など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
7. 民間事業者での預かり	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

※ 時刻は07時や17時のように24時間制でお答えください。（例：朝7時20分 → 時）

問25 問23または問24で〔4. 放課後児童クラブ（片浦小に通学のかたは放課後子ども教室）〕に○をつけたかたにうかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に記入してください。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯	<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

※ 時刻は07時や17時のように24時間制でお答えください。（例：朝7時20分 → 時）

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯	<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

※ 時刻は07時や17時のように24時間制でお答えください。（例：朝7時20分 → 時）

問26 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に記入してください。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒ 利用したい時間帯	<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		

※ 時刻は07時や17時のように24時間制でお答えください。（例：朝7時20分 → 時）

すべてのかたに、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問27 お子さんが原則1歳（※1）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、お子さんが満3歳になるまでの育児休業等期間（※2）について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |
|--|

※1 保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳まで
 ※2 法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置

問28 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していないかたはその理由を記入してください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）		
1. 働いていなかった ⇒ 問29へ 2. 取得した（取得中である） ⇒ 問28-1へ 3. 取得していない ⇒ 問29へ ⇒ <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>取得していない理由（下から番号を選んで記入してください）（いくつでも）</td> </tr> </table>	取得していない理由（下から番号を選んで記入してください）（いくつでも）	1. 働いていなかった ⇒ 問29へ 2. 取得した（取得中である） ⇒ 問28-1へ 3. 取得していない ⇒ 問29へ ⇒ <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>取得していない理由（下から番号を選んで記入してください）（いくつでも）</td> </tr> </table>	取得していない理由（下から番号を選んで記入してください）（いくつでも）
取得していない理由（下から番号を選んで記入してください）（いくつでも）			
取得していない理由（下から番号を選んで記入してください）（いくつでも）			

- | |
|---|
| 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3.（産休後に）仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格など遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所（園）などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するために退職した
11. 職場に育児休業制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
15. その他（ ） |
|---|

問28-1 問28で「2. 取得した（取得中である）」と回答したかたにうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | | |
|--------------------|----------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した | ⇒ 問28-2へ |
| 2. 現在も育児休業中である | ⇒ 問28-8へ |
| 3. 育児休業中に離職した | ⇒ 問29へ |

(2) 父親

- | | |
|--------------------|----------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した | ⇒ 問28-2へ |
| 2. 現在も育児休業中である | ⇒ 問28-8へ |
| 3. 育児休業中に離職した | ⇒ 問29へ |

問28-2 問28-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答したかたにうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合や、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も〔1.〕を選択してください。

(1) 母親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

(2) 父親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

問28-3 問28-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答したかたにうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に記入してください。

(1) 母親

実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月	希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月
---------	---	----	---

(2) 父親

実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月	希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月
---------	---	----	---

問28-4 問28-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答したかたにうかがいます。お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。□内に記入してください。

(1) 母親

<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月

(2) 父親

<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> か月

問28-5 問28-3で育児休業の実際の取得期間と希望が異なったかたにうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰したかた ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

① 母親

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他() | |

② 父親

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他() | |

(2)「希望」より遅く復帰したかた ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

① 母親

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分やお子さんなどの体調が悪しくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. お子さんをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他() | |

② 父親

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分やお子さんなどの体調が悪しくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. お子さんをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他() | |

問28-6 問28-1で〔1. 育児休業取得後、職場に復帰した〕と回答したかたにうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった) |

(2) 父親

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった) |

問28-7 問28-6で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答したかたにうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
5. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
6. 子育てや家事に専念するため退職した
7. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
9. その他()

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
5. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
6. 子育てや家事に専念するため退職した
7. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
9. その他()

問28-8 問28-1で「2. 現在も育児休業中である」と回答したかたにうかがいます。あて名のお子さんの育児休業が終了する時点で必ず利用できる事業があれば、育児休業期間の終了まで取得しますか。または、預けられる事業があっても育児休業期間の終了前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業期間の終了まで取得したい	2. 育児休業期間の終了前に復帰したい
---------------------	---------------------

(2) 父親

1. 育児休業期間の終了まで取得したい	2. 育児休業期間の終了前に復帰したい
---------------------	---------------------

問28-9 「0歳のお子さん」をお持ちのかたにうかがいます。1歳から必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. はい	2. いいえ	3. わからない
-------	--------	----------

問28-10 「0歳のお子さん」をお持ちのかたにうかがいます。1年を超える育児休業の取得希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. はい	2. いいえ	3. わからない
-------	--------	----------

すべてのかたに、子育て全般についてうかがいます。

問29 妊娠中や出産後に、どのようなサービスなどが必要だと思われますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|------------------------|
| 1. 母親の体調や不安感の相談 | 2. 育児の方法を習得できる講座 |
| 3. 助産師、保健師等による家庭訪問 | 4. 父親の育児参加を促す講座や機会の提供 |
| 5. 家事や育児に対するヘルパー等による支援 | 6. 妊娠から出産にかけての総合的な情報提供 |
| 7. 赤ちゃんやきょうだいの一時的な預かり | 8. 赤ちゃんの健康や育ちに関する相談 |
| 9. 出産経験者から話を聞く機会の提供 | 10. 経済的な支援 |
| 11. 同時期に出産を迎える人同士の交流の機会 | 12. 特にない |
| 13. その他（ ） | |

問30 子育てをしていくうえで、どのようなサービスなどが必要だと思われますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------------|
| 1. 親の不安や悩みの相談 | 2. 子育てに関する総合的な情報提供 |
| 3. 親同士の仲間づくりの場や機会の提供 | 4. 子育てについての講座 |
| 5. 子どもを遊ばせる場や機会の提供 | 6. 親のリフレッシュの場や機会の提供 |
| 7. 父親の育児参加に関する意識啓発 | 8. 子どもの病気や障がいについての相談 |
| 9. 教育・保育施設の充実 | 10. 地域コミュニティでのつながり |
| 11. 経済的な支援 | 12. 仕事と子育ての両立のための施策 |
| 13. 養護施設の増設など社会的養護に関する体制の充実 | 14. 地域社会全体で子育てを支えていこうとする意識の増大 |
| 15. ひとり親家庭に対する支援策の充実 | 16. 道路や交通機関など子育てしやすい生活環境の整備 |
| 17. 特にない | 18. その他（ ） |

問31 お子さんの心身の成長に関することで心配なことはありますか。

- | | |
|-------------|----------------------|
| 1. 心配なことがある | 2. 心配なことはない ⇒問32へ |
|-------------|----------------------|

問31-1 問31で〔1. 心配なことがある〕と答えかたにうかがいます。どのような心配ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|---------------|
| 1. 一人あそびができない | 2. 人の話が聞けない |
| 3. 落ち着きがない | 4. 偏食 |
| 5. 感情の起伏が激しい | 6. ことばの遅れ |
| 7. 発達がゆっくり | 8. 集団行動がむずかしい |
| 9. その他（具体的に ） | |

問31-2 問31で〔1. 心配なことがある〕であると答えたかたにうかがいます。相談はどこでしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 小田原市子ども発達相談窓口	2. つくしんぼ教室等
3. 児童発達支援センター	4. 病院（医師）
5. 保健センター（保健師）	6. 民生委員児童委員
7. 子育て支援センター	8. 友達や親せき
9. 相談していない	
10. その他（具体的に	）

問32 現在の暮らしの状況（経済的な面で）をどのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 大変ゆとりがある	2. ややゆとりがある	3. ふつう
4. やや苦しい	5. 大変苦しい	

問33 ご家庭の家計について最も近いもの1つに○をつけて下さい。

1. 収入は足りていて、毎月貯蓄をしている	2. 収入は足りているが、貯蓄はしていない
3. 収入の範囲でなんとかやりくりしている	4. 収入が足りず、貯蓄を取り崩している
5. 収入が足りず、借金で生活している	
6. その他（具体的に	）

問34 お子さんの習い事について、当てはまる番号に1つに○をつけてください。また、利用したい日数や月謝の目安を記入してください。

1. 通わせている	→ 週に <input type="text"/> 日
	→ 月謝 月に <input type="text"/> 円
2. 通わせていない	

問35 幼児教育無償化が実施された場合、その費用はどのように使用しますか。当てはまる番号2つまでに○をつけてください。

1. 貯蓄	2. 生活費	3. お子さんの日用品	4. お子さんの習い事
5. レジャー	6. その他（	）	

問36 お子さんを育てている現在の生活に満足していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い	1	2	3	4	5	満足度が高い
--------	---	---	---	---	---	--------

問37 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い	1	2	3	4	5	満足度が高い
--------	---	---	---	---	---	--------

小学生調査

【小学生調査】

VI 調査の概要

1 調査の目的

現在の我が国における急速な少子化の進行、家庭及び地域を取り巻く環境の変化を踏まえ、全ての子どもが健やかに成長できる社会を実現していくため、子ども・子育て支援新制度が平成 27 年 4 月に施行されました。市町村は地域の子育て家庭の状況や、子育て支援へのニーズを把握し、5 年間を計画期間とする「市町村子ども・子育て支援事業計画」を定めるものとされています。小田原市においても、平成 27 年度を始期とする子ども・子育て支援事業計画を策定し、計画に基づいた対策を実施してきましたが、計画期間の終期が平成 31 年度(2019 年度)であることから、平成 32 年度(2020 年度)を始期とする第二期子ども・子育て支援事業計画の策定をおこないます。この調査は、第二期子ども・子育て支援事業計画を策定するうえで必要となる事業及びその規模の確定のため、子育て中の家庭の基礎データの把握、および住民の教育・保育等に関する利用意向等のニーズの状況を把握することを目的に実施するものです。

2 調査対象

平成 30 年 11 月 1 日現在で、小田原市在住の小学校 1 年生～6 年生の保護者

3 調査期間

平成 30 年 12 月 8 日から平成 30 年 12 月 27 日

4 調査方法

郵送配布及び回収

5 回収状況

区分	配布数	有効回収数	有効回収率
1 年生	306 通	159 通	52.0%
2 年生	304 通	137 通	45.1%
3 年生	390 通	194 通	49.7%
4 年生	303 通	144 通	47.5%
5 年生	357 通	146 通	40.9%
6 年生	340 通	128 通	37.6%
合計	2,000 通	908 通	45.4%

※「学年回答なし・誤記入」が 5 通ありましたが、上記有効回収数には含めず、調査結果でも集計対象外としています。「学年回答なし・誤記入」の 5 通を含めた総回収数は 913 通で、総回収率は 45.7%です。

6 調査結果の表示方法

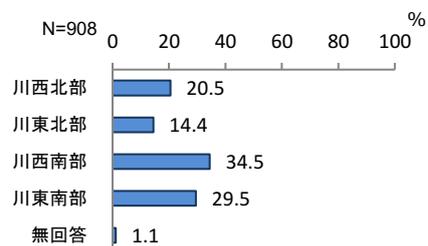
- 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- 「無回答」については、単純集計のグラフには割合を表示していますが、「無回答」の割合については、コメントの対象外とします。
- 回答者数が少ない設問については、図表と回答比率の表示はせず、回答件数を表示しています。

Ⅶ 調査結果

1 お住まいの地域について

問1 お住まいの地区の郵便番号を記入してください。

「川西南部」の割合が34.5%と最も高く、次いで「川東南部」の割合が29.5%、「川西北部」の割合が20.5%となっています。



区域わけ	地区
川西北部	蓮正寺、中曽根、飯田岡、堀之内、柳新田、小台、新屋、府川、北ノ窪、清水新田、穴部、穴部新田、曾比、栢山
川東北部	飯泉、成田、桑原、別堀、高田、千代、永塚、東大友、西大友、延清、曾我原、曾我谷津、曾我別所、曾我岸、上曾我、下大井、鬼柳、曾我大沢、曾我光海
川西南部	緑、城山、扇町、十字、荻窪、谷津、池上、井細田、多古、久野、板橋、南板橋、風祭、入生田、水之尾、早川、石橋、米神、根府川、江之浦、栄町、中町、浜町、本町、城内、南町、寿町、東町
川東南部	下堀、中里、矢作、鴨宮、上新田、中新田、下新田、国府津、田島、酒匂、小八幡、南鴨宮、西酒匂、東ヶ丘、前川、羽根尾、中村原、上町、小船、山西、沼代、小竹、川勾

問2 あて名のお子さんが通っている小学校の名前を記入してください。

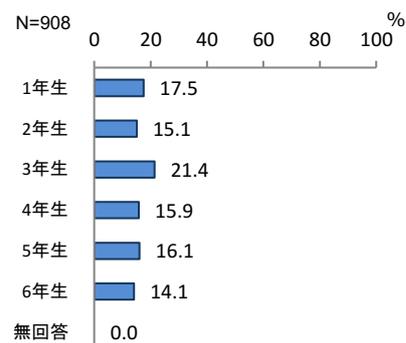
小学校別のニーズ調査の回答構成は、「国府津小学校」の6.9%から「湘南白百合学園小学校」「私立小学校」の0.1%までとなっています。



2 お子さんご家族の状況について

問3 あて名のお子さんの学年をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

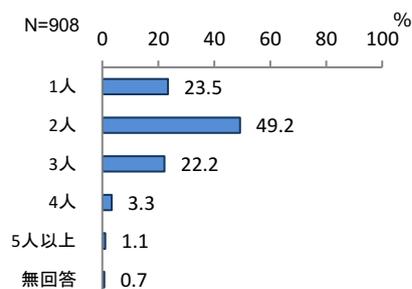
「3年生」の割合が21.4%と最も高く、次いで「1年生」の割合が17.5%、「5年生」の割合が16.1%となっています。



問4 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を記入してください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子のかたの生年月を記入してください。

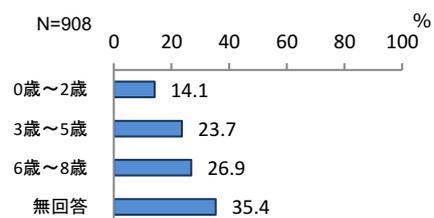
(1) きょうだい数

「2人」の割合が49.2%と最も高く、次いで「1人」の割合が23.5%、「3人」の割合が22.2%となっています。



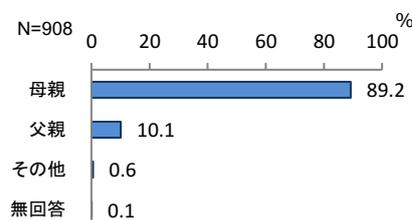
(2) 末子の年齢

「6歳～8歳」の割合が26.9%と最も高く、次いで「3歳～5歳」の割合が23.7%、「0歳～2歳」の割合が14.1%となっています。



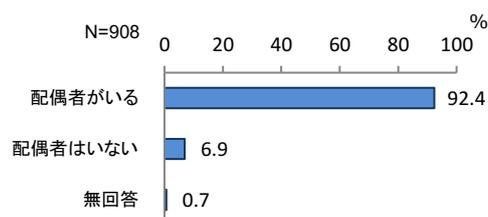
問5 この調査票に回答いただくかたはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が89.2%、「父親」の割合が10.1%となっています。



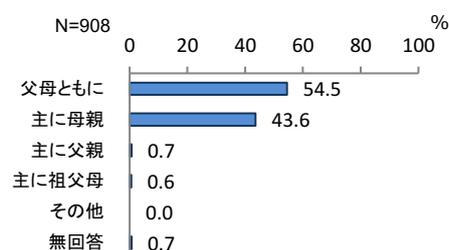
問6 この調査票に回答いただいているかたの配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が92.4%、「配偶者はいない」の割合が6.9%となっています。



問7 あて名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」の割合が54.5%、「主に母親」の割合が43.6%となっています。

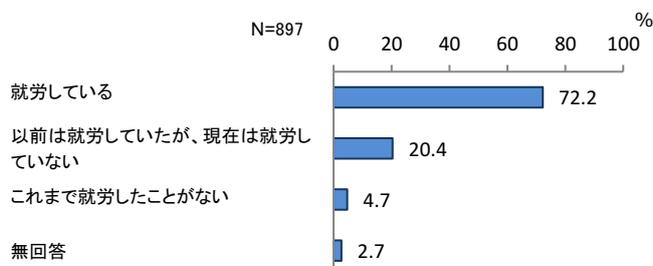


3 お子さんの保護者の就労状況について

問8 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。現在、産休、育休、介護休業中のかたは、休業に入る前の状況でお答えください。

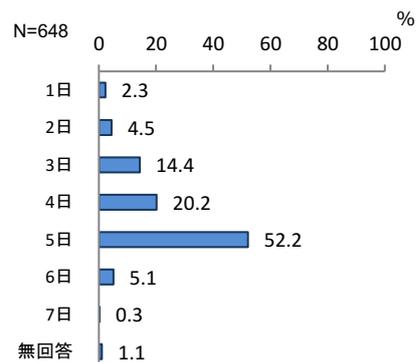
(1) 母親の就労状況

「就労している」の割合が72.2%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が20.4%となっています。



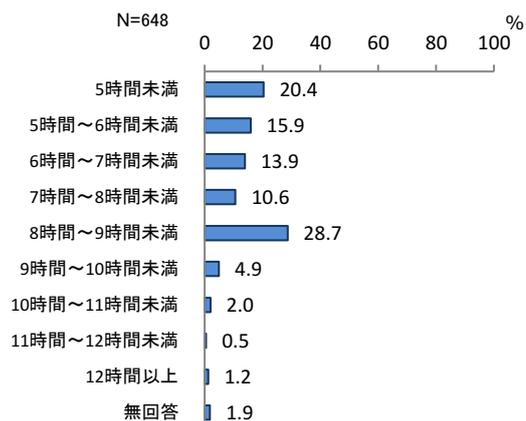
① 1週当たり日数

「5日」の割合が52.2%と最も高く、次いで「4日」の割合が20.2%、「3日」の割合が14.4%となっています。



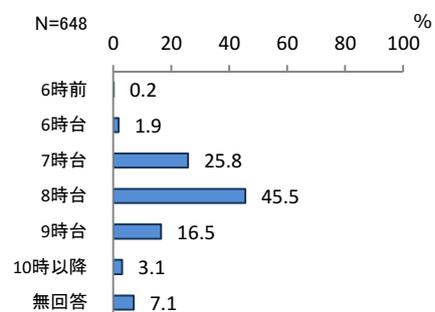
② 1日当たり時間

「8時間～9時間未満」の割合が28.7%と最も高く、次いで「5時間未満」の割合が20.4%、「5時間～6時間未満」の割合が15.9%となっています。



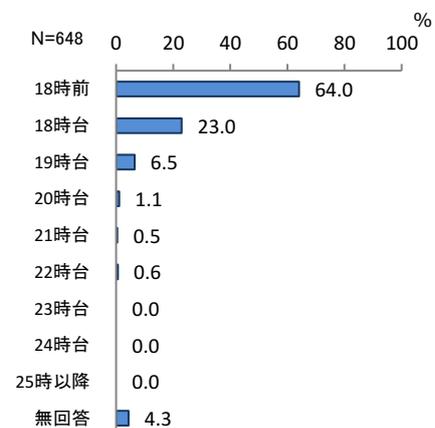
③ 家を出る時刻

「8時台」の割合が45.5%と最も高く、次いで「7時台」の割合が25.8%、「9時台」の割合が16.5%となっています。



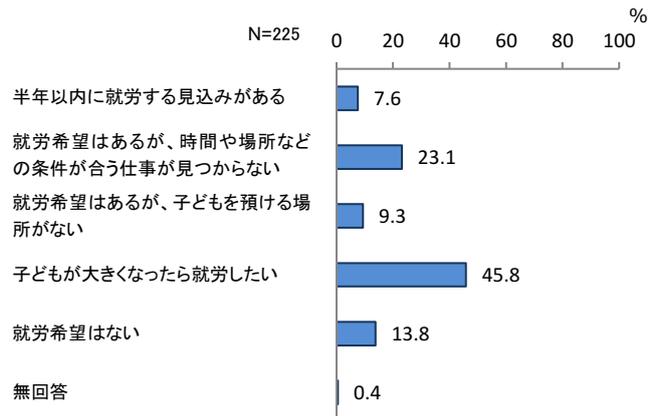
④ 帰宅時刻

「18時前」の割合が64.0%と最も高く、次いで「18時台」の割合が23.0%となっています。



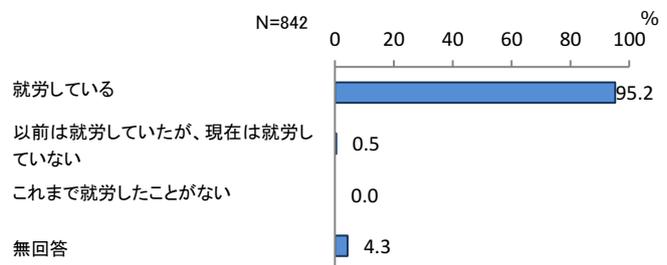
⑤ 「以前は就労していたが、現在は就労していない」または、「これまで就労したことがない」人の就労希望または就労見込み

「子どもが大きくなったら就労したい」の割合が45.8%と最も高く、次いで「就労希望はあるが、時間や場所などの条件が合う仕事が見つからない」の割合が23.1%、「就労希望はない」の割合が13.8%となっています。



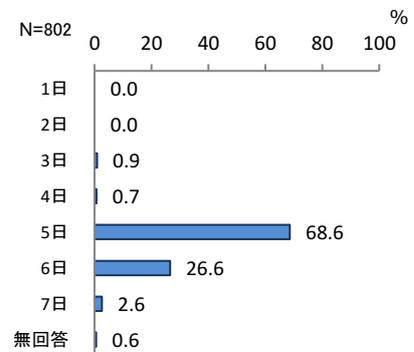
(2) 父親の就労状況

「就労している」の割合が95.2%となっています。



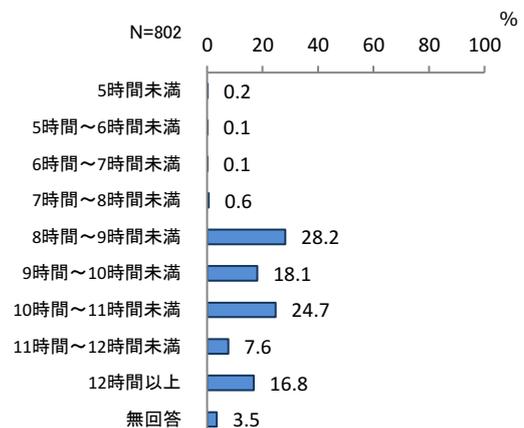
① 1週当たり日数

「5日」の割合が68.6%と最も高く、次いで「6日」の割合が26.6%となっています。



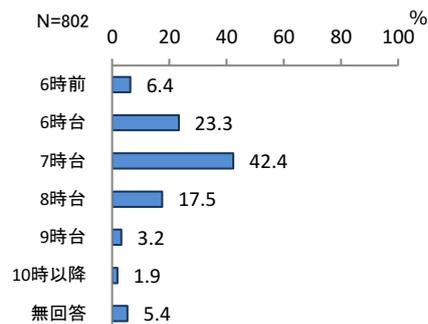
② 1日当たり時間

「8時間～9時間未満」の割合が28.2%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が24.7%、「9時間～10時間未満」の割合が18.1%となっています。また、「12時間以上」の割合も16.8%となっています。



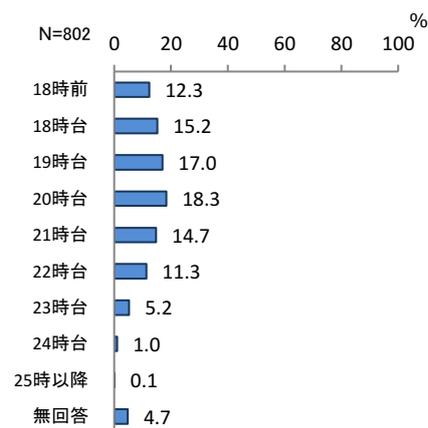
③ 家を出る時刻

「7時台」の割合が42.4%と最も高く、次いで「6時台」の割合が23.3%、「8時台」の割合が17.5%となっています。また、「6時前」の割合も6.4%となっています。



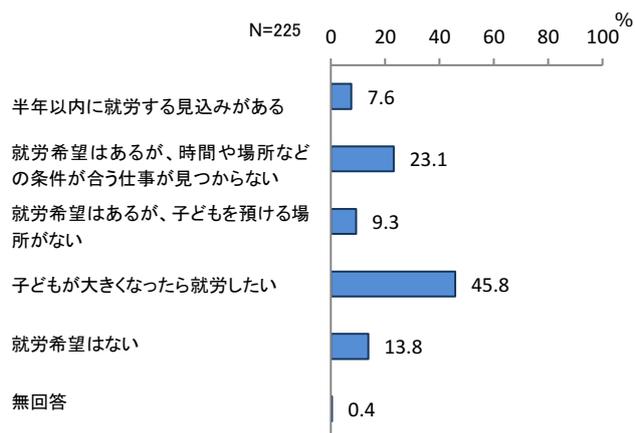
④ 帰宅時刻

「20時台」の割合が18.3%と最も高く、次いで「19時台」の割合が17.0%、「18時台」の割合が15.2%となっています。また、「24時以降」の割合も1.1%となっています。



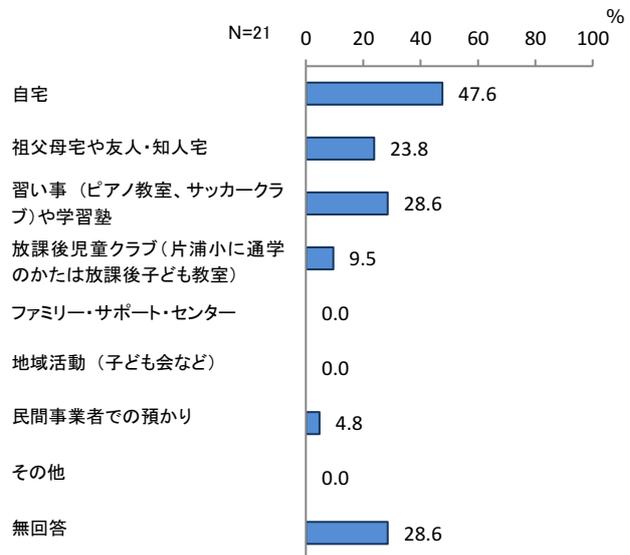
⑤ 「以前は就労していたが、現在は就労していない」または、「これまで就労したことがない」人の就労希望または就労見込み

「子どもが大きくなったら就労したい」が45.8%、「就労希望はあるが、時間や場所などの条件が合う仕事が見つからない」が23.1%、「就労希望はない」が13.8%となっています。



問9 (1) -3 あるいは (2) -3 で [1. 半年以内に就労見込みがある。] に○をつけたかたなど、今後、保護者のかたが就労により放課後の子どもをみることが難しくなるかたにうかがいます。その際、お子さんは放課後の時間をどのように過ごす予定ですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字で記入してください。〔放課後児童クラブ〕については、利用希望時間も記入してください。

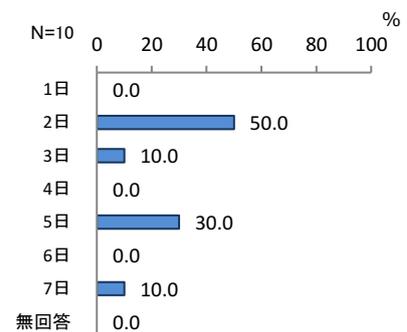
「自宅」の割合が47.6%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ）や学習塾」の割合が28.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が23.8%となっています。



(1) 放課後の過ごさせたい場所別週あたり日数

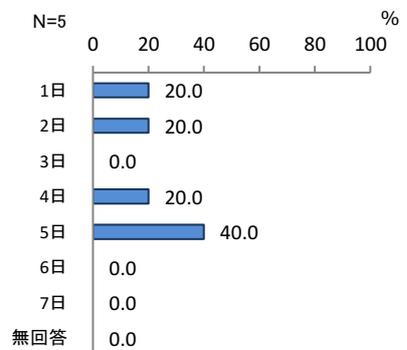
① 自宅

「2日」が5件、「5日」が3件、「3日」、「7日」がそれぞれ1件となっています。



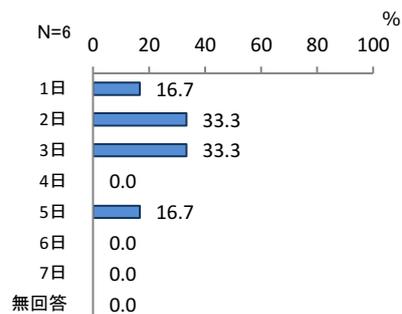
② 祖父母宅や友人・知人宅

「5日」が2件、「1日」、「2日」、「4日」がそれぞれ1件となっています。



③ 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ）や学習塾

「2日」、「3日」がそれぞれ2件、「1日」、「5日」がそれぞれ1件となっています。



④ 放課後児童クラブ（片浦小に通学のかたは放課後子ども教室）

「5日」が2件となっています。

④-1 希望終了時間

「17時台」が1件、「18時以降」が1件となっています。

⑤ ファミリー・サポート・センター

有効回答はありません。

⑥ 地域活動（子ども会など）

有効回答はありません。

⑦ 民間事業者での預かり

「5日」が1件となっています。

⑧ その他

有効回答はありません。

4 お子さんの地域の子育て支援の利用状況について

問 10 平日の放課後、あて名のお子さんはどのように過ごしていますか。時間帯ごとに最も多い過ごし方を、それぞれの時間帯ごとに1つだけ下の【選択肢表】から選び、番号を記入してください。

(1) 時間帯ごとの過ごし方

① 14～16時

「小学校にいる（下校前である）」の割合が57.9%と最も高く、次いで「自宅等で保護者や兄弟姉妹、祖父母等の家族と一緒にいる」の割合が12.6%、「放課後児童クラブ（片浦小に通学のかたは放課後子ども教室）を利用している」の割合が11.2%となっています。



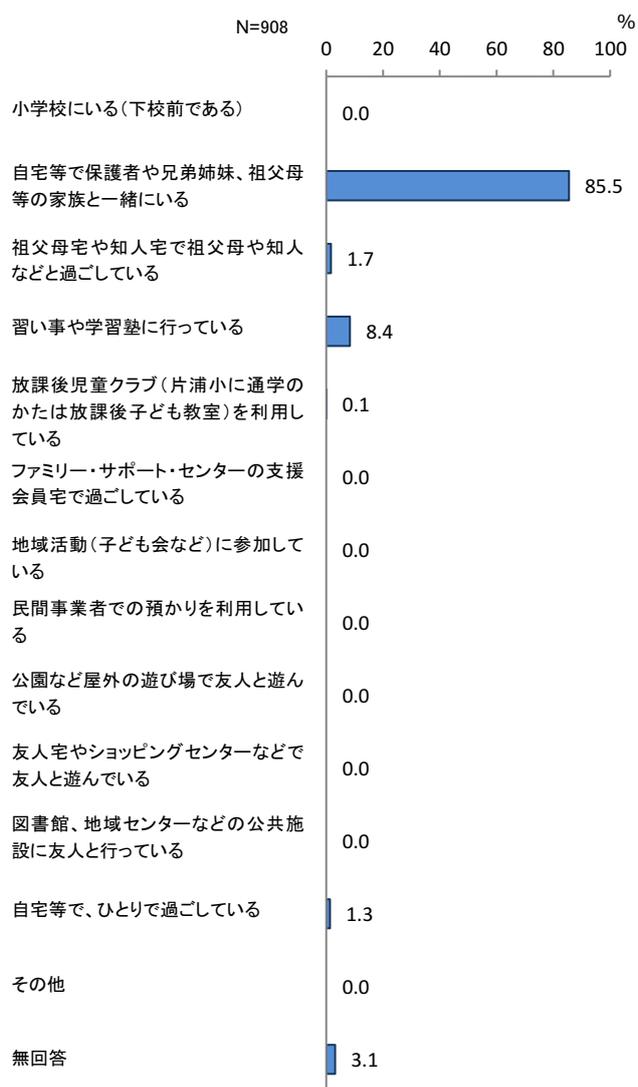
② 16～18時

「自宅等で保護者や兄弟姉妹、祖父母等の家族と一緒にいる」の割合が33.8%と最も高く、次いで「習い事や学習塾に行っている」の割合が28.6%、「放課後児童クラブ（片浦小に通学のかたは放課後子ども教室）を利用している」の割合が11.7%となっています。



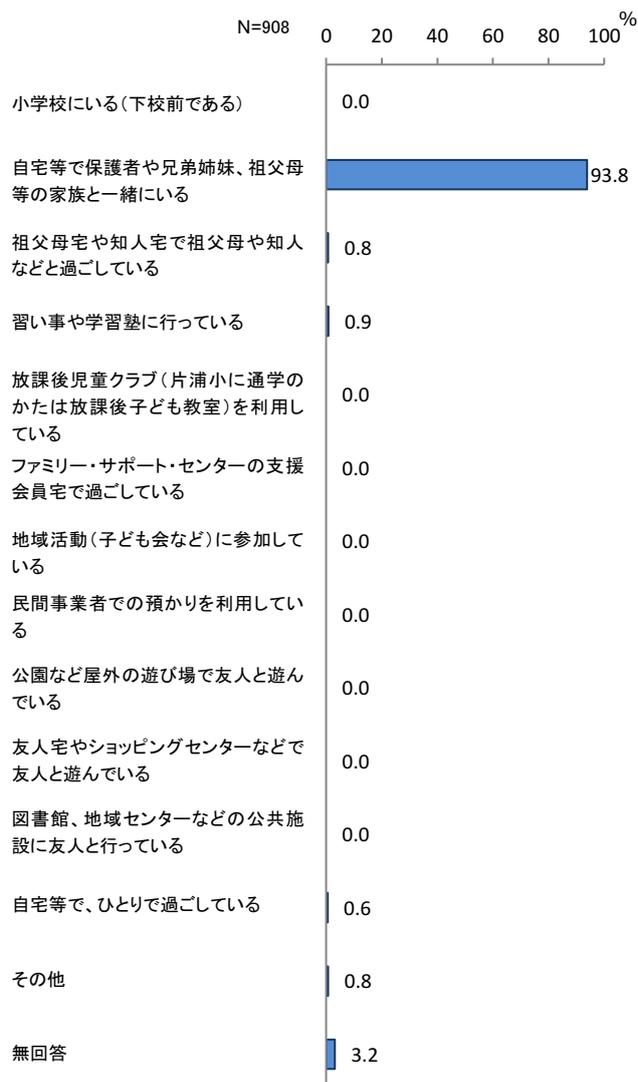
③ 18～20時

「自宅等で保護者や兄弟姉妹、祖父母等の家族と一緒にいる」の割合が85.5%と最も高く、次いで「習い事や学習塾に行っている」の割合が8.4%となっています。



④ 20時以降

「自宅等で保護者や兄弟姉妹、祖父母等の家族と一緒にいる」の割合が93.8%と最も高くなっています。



問 10-1 学校が休みの土曜日や日曜日・祝日に、あて名のお子さんはどのように過ごしていますか。時間ごとに最も多い過ごし方を、それぞれの時間帯ごとに1つだけ下の【選択肢表】から選び、番号を記入してください。

(1) 土曜日

① 朝起きてから昼食まで

「自宅等で保護者や兄弟姉妹、祖父母等の家族と一緒にいる」の割合が67.4%と最も高く、次いで「習い事や学習塾に行っている」の割合が18.9%となっています。



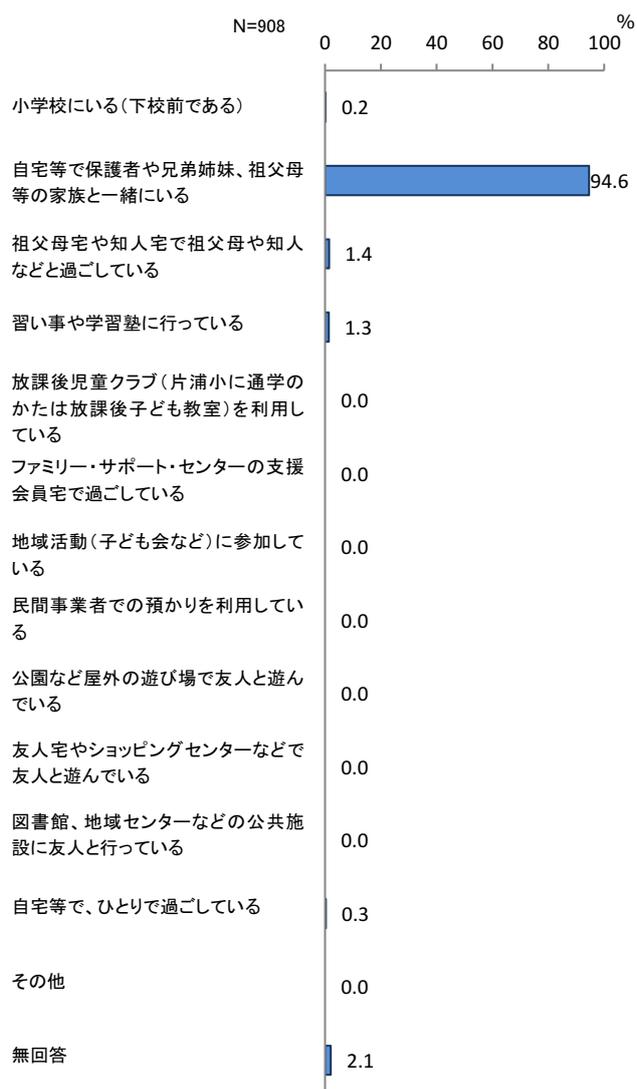
② 昼食後、夕食まで

「自宅等で保護者や兄弟姉妹、祖父母等の家族と一緒にいる」の割合が57.2%と最も高く、次いで「習い事や学習塾に行っている」の割合が21.6%となっています。



③ 夕食後

「自宅等で保護者や兄弟姉妹、祖父母等の家族と一緒にいる」の割合が94.6%と最も高くなっています。



(2) 日曜日・祝日

① 朝起きてから昼食まで

「自宅等で保護者や兄弟姉妹、祖父母等の家族と一緒にいる」の割合が73.5%と最も高く、次いで「習い事や学習塾に行っている」の割合が15.9%となっています。



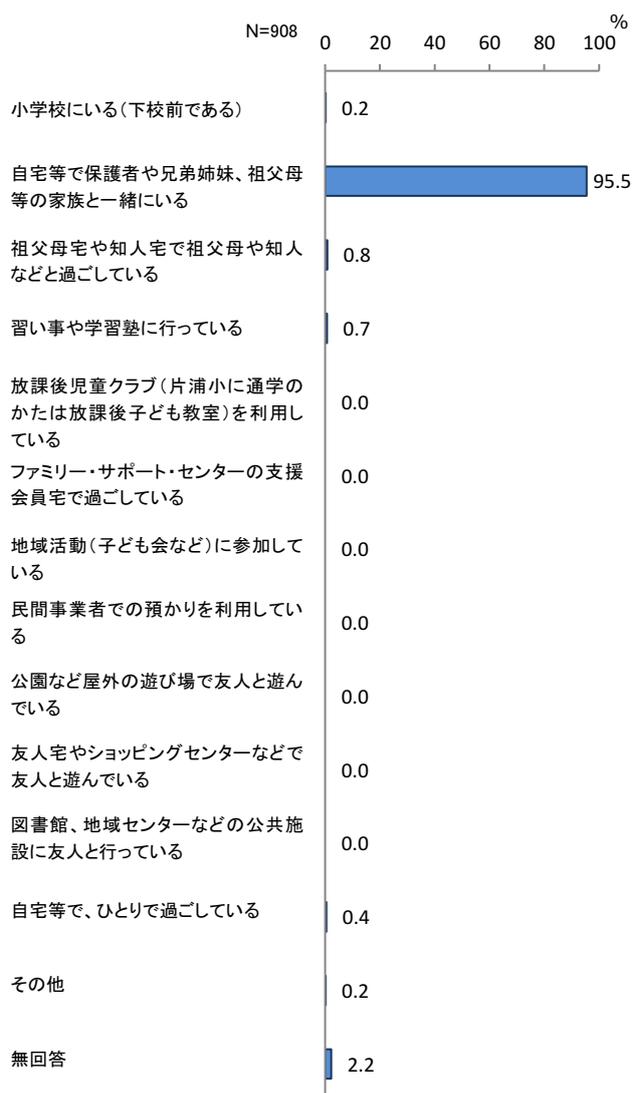
② 昼食後、夕食まで

「自宅等で保護者や兄弟姉妹、祖父母等の家族と一緒にいる」の割合が68.6%と最も高く、次いで「習い事や学習塾に行っている」の割合が12.3%となっています。



③ 夕食後

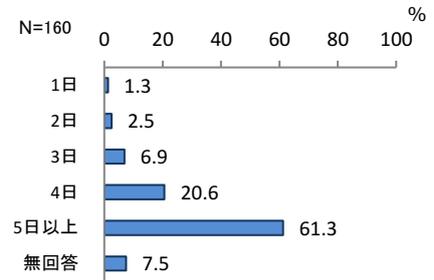
「自宅等で保護者や兄弟姉妹、祖父母等の家族と一緒にいる」の割合が95.5%と最も高くなっています。



問 11 問9あるいは問10で「5. 放課後児童クラブ（片浦小に通学のかたは放課後子ども教室）で過ごしている」を選んだかたにうかがいます。放課後児童クラブの利用日数はどれくらいですか。また土曜日の利用はどれくらいですか。それぞれ利用希望日数を記入してください。

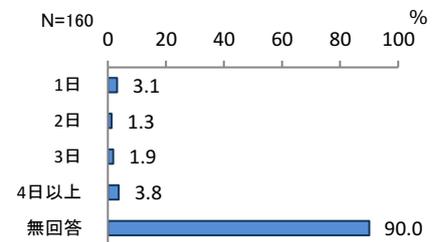
(1) 1週当たり日数

「5日以上」の割合が61.3%と最も高く、次いで「4日」の割合が20.6%、「3日」の割合が6.9%となっています。



(2) 土曜日の利用日数（1か月当たり）

「4日以上」の割合が3.8%となっています。



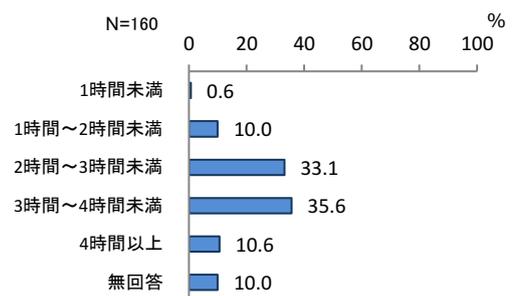
問 11-1 放課後児童クラブは何時まで利用していますか。また、希望としては何時まで利用したいですか。それぞれ時間を記入してください。

(1) 平日

① 現在の利用時間

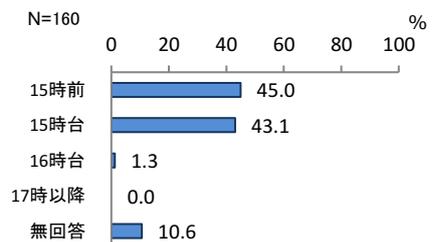
ア 1日当たり

「3時間～4時間未満」の割合が35.6%と最も高く、次いで「2時間～3時間未満」の割合が33.1%、「4時間以上」の割合が10.6%となっています。



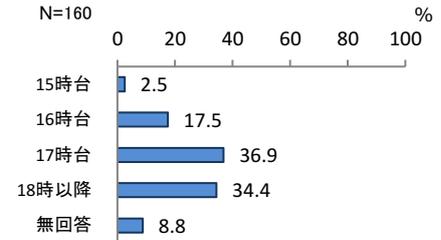
イ 開始時間

「15時前」の割合が45.0%と最も高く、次いで「15時台」の割合が43.1%となっています。



ウ 終了時間

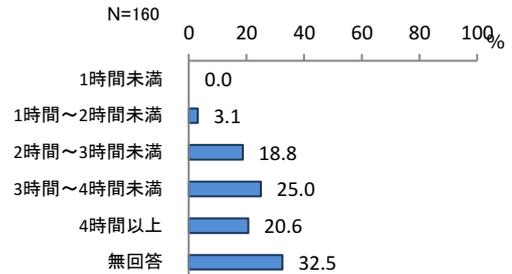
「17時台」の割合が36.9%と最も高く、次いで「18時以降」の割合が34.4%、「16時台」の割合が17.5%となっています。



② 希望する利用時間

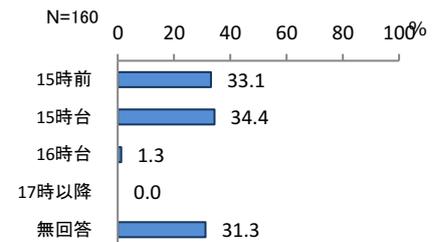
ア 1日当たり

「3時間～4時間未満」の割合が25.0%と最も高く、次いで「4時間以上」の割合が20.6%、「2時間～3時間未満」の割合が18.8%となっています。



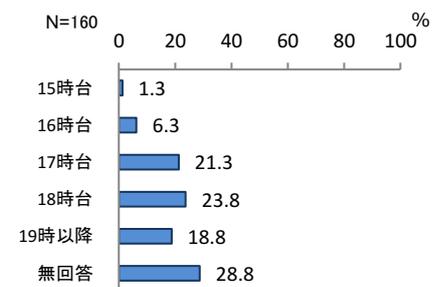
イ 開始時間

「15時台」の割合が34.4%と最も高く、次いで「15時前」の割合が33.1%となっています。



ウ 終了時間

「18時台」の割合が23.8%と最も高く、次いで「17時台」の割合が21.3%、「19時以降」の割合が18.8%となっています。

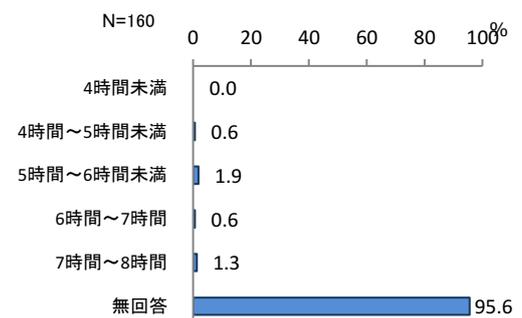


(2) 土曜日

① 現在の利用時間

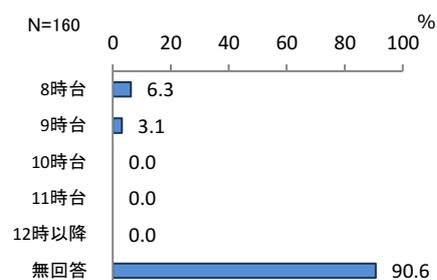
ア 1日当たり

「5時間～6時間未満」の割合が1.9%となっています。



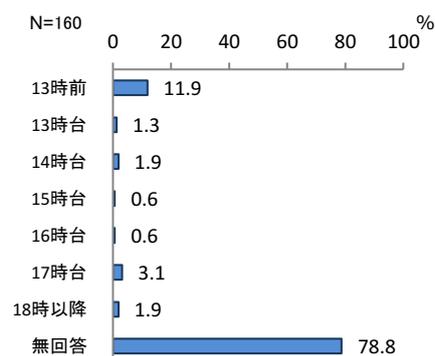
イ 開始時間

「8時台」の割合が6.3%と最も高くなっています。



ウ 終了時間

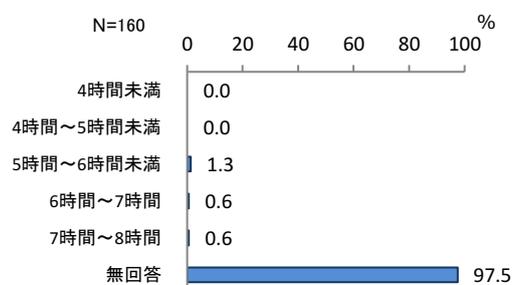
「13時前」の割合が11.9%と最も高くなっています。



② 希望する利用時間

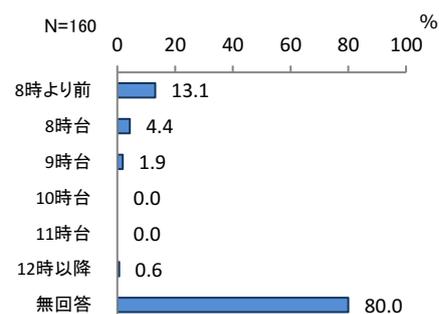
ア 1日当たり

「5時間～6時間未満」が2件、「6時間～7時間未満」、「7時間～8時間未満」がそれぞれ1件となっています。



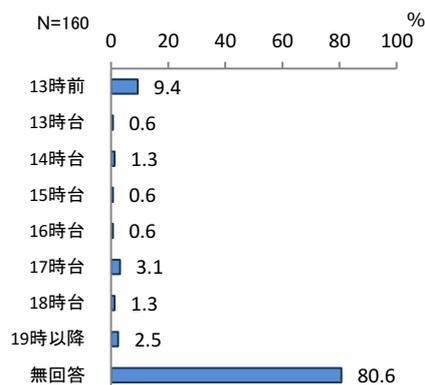
イ 開始時間

「8時より前」の割合が13.1%と最も高くなっています。



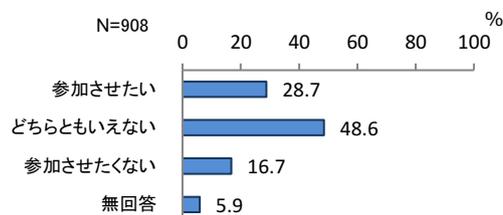
ウ 終了時間

「13時前」の割合が9.4%と最も高くなっています。



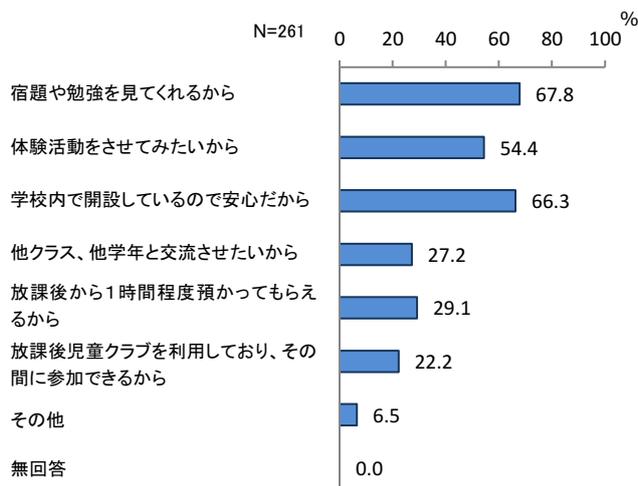
問 12 お子さんを放課後子ども教室に参加させたいですか。(児童クラブ入所児童も参加可能です。また、すでに実施している学校で、対象の学年から外れている場合も、参加可能であった場合の希望として回答してください。)

「どちらともいえない」の割合が48.6%と最も高く、次いで「参加させたい」の割合が28.7%となっています。



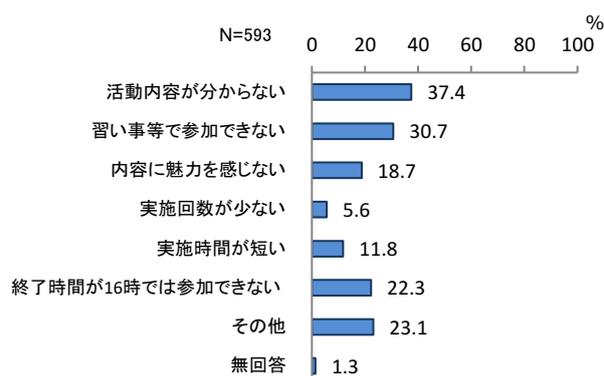
問 12-1 問 12 で [1] を選んだかたにお聞きします。放課後子ども教室に参加させたい理由は何ですか？(複数回答可)

「宿題や勉強を見てくれるから」の割合が67.8%と最も高く、次いで「学校内で開設しているので安心だから」の割合が66.3%、「体験活動をさせてみたいから」の割合が54.4%となっています。



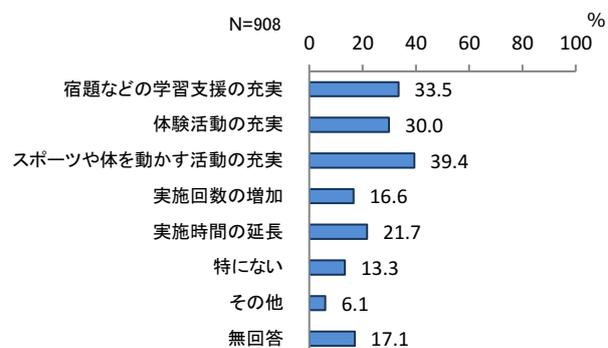
問 12-2 問 12 で [2] [3] を選んだかたにお聞きします。[2] [3] を選んだ理由を教えてください。(複数回答可)

「活動内容が分からない」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「習い事等で参加できない」の割合が 30.7%となっています。



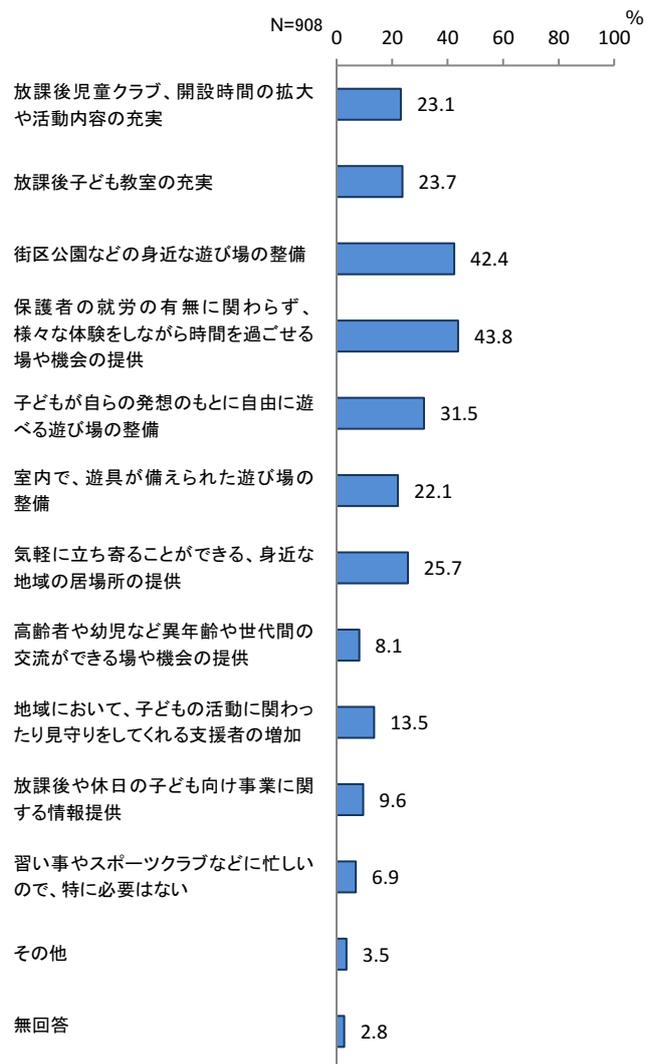
問 12-3 今後、放課後子ども教室にどのようなことを希望されますか。問 1 2 で [2] [3] を選んだかたはどのようになれば参加させたいと思いますか？(複数回答可)

「スポーツや体を動かす活動の充実」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「宿題などの学習支援の充実」の割合が 33.5%、「体験活動の充実」の割合が 30.0%となっています。



問13 すべてのかたにうかがいます。小学生が放課後を過ごす環境について、今後望むことは何ですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

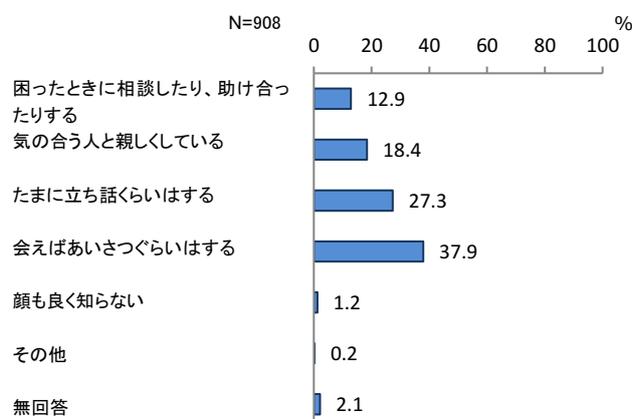
「保護者の就労の有無に関わらず、様々な体験をしながら時間を過ごせる場や機会の提供」の割合が43.8%と最も高く、次いで「街区公園などの身近な遊び場の整備」の割合が42.4%、「子どもが自らの発想のもとに自由に遊べる遊び場の整備」の割合が31.5%となっています。



5 子育て全般について

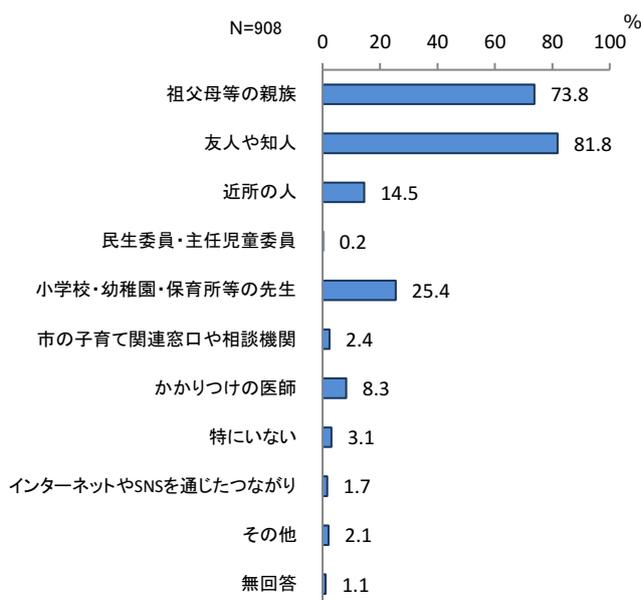
問 14 普段、近所の人とどのようなつきあい方をしていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「会えばあいさつぐらいはする」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「たまに立ち話ぐらいはする」の割合が 27.3%、「気の合う人と親しくしている」の割合が 18.4%となっています。



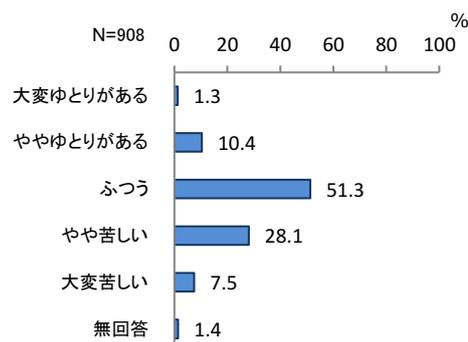
問 15 子育てについて、気軽に相談できる人はどなたですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人や知人」の割合が 81.8%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が 73.8%、「小学校・幼稚園・保育所等の先生」の割合が 25.4%となっています。



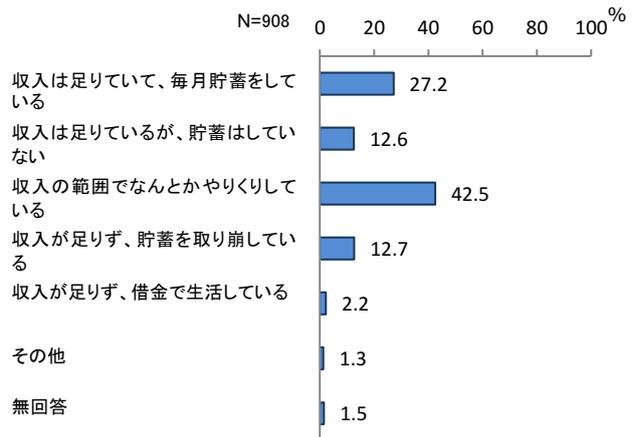
問 16 現在の暮らしの状況（経済的な面で）をどのように感じていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「ふつう」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が 28.1%、「ややゆとりがある」の割合が 10.4%となっています。



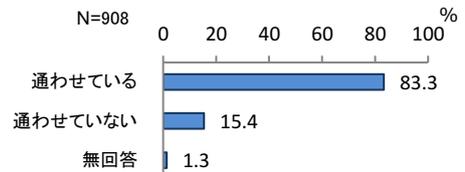
問 17 ご家庭の家計について最も近いもの1つに○をつけてください。

「収入の範囲でなんとかやりくりしている」の割合が42.5%と最も高く、次いで「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」の割合が27.2%、「収入が足りず、貯蓄を取り崩している」の割合が12.7%、「収入は足りているが、貯蓄はしていない」の割合が12.6%となっています。



問 18 お子さんの習い事について、当てはまる番号に○をつけてください。また利用したい日数や月謝の目安を記入してください。

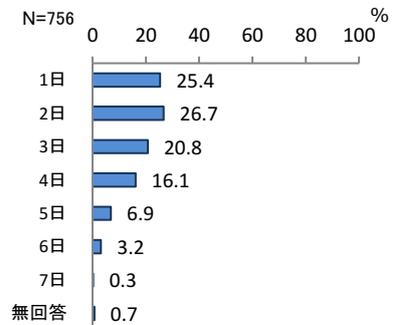
「通わせている」の割合が83.3%、「通わせていない」の割合が15.4%となっています。



● 習い事をしている

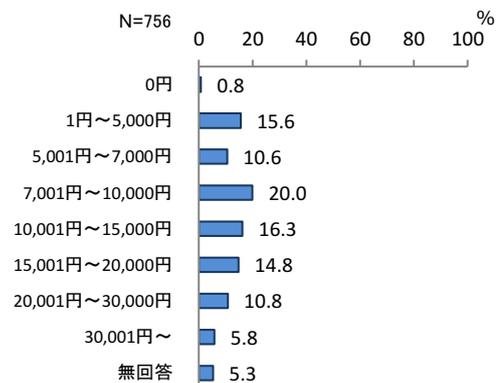
① 1週あたり日数

「2日」の割合が26.7%と最も高く、次いで「1日」の割合が25.4%、「3日」の割合が20.8%となっています。



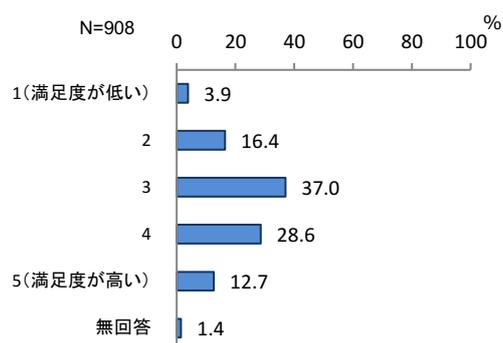
② 月謝（月当たり金額）

「7,001円～10,000円」の割合が20.0%と最も高く、次いで「10,001円～15,000円」の割合が16.3%、「1円～5,000円」の割合が15.6%となっています。



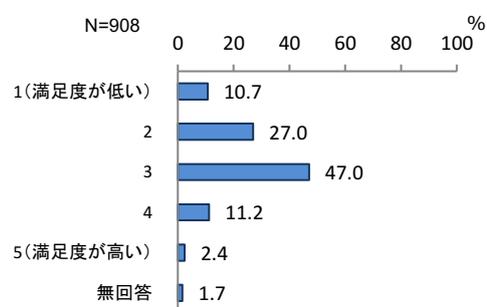
問 19 あなたは、子どもを育てている現在の生活に満足していますか。当てはまる番号 1 つに ○をつけてください。

「3」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「4」の割合が 28.6%、「2」の割合が 16.4%となっています。



問 20 お住まいの地域における子育て環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに ○をつけてください。

「3」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「2」の割合が 27.0%、「4」の割合が 11.2%となっています。



VIII 調査結果のまとめ

1 お子さんの保護者の就労状況について

保護者の現在の就労状況（問 8）は、母親では、「就労している」の割合が 72.2%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 20.4%となっています。父親では、「就労している。」の割合が 95.2%となっています。

2 地域の子育て支援の利用状況について

平日の放課後の過ごし方（問 10）について、時間帯ごとにみると、14～16 時では「小学校にいる（下校前である）」の割合が 57.9%と最も高く、次いで「自宅等で保護者や兄弟姉妹、祖父母等の家族と一緒にいる」の割合が 12.6%、「放課後児童クラブ（片浦小に通学のかたは放課後子ども教室）を利用している」の割合が 11.2%となっています。16～18 時では、「自宅等で保護者や兄弟姉妹、祖父母等の家族と一緒にいる」の割合が 33.8%と最も高く、次いで「習い事や学習塾に行っている」の割合が 28.6%、「放課後児童クラブ（片浦小に通学のかたは放課後子ども教室）を利用している」の割合が 11.7%となっています。18 時以降では「自宅等で保護者や兄弟姉妹、祖父母等の家族と一緒にいる」の割合が 85%を超えています。平日の放課後の過ごし方で、「放課後児童クラブ」が一定の役割を果たしていることがわかります。また、「放課後児童クラブ」の終了時間（問 11-1）ですが、現状は「17 時台」の割合が 36.9%と最も高く、次いで「18 時以降」の割合が 34.4%、「16 時台」の割合が 17.5%です。希望終了時間は、「18 時台」の割合が 23.8%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 21.3%、「19 時以降」の割合が 18.8%であり、現状よりも遅い時間まで利用希望があります。

「放課後子ども教室」の参加意向（問 12）は、「参加させたい」の割合が 28.7%で、参加させたい理由は、「宿題や勉強を見てくれるから」の割合が 67.8%と最も高く、次いで「学校内で開設しているので安心だから」の割合が 66.3%、「体験活動をさせてみたいから」の割合が 54.4%となっています。

小学生が放課後を過ごす環境について、今後望むこと（問 13）については「保護者の就労の有無に関わらず、様々な体験をしながら時間を過ごせる場や機会の提供」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「街区公園などの身近な遊び場の整備」の割合が 42.4%、「子どもが自らの発想のもとに自由に遊べる遊び場の整備」の割合が 31.5%となっており、子どもが過ごす場や機会の充実が大きなニーズであると言えます。

3 子育て全般について

子どもを育てている現在の生活の満足度（問 19）（1：満足度が低い，5：満足度が高い）については、「3」の割合が 37.0%と最も高く、次いで「4」の割合が 28.6%、「2」の割合が 16.4%となっており、平均的な回答が得られています。小田原市における子育ての環境や支援への満足度（問 20）については、「3」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「2」の割合が 27.0%、「4」の割合が 11.2%となっており、現在の生活の満足度と同様に、平均的な回答が得られています。

Ⅸ 自由意見のまとめ（681件）

1 子育て支援施設・子育て支援サービスについて（254件）

① 保育園・幼稚園他保育サービス全般（16件）

- ・今年下の子が保育園へ入ったが、待機児童の状況が上の子の時よりも厳しくなっており大変苦労した。
- ・私立幼稚園就園費補助について負担額の差がありすぎる。
- ・保育園、こども園を増やして欲しい。
- ・子どもを預かる時間を拡大して欲しい。

② 各種保育サービス（延長・休日保育、一時預かり、病児保育、保育コンシェルジュ等）（21件）

- ・平日のみの勤務でない家庭にも目を向けた支援をぜひお願いしたい。
- ・急でも子どもを預かってくれるサービスが欲しい。
- ・幼稚園の延長保育のように、小学生でも時間制で預かってくれる施設があると良い。
- ・夏休み、春休み、冬休みだけの預け先が欲しい。
- ・公立の保育所に一時預かり保育の制度を実施しているところが無い。
- ・母子家庭で、子どもが体調不良で学校を休むと仕事を休まざるを得ない。

③ 各種地域事業（赤ちゃん広場、子育て支援センター、マロニエなど）（16件）

- ・就学した今では近くに、気軽に相談できる場所がなくなってしまったのが残念。
- ・川東地域はマロニエがあり、小学生は遊ぶ場所が確保されているので放課後も充実した時間が過ごせていると思う。
- ・上の子（小2）と下の子（1才）を一緒に遊ばせることができる施設が近くに無いこと。
- ・各地域に児童館を開設してくれると安心して遊びに行かすことができる。
- ・支援センターは小さい子向けだけでなく小学生まで居れる場にして欲しい。
- ・子育て支援センターは、ママ友を作りやすいなどもっと利用しやすい環境を作っていたら嬉しいと思う。
- ・子育て支援センターの開設時間が短かすぎると思う。日曜日が休みなのがおかしいと思う。

④ 学校・教育（58件）

- ・放課後の学校で習い事ができれば良いと思う。不審者が一番心配な事である。
- ・特に学習面でのサポートを希望する。「塾」や「予備校」など、月々の支払いが高い。
- ・小田原市立の公立学校で、設備や教育内容の差が無いようお願いしたい。
- ・公立の中高一貫校があると良いなと思う。
- ・小学校にエアコンを早く入れて頂きたい。
- ・小・中学校で教育についていけない子どもたちへのサポートを増やして欲しい。

⑤ 放課後児童クラブ（学童保育）・放課後こども教室(103件)

- ・放課後子ども教室を、実施していない小学校でも早く始めて欲しい。
- ・希望する時に、短時間預かってもらえる場所があれば助かる。
- ・放課後児童クラブは長期休暇の際、開所時間が遅く閉所時間が早い。
- ・放課後児童クラブの利用学年が6年生までになり、とてもありがたく思っている。
- ・放課後児童クラブで働く職員のかたの質を上げて欲しい。
- ・放課後子ども教室の充実をして欲しい。
- ・放課後子ども教室の参加の仕方がわからない。
- ・夏休みの児童クラブが8時開所で大人同伴なのは、市外につとめるかたには厳しいと思う。

⑥ 子育てに関する相談等(6件)

- ・子どもがSOSを出すことができる場があると良い。
- ・子育てについて気軽に相談できるところが欲しい、土、日、祝日などあいているところがあったら良い。
- ・母親の生活環境が原因で子どもに支障が出ているのに学校や市や自治体などで相談する場が無く、病院へ行って相談して下さいと言われ困る。
- ・学校での悩みや相談を聞いてくれる人達が必要だと思う。

⑦ ひとり親世帯・障がいのある子どもへの支援等(20件)

- ・母子家庭で近くに親族もだれもいないため、子どもたちだけで家にいることが多い。金銭的にも余裕がなく、ファミリー・サポート・センターを利用することも難しい。
- ・子どもは支援級に通っています。登校時や下校時、親の送り迎えが必要で、デイサービスも利用しており、働きたいと思っても時間などの制限により難しい。
- ・発達障がいに対して、専門の知識があるかたと、普段の様子を知っている先生と、保護者の三者で話ができる仕組みがあるとありがたいと思う。
- ・「コミュニケーション教室」「ことばの教室」等があるが、通わせるのも大変なので、できれば各小学校、中学校に設置してあれば良いと思う。
- ・一人親世帯が県、市営住宅に入居できない場合の、住宅費(家賃)の補助をいただけるととても助かる。

⑧ その他子育て支援サービス(14件)

- ・少子化で困っているというなら、まずお母さんを助けてくれるサービスが必要。
- ・子育てをしながらファミリー・サポート・センターの支援会員をしています。最近の依頼は休日又は夜間のサポート依頼が多い。
- ・習い事や放課後児童クラブの帰り、そのまま子ども達の自宅へ送る事が出来る様になれば、ファミリー・サポート・センターを使用したいと思うかたも増えるのではないかと思います。
- ・ファミリー・サポート・センターはとても良い制度で利用もしたいが、支援会員のかたが増えてくれないと、結局、希望する援助が受けられないと思う。
- ・ファミリー・サポート・センターがあるのは知っているが、安全性について不安で申し込みできない。

2 子育て環境 (280 件)

⑨ 子どもの遊び場等 (194 件)

- 様々な学年が集まる魅力的で緑が豊富な、大きな公園が欲しい。
- 有料でも良いので、雨天時に自由に遊べる室内施設があったら良い。
- 公園が少なく、放課後、子どもたちがおもいきり遊べる場所がない。
- 徒歩（子どものみで）で行ける範囲に図書館や児童館が小田原にはない。
- 子ども達でボール遊びが出来る場所が少ない。

⑩ 子育てに関するまちづくり (6 件)

- 市民ホールも良いが、学校も老朽化している所がたくさんあるので改善して欲しい。
- 近所に子どもにとって危険な道路があったり、家の近くの街灯が消えたりした際、すぐに対応してもらえなかった。
- 子ども達が安全で安心して生活できる地域であることが大切であると思う。

⑪ 子どもの安全 (17 件)

- 住宅地内でも通り抜けの車が多く、子どもを外へ出しづらい。
- 通学路の交通安全の確保の取組みがどうなっているのか不安。路側帯しかない交通量の多い道が通学路となっている。
- 他の学区に比べると朝や帰りの地域の見守り隊のような人が居ないように感じる。

⑫ 地域とのつながり、協力等 (12 件)

- 地域の人が集えるようなお店、カフェ、レストランがあると良い。そこでちょっとしたイベント等行くと地域の人との交流につながると思う。
- 公民館の1階を、下を子どもが利用出来る児童館、2階は福祉センターで小さい子も老人も交流出来るような施設に変えてもらいたい。
- 地域の行事を存続できるようなサポートをお願いしたい。
- 子ども会の役員が大変で仕事との両立が難しく、子ども会に入会できずにいる。

⑬ 母子保健・小児医療 (21 件)

- 医療費控除や児童手当等、子どもに関連する控除の所得制限を無くして欲しい。
- 病院へ行きたいが、医療費の負担が大きい事と、子どもを連れて受診することが出来ない為、利用できない。
- 小児医療証が子ども3人とも1才までしか頂けなかったのもう少し長い期間頂けるとありがたい。
- 所得制度の上限を、もう少し上げて欲しい。

⑭ 公共施設の整備等 (30 件)

- 家から駅までの道に街灯が少ないので、心配。狭い路地をスピードを出して走り去る車がある。通学時間の交通規則、歩道のない道が多い。
- 街中に喫煙場所、灰皿が多くおいてあるのを改善して欲しい。
- 公民館などをもう少し活用して欲しい。

3 子育てに関する親の状況(3件)

⑮ 子育てと仕事の両立(3件)

- いろいろな働き方の人が出て、そのような人にどうやってサポートをするべきか、もっと考えて欲しい。
- フルタイムで仕事をしないと生活出来ないため、仕事も休みにくい。一時的に、子どもを預ってもらえるような施設やスペースが病院内や近くにあると、行きやすい。
- 夏休み期間、冬休み期間は、朝、学童へ行くとき大人の同行が必要であり、8時以降の学童の入室というルールであるため、対応することが難しい親も大勢いると思う。

4 行政について(126件)

⑯ 金銭的支援等(幼児教育無償化含む)(16件)

- 習い事や学校の授業料など資金の負担も大きいことから子どもの数の多い事が家計にも影響することになる。
- 大学までの教育費の援助が欲しい。
- 中学・高校・大学と進むにつれ、教育費がかかっていくので、不安はふくらむ。
- 子育て家庭への優待制度・多子世帯応援制度(協賛店での割引などのサービス)をお願いしたい。
- 子育て支援金をより充実させていただきたい。

⑰ その他子育てに関する要望(102件)

- 徒歩圏内に子どもたちが気楽に集うことができるコミュニティエリアをつくってもらえるとありがたい。
- 習字、そろばん等の習い事に公民館をもっと活用してもらいたい。電車が通っていない地域で、バスの本数も少なく、車の送迎が出来ないと、塾にも行かせてあげられない。
- 子ども食堂みたいな施設があったら良いと思う。
- PTAや子ども会の活動など、共働きの親には負担が大きい。
- 放課後子ども教室の存在をこのアンケートを通して初めて知った。子ども会についても、入っておらず良く分からない。地域の活動等、子どもに関しての事をもっと知れる機会やツールがあれば良いと思う。
- 少しの時間、急にあずかって欲しい時に、気がるに行ける場所があれば良いと思う。
- 学校や公共施設などで行われるサマースクールを増やして欲しい。
- 学習ができる図書館の充実を希望する。下の子がいたりしてなかなか家で静かに学習させてあげられない事が悩みで、実現すればお互いに安心できる空間だと思う。
- 「悩みがあるかたは、〇月〇日の〇時に〇室へ来て下さい。」とお便りはあるけど、本当に悩みのある子には行けない。

⑱ その他子育て以外に関する要望等(8件)

- 図書館の蔵書が不十分で、検索サイトも使い勝手が良くないと感じている。
- 小田原市は、地元の方は、住みやすいと思うが、他から来た人には、住みにくいと感じる。
- 保育士の待遇をもっと上げるべきだと思う。

5 その他（18件）

- ⑱ アンケートの感想等(3件)
- ⑳ 市への要望（情報の伝え方）等(6件)
- ㉑ その他(7件)

X 資料

【アンケート依頼】

小学校に通うお子さんがいる世帯用

「小田原市子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査」 ご協力をお願い

市民の皆様には、日ごろから、小田原市政にご協力いただきありがとうございます。

本市では、子ども・子育て支援法に基づき、平成27年3月に「小田原市子ども・子育て支援事業計画（平成27年度～31年度）」を策定し、子育て支援の充実を図っています。

このたび、「第二期小田原市子ども・子育て支援事業計画（2020年度～2024年度）」を策定するにあたり、市民のみなさんの教育・保育サービス等の利用状況や、今後の利用希望等を把握するためのアンケート調査を実施させていただくことになりました。このアンケートにお答えいただいた結果をもとに、小田原市の放課後対策や子育て支援の受け入れ人数や内容を市民のみなさんのニーズの合うように計画していくことになります。

調査対象者として、市内にお住まいの小学校に通うお子さんの中から2,000名の方を無作為に抽出し、ご協力をお願いしております。なお、ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理いたします。回答者個人が特定されたり、調査の目的以外に使用されることはありませんので、現在のお気持ちやご要望などを率直にお聞かせください。

お忙しいとは存じますが、アンケートをご返送いただくご家庭が多いほど、市民のみなさんのニーズを正確に把握し、小田原市の子育てしやすい環境づくりに効果的に取り組むことができますので、調査の趣旨をご理解いただき、**平成30年12月27日(木)まで**に、同封の封筒（切手不要）に入れて、ご返送いただきますようお願い申し上げます。

なお、この調査結果は、平成31年3月末頃に市ホームページに掲載する予定です。小田原市ホームページで「子ども・子育て支援事業計画」と検索してください。

平成30年12月
小田原市

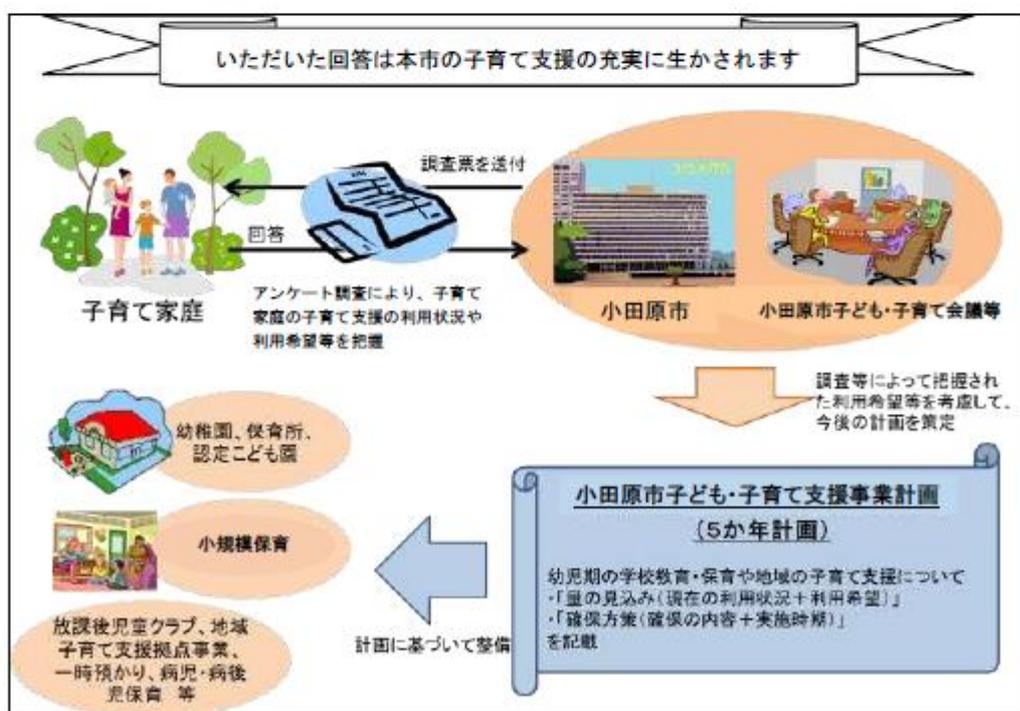
【ご記入に当たってのお願い】

- この調査はあて名に記載されているお子さんについて、保護者の方がご記入ください。
なお、記入の終わった別紙調査票（ホチキス止め）のみ、同封の封筒でご返送ください。
- ご記入は、黒または青のボールペン、濃い鉛筆等をご使用ください。
- 本調査における施設や事業の内容については、裏面の事業内容と利用料をご覧ください。
- この調査票に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

小田原市子ども青少年部子育て政策課子育て政策係
〒250-8555 小田原市荻窪 300 番地
電話：0465-33-1874（8:30～17:00 土日・祝日を除く）
E-mail：ko-kosodate@city.odawara.kanagawa.jp

事業内容と利用料

名称	事業の内容	問い合わせ先
放課後児童クラブ	<p>保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、児童の安全と健全育成を図るとともに、子どもの生活の場を提供するものです。 (片浦小学校区は現在休所中)</p> <p>■利用料等</p> <p>月額 7,000 円 (その他おやつ代、傷害保険料などがかります)</p>	<p>教育総務課 電話 33-1731</p>
放課後子ども教室	<p>放課後の安全・安心な子どもたちの居場所を設け、地域の方々の協力を得て、学習支援と体験活動を通じて、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれることを目的として実施しています。週に1~3回程度、放課後からおおむね16時まで1時間程度の時間で、宿題やプリント(国語・算数等)などの自主学習の支援や、昔あそび、クラフト体験などの体験活動のほか、紙芝居、読書、読み聞かせなどを行っています。</p> <p>■利用料等</p> <p>無料 (傷害保険料年額 800 円が必要です。材料費(実費)が必要な場合があります。)</p>	<p>教育総務課 電話 33-1731</p>
ファミリー・サポート・センター	<p>地域住民による会員相互の子どもの預かりサービスで、保育園、幼稚園、小学校・放課後児童クラブへの送迎や保護者のリフレッシュ等に利用できます。また、産前産後時の掃除・洗濯・買い物・調理などの家事支援と、沐浴等の手伝いもあります。</p> <p>■利用料等</p> <p>30分あたり 350円~450円の利用料がかかります。</p>	<p>子育て政策課 電話 33-1874</p> <p>ファミリー・サポート・センター事務局 電話 35-0053</p>



【調査票】

調査票く 小学校に通うお子さんがいる世帯用 >

それぞれの設問をお読みになり、回答をご記入ください。数字でお答えいただく設問については、回答欄の□の中に数字をご記入ください。(一つの枠に一字でご記入ください。)

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区の郵便番号を記入してください。

郵便番号 □□□-□□□□

※郵便番号は、回答を地域ごとに集計し、地域ごとの特徴的なニーズを把握するために利用します。個人が特定されることはありません。

問2 あて名のお子さんが通っている小学校の名前を記入してください。

_____ 小学校

封筒のあて名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問3 あて名のお子さんの学年をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生
4. 4年生 5. 5年生 6. 6年生

問4 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を記入してください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子のかたの生年月を記入してください。

きょうだい数 □人 末子の生年月 平成 □□年 □□月生まれ

問5 この調査票に回答いただくかたはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問6 この調査票に回答いただいているかたの配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

※「配偶者」とは、婚姻関係にあるかたのことです(婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にあるかたを含みます)

問7 あて名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他 ()

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問8 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
※ 現在、産休、育休、介護休業中のかたは、休業に入る前の状況でお答えください。

(1)母親 【父子家庭の場合は(1)は記入不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 就労している	----->	(1)-1へ	
2. 以前は就労していたが、現在は就労していない	}	----->	(1)-3へ
3. これまで就労したことがない			

(1)-1(1)で「1. 就労している」に○をつけたかたにうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を記入してください。
(日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。)

1週当たり <input type="text"/> 日	1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間
------------------------------	--

※ 1時間未満は、30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨ててください。(例：5時間30分 → 6時間)

(1)-2(1)で「1. 就労している」に○をつけたかたにうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻を記入してください。(時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。)

家を出る時刻 <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分	帰宅時刻 <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分
--	--

※ 時刻は07時や17時のように24時間制でお答えください。(例：朝7時20分 → 07時20分)

(1)-3(1)で「2. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または、「3. これまで就労したことがない」に○をつけたかたにうかがいます。就労希望または就労見込みはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 半年以内に就労する見込みがある
2. 就労希望はあるが、時間や場所などの条件が合う仕事が見つからない。
3. 就労希望はあるが、子どもを預ける場所がない
4. 子どもが大きくなったら就労したい
5. 就労希望はない

(2) 父親【母子家庭の場合は(2)は記入不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 就労している	----->	(2)-1へ
2. 以前は就労していたが、現在は就労していない	}	----->
3. これまで就労したことがない		

(2)-1 (2)で「1. 就労している」に○をつけたかたにうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」を記入してください。
 (日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。)

1週当たり 日 1日当たり 時間

※ 1時間未満は、30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨ててください。(例：5時間30分 → 6時間)

(2)-2 (2)で「1. 就労している」に○をつけたかたにうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻を記入してください。(時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。)

家を出る時刻 時分 帰宅時刻 時分

※ 時刻は07時や17時のように24時間制でお答えください。(例：朝7時20分 → 07時20分)

(2)-3 (2)で「2. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または、「3. これまで就労したことがない」に○をつけたかたにうかがいます。就労希望または就労見込みはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 半年以内に就労する見込みがある
2. 就労希望はあるが、時間や場所などの条件が合う仕事が見つからない
3. 就労希望はあるが、子どもを預ける場所がない
4. 子どもが大きくなったら就労したい
5. 就労希望はない

問9 (1)-3あるいは(2)-3で「1. 半年以内に就労見込みがある。」に○をつけたかたなど、今後、保護者のかたが就労により放課後の子どもをみるのが難しくなるかたにうかがいます。その際、お子さんは放課後の時間をどのように過ごす予定ですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字で記入してください。【放課後児童クラブ】については、利用希望時間も記入してください。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ)や学習塾	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 放課後児童クラブ(片浦小に通学のかたは放課後子ども教室)	週 <input type="text"/> 日くらい →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
5. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
6. 地域活動(子ども会など)	週 <input type="text"/> 日くらい
7. 民間事業者での預かり	週 <input type="text"/> 日くらい
8. その他	週 <input type="text"/> 日くらい

※ 時刻は07時や17時のように24時間制でお答えください。(例：午後7時20分 → 19時)

あて名のお子さんの地域の子育て支援の利用状況についてうかがいます。

問10 平日の放課後、あて名のお子さんはどう過ごしていますか。時間帯ごとに最も多い過ごし方を、それぞれの時間帯ごとに1つだけ下の【選択肢表】から選び、番号を記入してください。

14～16時	16～18時	18～20時	20時以降

問10-1 学校が休みの土曜日や日曜日・祝日に、あて名のお子さんはどう過ごしていますか。時間ごとに最も多い過ごし方を、それぞれの時間帯ごとに1つだけ下の【選択肢表】から選び、番号を記入してください。

<土曜日>

朝起きてから昼食まで	昼食後、夕食まで	夕食後

<日曜日・祝日>

朝起きてから昼食まで	昼食後、夕食まで	夕食後

【選択肢表】

1. 小学校にいる（下校前である）
2. 自宅等で保護者や兄弟姉妹、祖父母等の家族と一緒にいる
3. 祖父母宅や知人宅で祖父母や知人などと過ごしている
4. 習い事や学習塾に行っている
5. 放課後児童クラブ（片浦小に通学のかたは放課後子ども教室）を利用している
6. ファミリー・サポート・センターの支援会員宅で過ごしている
7. 地域活動（子ども会など）に参加している
8. 民間事業者での預かりを利用している
9. 公園など屋外の遊び場で友人と遊んでいる
10. 友人宅やショッピングセンターなどで友人と遊んでいる
11. 図書館、地域センターなどの公共施設に友人と行っている
12. 自宅等で、ひとりで過ごしている
13. その他

問11 問9あるいは問10で〔5. 放課後児童クラブ（片浦小に通学のかたは放課後子ども教室）で過ごしている〕を選んだかたにうかがいます。

放課後児童クラブの利用日数はどれくらいですか。また土曜日の利用はどれくらいですか。それぞれ利用希望日数を記入してください。

1週当たり <input type="text"/> 日くらい	土曜日は1か月当たり <input type="text"/> 日くらい
---------------------------------	--------------------------------------

問11-1 放課後児童クラブは何時まで利用していますか。また、希望としては何時まで利用したいですか。それぞれ時間を記入してください。

平日

<現在の利用時間>	
1日当たり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分	(<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 ~ <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分)
<希望する利用時間>	
1日当たり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分	(<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 ~ <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分)

※ 時刻は07時や17時のように24時間制でお答えください。(例：朝7時20分 → 時 分)

土曜日

<現在の利用時間>	
1日当たり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分	(<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 ~ <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分)
<希望する利用時間>	
1日当たり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分	(<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 ~ <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分)

※ 時刻は07時や17時のように24時間制でお答えください。(例：朝7時20分 → 時 分)

問12 お子さんを放課後子ども教室に参加させたいですか。(児童クラブ入所児童も参加可能です。また、すでに実施している学校で、対象の学年から外れている場合も、参加可能であった場合の希望として回答してください。)

1. 参加させたい (問12-1へ)
2. どちらともいえない (問12-2へ)
3. 参加させたくない (問12-2へ)

問12-1 問12で〔1〕を選んだかたにお聞きします。放課後子ども教室に参加させたい理由は何ですか？(複数回答可)

1. 宿題や勉強を見てくれるから	2. 体験活動をさせてみたいから
3. 学校内で開設しているので安心だから	4. 他クラス、他学年と交流させたいから
5. 放課後から1時間程度預かってもらえるから	6. 放課後児童クラブを利用しており、その間に参加できるから
7. その他 (<input type="text"/>)	

問12-2 問12で〔2〕〔3〕を選んだかたにお聞きします。〔2〕〔3〕を選んだ理由を教えてください。
(複数回答可)

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 活動内容が分からない | 2. 習い事等で参加できない |
| 3. 内容に魅力を感じない | 4. 実施回数が少ない |
| 5. 実施時間が短い | 6. 終了時間が16時では参加できない |
| 7. その他 () | |

問12-3 今後、放課後子ども教室にどのようなことを希望されますか。問12で〔2〕〔3〕を選んだかたはどのようになれば参加させたいと思いますか？(複数回答可)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 宿題などの学習支援の充実 | 2. 体験活動の充実 |
| 3. スポーツや体を動かす活動の充実 | 4. 実施回数の増加 |
| 5. 実施時間の延長 | 6. 特にない |
| 7. その他 () | |

問13 すべてのかたにうかがいます。小学生が放課後を過ごす環境について、今後望むことは何ですか。
当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 放課後児童クラブ、開設時間の拡大や活動内容の充実 |
| 2. 放課後子ども教室の充実 |
| 3. 街区公園などの身近な遊び場の整備 |
| 4. 保護者の就労の有無に関わらず、様々な体験をしながら時間を過ごせる場や機会の提供 |
| 5. 子どもが自らの発想のもとに自由に遊べる遊び場の整備 |
| 6. 室内で、遊具が備えられた遊び場の整備 |
| 7. 気軽に立ち寄ることができる、身近な地域の居場所の提供 |
| 8. 高齢者や幼児など異年齢や世代間の交流ができる場や機会の提供 |
| 9. 地域において、子どもの活動に関わったり見守りをしてくれる支援者の増加 |
| 10. 放課後や休日の子どもの向け事業に関する情報提供 |
| 11. 習い事やスポーツクラブなどに忙しいので、特に必要はない |
| 12. その他 () |

すべてのかたに、子育て全般についてうかがいます。

問14 普段、近所の人とどのようなつきあい方をしていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1. 困ったときに相談したり、助け合ったりする | 2. 気の合う人と親しくしている |
| 3. たまに立ち話くらいはする | 4. 会えばあいさつくらいはする |
| 5. 顔も良く知らない | 6. その他 () |

問15 子育てについて、気軽に相談できる人はどなたですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 民生委員・主任児童委員 |
| 5. 小学校・幼稚園・保育所等の先生 | 6. 市の子育て関連窓口や相談機関 |
| 7. かかりつけの医師 | 8. 特にいない |
| 9. インターネットや SNS を通じたつながり | 10. その他 () |

問16 現在の暮らしの状況（経済的な面で）をどのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変ゆとりがある | 2. ややゆとりがある | 3. ふつう |
| 4. やや苦しい | 5. 大変苦しい | |

問17 ご家庭の家計について最も近いもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 収入は足りていて、毎月貯蓄をしている | 2. 収入は足りているが、貯蓄はしていない |
| 3. 収入の範囲でなんとかやりくりしている | 4. 収入が足りず、貯蓄を取り崩している |
| 5. 収入が足りず、借金で生活している | |
| 6. その他（具体的に |) |

問18 お子さんの習い事について、当てはまる番号に○をつけてください。また利用したい日数や月謝の目安を記入してください。

- | | | | | |
|------------|------|----|-------|---|
| 1. 通わせている | → 週に | □ | 日 | |
| | → 月謝 | 月に | _____ | 円 |
| 2. 通わせていない | | | | |

問19 あなたは、お子さんを育てている現在の生活に満足していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | | | |
|--------|---|---|---|---|--------|
| 満足度が低い | | | | | 満足度が高い |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問 20 お住まいの地域における子育て環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

満足度が低い	1	2	3	4	5	満足度が高い
--------	---	---	---	---	---	--------

問21 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関して、どのようなサポートや施設があったらよいかなど、意見がございましたら、自由に記入してください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
 記入の終わった調査票のみ同封の封筒に入れ、
 切手は貼らずにご投函ください。

小田原市子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査
調査結果報告書（未就学児調査及び小学生調査）

平成31年（2019年）3月発行

発行：小田原市 子ども青少年部 子育て政策課

〒250-8555 小田原市荻窪 300

電話：0465-33-1874 FAX：0465-33-1456

Email ko-kosodate@city.odawara.kanagawa.jp

